FMV

B6FJ-1131-01

トラブルの予防から解決まで!

トラブル解決ガイド

充実のサポート機能で
安心・快適

大切な**データを保存**する
(バックアップ)

パソコンを復元する
(リカバリ)

廃棄・リサイクル

Q&A集

FUJITSU

マニュアルのご案内

冊子のマニュアル

スタートガイド（1 設置編　2 セットアップ編）

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ

●『スタートガイド1　設置編』
●『スタートガイド2　セットアップ編』

FMV取扱ガイド

● 各部の名称と働き
● パソコンの取り扱い
　・電源の入れ方/切り方
　・音量の調節
　・輝度の調節　など
● 周辺機器の設置/設定/増設
● お手入れ
● 仕様一覧

FMVテレビ操作ガイド

「DigitalTVbox」搭載機種に添付

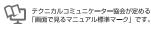
● テレビについて
　・テレビの見かた
　・録画のしかた
　・保存のしかた
● テレビなどに関するQ&A

トラブル解決ガイド

● 安心サポート機能
　・FMVサポートナビ
　・トラブル解決ナビ
● バックアップ
● パソコンを復元する（リカバリ）
● 廃棄・リサイクル
● Q&A

サポート&サービスのご案内

● ユーザー登録・特典
● AzbyClubのご案内
● 困ったときは
● 故障かな？ と思ったときは
● お問い合わせ先
● 操作指導サービス
● お問い合わせ票/修理依頼票

この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

画面で見るマニュアル

説明している主な内容

● パソコンの基本
● セキュリティ対策
● インターネット／Eメール
● FMV使いこなし事例集
● パソコン本体の取り扱い
● 周辺機器の接続
● 添付ソフトウェア一覧
● 困ったときのQ&A

この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

画面で見るマニュアルの始め方

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV画面で見るマニュアル」の順にクリック

参照の探し方

冊子のマニュアルの本文内に、≫「＊＊＊＊＊＊(文書番号)」とある場合は『画面で見るマニュアル』で検索してご覧ください。

参照

▼ Windowsの画面について

『画面で見るマニュアル』≫「920010」で検索

→「Windowsの画面と各部の名称」

文書番号（6桁の数字）を入力して「検索する」をクリック

FMV 画面で見るマニュアル

920010　検索する　検索のヒント

FMV 画面で見るマニュアル

❶ **文書番号（6桁の数字）を入力**

❷ **「検索する」をクリック** → **文書番号の内容が表示**

「目次」、「検索」、「索引」など、他にもいろいろな探し方があります。

『画面で見るマニュアル』について詳しくは、画面右上の［使い方］をクリックしてください。

トラブルかな？と思ったら

パソコンにトラブルが起こったときは

パソコンの調子がよくない、あるいは、パソコンが動かないと思ったら、状況に応じて次のことをチェックしてみてください。簡単に解決できる問題もあります。

落ち着いて状況を確認しましょう

STEP1

トラブルが起こったときは、次のことを確認しましょう。

●直前に行った操作
●現在のパソコンの状態

Q&Aで解決する

STEP2

■『トラブル解決ガイド』→「Q&A集」（P.101）

起動できない、画面が表示されないなど、重大なトラブルや『画面で見るマニュアル』を表示することが困難な状況を中心に説明しています。

など

■『FMVテレビ操作ガイド』→「困ったときのQ&A」

テレビ機能のトラブルについては、こちらのマニュアルをご覧ください。

その他パソコンの機能や使い方でお悩みのときは、このマニュアルや『画面で見るマニュアル』または『FMV 取扱ガイド』で、それぞれの機能についての記載もご覧ください。

■『画面で見るマニュアル』→「9.困ったときのQ&A」

『トラブル解決ガイド』で説明している事例以外の、より多くの状況について説明しています。次のいずれかの方法でご覧ください。

- P.102 の Q&A 目次で文書番号を確認し、巻頭の方法で検索する
- 『画面で見るマニュアル』を起動し、「目次から探す」→「9. 困ったときの Q&A」の順にクリックして一覧から目的の事例を探す

FMV のホームページで解決する

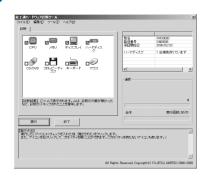
ホームページで最新のサポート情報や、Q&A 情報を紹介しています。困ったときにご覧いただくのはもちろん、定期的にアクセスしていただくことで、トラブルを予防できます。（ご利用には、インターネット接続環境が必要となります。）

● サポートページ―http://azby.fmworld.net/support/ ●

このホームページの内容

- ●最新のサポート情報
- ● Q&A 情報（Q&A navi）
- ●機種別注意事項
- ● E メールによるサポート

STEP 3

STEP 4

サポート窓口に問い合わせる

お問い合わせをする前にチェック！

次のことを試してみましょう。トラブルが解決できる場合があります。

「診断プログラム」(→P.163) を実行する。
Windows が起動しなくなったときは、このパソコンの診断プログラムでパソコンを診断してください。

どうしてもトラブルが解決できないときは『**サポート&サービスのご案内**』をご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

このパソコンに添付のソフトウェアについては

『サポート＆サービスのご案内』→「困ったとき」→「サポート窓口に相談する」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」

パソコンの操作方法がわからない場合は

『サポート＆サービスのご案内』→「困ったとき」→「サポート窓口に相談する」

故障かなと思ったら

『サポート＆サービスのご案内』→「困ったとき」→「故障したとき」

注 1：一部のサポートは有料となります。
注 2：サポートのご利用にはユーザー登録が必要となります。
　　ユーザー登録の方法は、『サポート＆サービスのご案内』 をご覧ください。

目次

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
••▶	参照先を記述しています。
参照	参照していただきたいマニュアルを記述しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。 （起動方法について、このマニュアルの巻頭でご案内しています。）
	CD や DVD などのディスクを表しています。

製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER	FMV または DESKPOWER
FMV-BIBLO	FMV または BIBLO
FMV-BIBLO LOOX	FMV または BIBLO LOOX または LOOX
Microsoft® Office ナビ 2007	Office ナビ
Microsoft® Office Outlook® 2007	Outlook 2007
Microsoft® Office Personal 2007	Office Personal 2007
Microsoft® Office PowerPoint® 2007	Office PowerPoint 2007 または PowerPoint 2007
Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007
Microsoft® Windows® XP	Windows XP
Windows Vista® Home Premium with Service Pack1	Windows または Windows Vista
Windows Vista® Business with Service Pack1	Windows または Windows Vista
Windows® Internet Explorer® 7	Internet Explorer 7 または Internet Explorer
Norton Internet Security 2009	Norton Internet Security
Roxio Creator LJ	Roxio Creator
ＦＭＶ画面で見るマニュアル V1.7	画面で見るマニュアル
スーパーマルチドライブ、 Blu-ray Disc ドライブ、 ポータブルスーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ

名称について

次の部分は、機種により名称が異なるため、このマニュアルでは次のように表記しています。

名称	このマニュアルでの表記
電源ボタン パソコン電源ボタン 電源スイッチ メインスイッチ	電源（パソコン電源）ボタン
電源ランプ パソコン電源ランプ 電源 / スタンバイランプ	電源（パソコン電源）ランプ
サポートボタン Support ボタン	サポート（Support）ボタン

インターネット上の情報について

インターネット上に掲載されている情報（画像、映像、音楽、文書などのデータ）のほとんどは、著作権法により保護されています。
個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人のホームページなどに掲載することはできません。

商標および著作権について

カスタムメイドモデルについて

このマニュアルの本文中に「カスタムメイドモデルで Office なしを選択した方」という表記があります。これはインターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入のときに、「Office」の項目で「なし」を選択した方が対象になります。

第1章

充実のサポート機能で安心・快適

いつでも安心して快適に FMV をお使いいただくために、このパソコンには各種サポート機能を用意しています。ここでは、サポート機能を簡単に起動できるソフトウェアを紹介します。

1

充実のサポート機能で安心・快適

サポートが必要なときは

トラブルが発生したり、使い方がわからないなどサポートが必要なときは、次のサポート機能をお使いいただけます。

どんなときでも ふたつのナビが強力サポート

Windowsが起動するとき

Windowsが起動しないとき

Windowsが起動するときは「FMVサポートナビ」

「FMV サポートナビ」は、「Q&A」や「日頃のメンテナンス」などのサポート機能を簡単に起動できるソフトウェアです。パソコンを操作していて、使い方がわからないとき、万一に備えてバックアップをするときなどにご利用ください。

「FMV サポートナビ」の起動方法

1 **Windows が起動しているときに次のいずれかの操作をします。**

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

デスクトップにある （FMV サポートナビ）をクリック、または （スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。

「FMV サポートナビ」が表示されます。

「FMV サポートナビ」で利用できる主なサポート機能

■FMV画面で見るマニュアル

パソコンの取り扱いからトラブルシューティングまで情報が満載の電子マニュアルです。

■FM かんたんバックアップ

必要なデータをまとめて簡単にバックアップできます。

「FM かんたんバックアップ」については、「必要なものだけバックアップするには「FM かんたんバックアップ」」（→P.38）をご覧ください。

■マイリカバリ

「マイリカバリ」は、自分が好きなタイミングでCドライブをまるごとバックアップしておくことができるソフトウェアです。万一パソコンの調子が悪くなったときに、Cドライブをバックアップしたときの状態に戻すことができるので、もうご購入時の状態にまで戻す必要はありません。

「マイリカバリ」については、「まるごとバックアップするには「マイリカバリ」」（→P.24）をご覧ください。

万一 Windows が起動しないときは「トラブル解決ナビ」

「トラブル解決ナビ」は、Windows が起動しないもしものときに、サポート機能を起動させるソフトウェアです。ハードウェアを診断したり、パソコンをご購入時の状態に戻したりして、パソコンのトラブルを解決するお手伝いをします。

「トラブル解決ナビ」の起動方法

1 **パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。**

2 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 **お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。**

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

1. キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

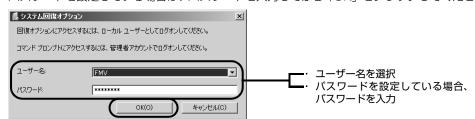
軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。

（画面は機種や状況により異なります）

起動メニューが表示されない場合

電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。

下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

5 「システム回復オプション」ウィンドウで「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。

6 「Microsoft Windows Vista」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

7 お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択し、「OK」をクリックします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

8 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

「トラブル解決ナビ」で利用できる主なサポート機能

■ハードウェア診断

パソコンの調子がおかしいときに、ハードウェアに不具合がないかを診断します。
ハードウェア診断については、「パソコンを診断する」（→P.163）をご覧ください。

■マイリカバリ

「マイリカバリ」で保存したディスクイメージを復元したり、パソコンをご購入時の状態に戻したりします。
復元する方法については、「パソコンを復元する　（リカバリ）」（→P.53）をご覧ください。

■かんたんバックアップレスキュー

Windows が起動しないときに必要なデータをバックアップします。
「かんたんバックアップレスキュー」については、「Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」」（→P.48）をご覧ください。

第2章

大切なデータを保存する（バックアップ）

このパソコンに搭載のバックアップ機能を使えば、大切なデータの予備を簡単に保存できます。定期的にバックアップしておけば、万一のときでも安心です。
ここでは、バックアップ方法について説明します。

2

バックアップとは

万一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。データの予備を保存しておくことを「バックアップ」と言います。

「バックアップをはじめよう！」でバックアップの大切さを学ぶ

このパソコンには、バックアップしないとどんな困ったことになるのか、何のデータをバックアップすれば良いのかなど、バックアップについてわかりやすく説明したアニメーション「バックアップをはじめよう！」を用意しています。初めてバックアップする方は、ぜひご覧ください。

『画面で見るマニュアル』のトップページにある「バックアップをはじめよう！」をクリックしてご覧ください。

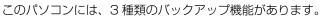
バックアップしないとどうなるのか

パソコンには次のようないろいろなデータが保存できます。

- デジタルカメラの写真
- 文章、イラスト、映像
- 知人とのメール
- アドレス帳に登録したメールアドレス
- 「Internet Explorer［インターネットエクスプローラ］」のお気に入り（ホームページのアドレス集）

しかし、次のような状態になると、多くの場合、保存したデータは、もう元に戻すことはできません。

- ファイルが壊れた
- 誤って消去した
- ハードディスクが壊れた

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

- Windows が起動しなくなった
- ご購入時の状態に戻した

いつこのような状態になるかはわかりません。
こうなったときに被害を最小限にとどめるためにも、大切なデータは日ごろから定期的にバックアップする習慣をつけましょう。

このパソコンのバックアップ機能

このパソコンには、3 種類のバックアップ機能があります。
3 つの機能を使いこなして、トラブルに備えましょう。
ここでは、それぞれの特長を説明します。

■マイリカバリ

「マイリカバリ」は、ハードディスクの C ドライブをまるごとバックアップします。
パソコンにトラブルが発生したときに、C ドライブを、まるごとバックアップしたときの状態に戻すことができます。
パソコンのセットアップが完了した後、およびインターネットや E メールなどパソコンの設定を変更した後に「マイリカバリ」をお使いになることをお勧めします。
「マイリカバリ」の使い方については、「まるごとバックアップするには「マイリカバリ」」（ P.24）をご覧ください。

■FM かんたんバックアップ

「FM かんたんバックアップ」は、必要なデータだけをまとめて簡単にバックアップします。
ファイルを選んでバックアップする方法や、ソフトウェアのバックアップ機能を使う方法では、ファイルやソフトウェアごとに何度も同じような操作をしなければいけません。
「FM かんたんバックアップ」を使えば、一度の操作でデータをまとめてバックアップできます。
また、2 回目以降は差分をバックアップするので、短時間でバックアップができます。
日々更新されるデータは「FM かんたんバックアップ」を使って定期的にバックアップすることをお勧めします。
「FM かんたんバックアップ」の使い方については、「必要なものだけバックアップするには 「FM かんたんバックアップ」」（ P.38）をご覧ください。

■かんたんバックアップレスキュー

「かんたんバックアップレスキュー」は、Windows が起動しない状態でデータをまとめてバックアップします。まだバックアップしていないのに、Windows が起動しなくなってしまった。そんなときに「かんたんバックアップレスキュー」を使ってデータをバックアップできます。ただし、「FM かんたんバックアップ」と比べて、バックアップできる項目が少ないので、非常時のバックアップ方法として利用してください。
「かんたんバックアップレスキュー」の使い方については、「Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」」（ P.48）をご覧ください。

リカバリ領域のバックアップ

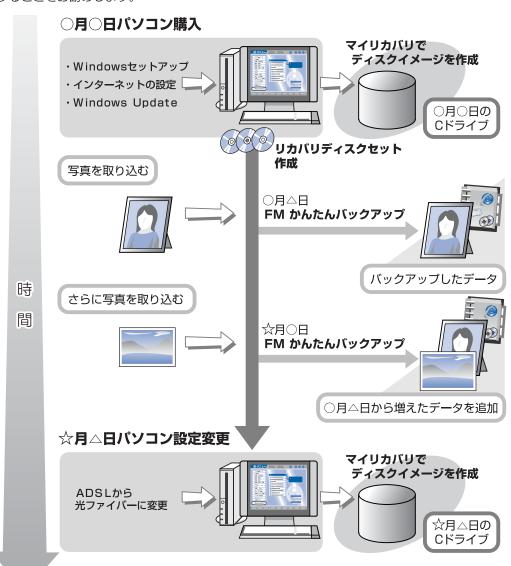
パソコンにトラブルが起こったときのために、このパソコンの「リカバリ領域」という場所にご購入時の状態に戻すためのデータが入っています。しかしリカバリ領域にトラブルが起こると、パソコンをご購入時の状態に戻せなくなってしまいます。
そのような事態に備えて、ご購入後できるだけ早い時期にリカバリ領域のデータを DVD にバックアップしてください。
リカバリ領域のバックアップ方法は、「リカバリディスクセットを作っておく」（P.20）をご覧ください。

その他のバックアップ方法

このマニュアルで紹介している方法以外にもバックアップ方法があります。
バックアップ方法については、『画面で見るマニュアル』もあわせてご覧ください。

▼ バックアップ方法

『画面で見るマニュアル』 »「211050」で検索

→「バックアップで大切なデータを守る」

お勧めの使い方

Windows のセットアップ、各種設定が終わったら、「マイリカバリ」を使ってディスクイメージを作成し、C ドライブをまるごとバックアップします。
次に、リカバリ領域のデータを DVD にバックアップして「リカバリディスクセット」を作ります。
その後、ソフトウェアを追加した後、インターネットの設定などパソコンの設定を変更した後にも、「マイリカバリ」を使って C ドライブをまるごとバックアップします。

C ドライブ全体のバックアップに加えて、日常的なバックアップには、「FM かんたんバックアップ」を使います。
初回のバックアップには、時間がかかることがありますが、2 回目からは差分をバックアップしてデータを上書きするので、短時間でバックアップができます。毎日または週に 1 回など定期的にバックアップすることをお勧めします。

リカバリディスクセットを作っておく

このパソコンには、トラブルに備えて、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に、ご購入時の C ドライブの中身が保存されています。
パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に復元できます。
しかし、何らかの原因でリカバリ領域のデータが読み込めなくなると、パソコンにトラブルが起こってもご購入時の状態に戻すことができなくなります。そのため、パソコンご購入後はできるだけ早く、リカバリ領域のデータを DVD にバックアップしてください。
リカバリ領域のデータを DVD にバックアップしたものを「リカバリディスクセット」といいます。「リカバリディスクセット」とは、「リカバリディスク」、「アプリケーションディスク」、「FMV 画面で見るマニュアル」のディスクの総称です。
ここでは、「リカバリディスクセット」を作成する方法を説明します。

リカバリディスクセットを作る

リカバリ領域のデータを DVD にバックアップする方法を説明します。

重要

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

領域設定を変更しないでください

リカバリ領域を削除した方、市販のソフトウェアや、Windows Vista の「ディスクの管理」などで領域設定を変更された方は、「リカバリディスクセット」を作成することができません。「リカバリディスクセット」は有償でご購入いただけます。詳しくは「「リカバリディスクセット」、「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」を紛失または破損したときは」（→P.71）をご覧ください。

お使いになれるディスクは DVD-R のみです

「リカバリディスクセット作成」でディスクイメージを書き込めるディスクは DVD-R のみです。その他のディスクはお使いになれません。必要な DVD-R の枚数はお使いのモデルによって異なります。手順 5（→P.22）の画面に表示される枚数を確認し、必要な枚数の DVD-R を用意してください。

DVD への書き込みには「Roxio Creator」が必要です

ディスクイメージを DVD に書き込むには、このパソコンに用意されている「Roxio Creator［ロキシオクリエーター］」というソフトウェアが必要です。「Roxio Creator」を削除すると、ディスクイメージを DVD に書き込むことができなくなりますのでご注意ください。

画面で見るマニュアル

添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

ディスクイメージを書き込んだ DVD ではパソコンは起動できません

ディスクイメージを書き込んだ DVD を使って、パソコンを起動することはできません。
ご購入時の状態に戻すリカバリをする手順の途中で、ディスクをセットするところでのみ、お使いになれます。

時間に余裕をもって作業をしましょう

ディスクの作成には 1 時間から 2 時間ほどかかります。時間に余裕をもって作業をしてください。

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「マイリカバリ」の順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は「続行」をクリックします。
「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます

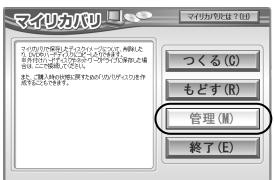
「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます。

1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。
   サポート（Support）ボタン搭載機種の場合、サポート（Support）ボタンを押しても、「FMV サポートナビ」を起動できます。
2. 「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。
3. （マイリカバリ）をクリックして選択し、「実行」をクリックします。

2 「閉じる」をクリックします。

「マイリカバリ」が表示されます。

3 「管理」をクリックします。

（これ以降の画面はお使いの機種により異なります）

4 「リカバリディスクセット作成（DVD-R のみ）」をクリックします。

5 「書き込み」をクリックします。

6 必要なディスクの枚数を確認し、「OK」をクリックします。

ここではまだディスクを CD/DVD ドライブにセットしないでください。
必要なディスクの枚数は、お使いのモデルによって異なります。

7 「「リカバリディスク」の 1 枚目の書き込みを行います。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面に「リカバリディスク（1 枚目）」と記入してから、CD/DVD ドライブにセットします。

レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは扱わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

「自動再生」というウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「自動再生」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の ✕ をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 「自動再生」ウィンドウが表示された」（→P.145）もあわせてご覧ください。

8 ディスクが認識されるまで 10 秒ほど待ってから「はい」をクリックします。

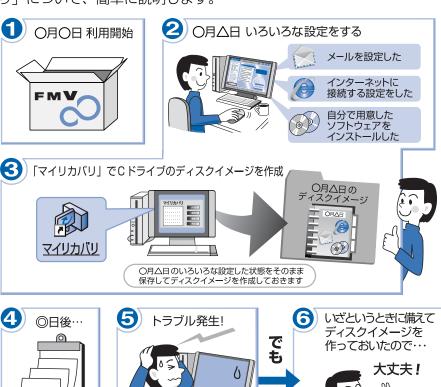
ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

書き込みが完了すると、「ディスクへの書き込みが終了しました。」というメッセージが表示され、ディスクが自動で出てきます。

9 画面に表示されるメッセージに従って手順 7 ～ 8 を繰り返します。

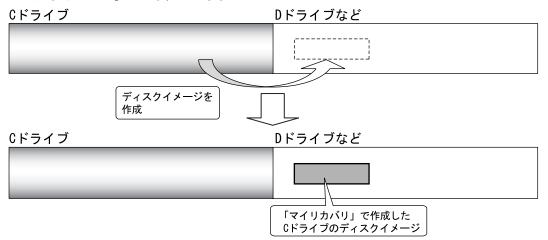
手順 7 の画面で表示されるメッセージは、作成するディスクによって異なります。作成するディスクをよく確認してから、ディスクのレーベル面にディスクの名前を記入してください。

10 「「リカバリディスクセット」の作成を完了しました。」と表示されたら、ディスクを取り出して「OK」をクリックします。

11 「マイリカバリ管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

12 「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。

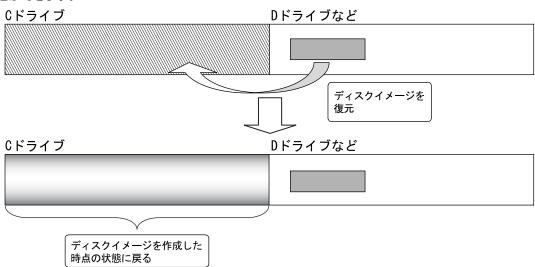
これで「リカバリディスクセット」の作成は終了です。作成したディスクは大切に保管してください。

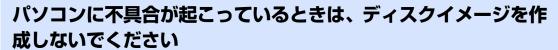
まるごとバックアップするには　「マイリカバリ」

「マイリカバリ」について、簡単に説明します。

さあ、実際に「マイリカバリ」でディスクイメージを作成してみましょう

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

「マイリカバリ」とは

「マイリカバリ」は、ハードディスク（C ドライブのみ）をまるごとバックアップしておき、必要なときにバックアップしたときと同じ状態に戻すことのできるソフトウェアです。
「マイリカバリ」を使って何ができるのか、簡単に説明します。

ディスクイメージを作成する

「マイリカバリ」では、C ドライブのデータをまるごとディスクイメージとして D ドライブなど C ドライブ以外のほかのドライブに保存します。ディスクイメージとは、ハードディスクに格納されたあらゆる情報を 1 つにまとめたファイルです。C ドライブをまるごと D ドライブなどにバックアップしておくようなものと考えれば良いでしょう。

ディスクイメージを復元する

「マイリカバリ」で作ったCドライブのディスクイメージを復元して、Cドライブを前の状態に戻すことができます。

「マイリカバリ」をお使いになる上での注意事項

パソコンに不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください

「マイリカバリ」でディスクイメージを作成すると、パソコンの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。パソコンに不具合が起こっているときはディスクイメージを作成しないでください。

すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

「マイリカバリ」は、すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。また、著作権保護された映像 (デジタル放送の録画番組など) や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

次の場合は、ディスクイメージを作成した後にディスクなどにデータをコピーしてください

- ハードディスクの領域を変更する場合
- 故障したときに備えてディスクイメージを作成する場合

ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスク全体のファイルが削除されてしまうため、D ドライブに作成したディスクイメージも削除されます。
また、パソコンが故障したときは、D ドライブにバックアップしたデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。
このようなときに備え、作成したディスクイメージをディスクなどこのパソコンのハードディスク以外にコピーしてください。

お使いになれるディスク

「マイリカバリ」でディスクイメージを書き込めるディスクは、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R、DVD+R DL です。Blu-ray Disc 対応機種では、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL もお使いになれます。
CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R DL はお使いになれません。

外付けハードディスクをお使いになる場合

外付けハードディスクにディスクイメージを保存する場合、USB［ユーエスビー］接続の外付けハードディスクを用意してください。USB 接続以外の接続方式の外付けハードディスクでは正常に動作しない場合があります。

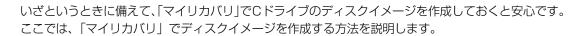
外付けハードディスクなどの外部記憶装置は取り外してください

外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

- 外付けハードディスクは、「マイリカバリ」起動後に「ディスクイメージの保存先が外付けハードディスクの場合は、ここで接続してください」と表示されてから接続してください。
- その他の外部記憶装置は、必ずパソコンから取り外した状態で操作してください。

「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」以外で領域を設定した場合

「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」を使用せずに、市販のソフトウェアなどでハードディスクの領域設定を行った場合、「マイリカバリ」はお使いになれません。

D ドライブを拡張領域に設定しないでください

お客様が D ドライブを拡張領域に設定すると、「マイリカバリ」はお使いになれません。

保存先をネットワーク上のドライブにする場合

別のパソコンなどネットワーク上のドライブに、ディスクイメージを保存できます。この場合、次の点にご注意ください。

- ネットワークの知識が必要です。
- あらかじめネットワークに接続した環境で操作を始めてください。
- セキュリティ対策ソフトを無効にして実行するため、保存先のパソコンとはクロスケーブルをお使いになり直接接続することを強くお勧めします。
- ディスクイメージ作成中は、すべてのパソコンのセキュリティ対策ソフトを無効にしてください。ディスクイメージ作成後は、セキュリティ対策ソフトを有効に戻してください。
- セキュリティ対策ソフトを無効や有効にする方法については、お使いのセキュリティ対策ソフトのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- ディスクイメージ作成中は、すべてのパソコンのログオンパスワードを「無効」にしてください。「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有」で設定を変更できます。

ディスクイメージを作成する

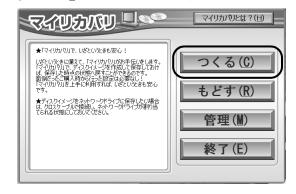
いざというときに備えて、「マイリカバリ」でCドライブのディスクイメージを作成しておくと安心です。
ここでは、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する方法を説明します。

重要

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 (スタート)→「すべてのプログラム」→「マイリカバリ」の順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は「続行」をクリックします。
「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

Point

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます。

1. (スタート)→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。
   サポート(Support)ボタン搭載機種の場合、サポート(Support)ボタンを押しても、「FMV サポートナビ」を起動できます。
2. 「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。
3. (マイリカバリ)をクリックして選択し、「実行」をクリックします。

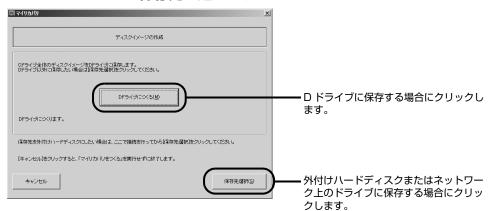
3 「閉じる」をクリックします。

「マイリカバリ」が表示されます。

4 「つくる」をクリックします。

画面で見るマニュアル 添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

5 作成するディスクイメージに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

いつの時点のディスクイメージかがわかるように、コメントを入力してください。

6 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。
「ディスクイメージの作成」という画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

7 ディスクイメージの保存先を選びます。

■D ドライブに保存する場合

「D ドライブにつくる」をクリックします。

■USB 接続の外付けハードディスクに保存する場合

1. パソコンの USB コネクタに外付けハードディスクを接続し、「保存先選択」をクリックします。
2. 保存先のドライブを選択し、「次へ」をクリックします。

■**ネットワーク上のドライブに保存する場合**

1. 「保存先選択」をクリックします。
2. 「ネットワークの割り当て」をクリックします。
3. ドライブとフォルダを選択し、「OK」をクリックします。
   ユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されたら、ユーザー名が「(ネットワーク上のコンピュータ名) ¥guest」になっていることを確認し、パスワードには何も入力しないで、「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックします。

画面例は、D ドライブに保存する場合です。

(画面は機種や状況により異なります)

9 「実行」をクリックします。

ディスクイメージを作成し始めます。しばらくお待ちください。

終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。約 30%終了するまでは、残り時間が正確に表示されない場合がありますのでご了承ください。

10 「ディスクイメージを作成しました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージが指定したドライブに保存されました。

作成したディスクイメージは、DVD などにコピーできます

DVD などにディスクイメージをコピーしておけば、パソコンにもしものことがあった場合でも安心です。ディスクイメージを DVD などにコピーしておくことをお勧めします。詳しくは、「ディスクイメージを DVD などにコピーする」(→P.31)をご覧ください。

ディスクイメージを復元する

ディスクイメージを復元する方法については、「「マイリカバリ」を使うリカバリ」（P.57）をご覧ください。

ディスクイメージを DVD などにコピーする

D ドライブなどに保存されているディスクイメージを、DVD などにコピーする方法を説明します。なお、必要なディスクの枚数は、お使いのモデルや状況によって異なります。手順 5（P.33）の画面に表示される枚数を確認し、必要な枚数のディスクを用意してください。

重要

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

Point

お使いになれるディスク

「マイリカバリ」でディスクイメージを書き込めるディスクは、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R、DVD+R DL です。Blu-ray Disc 対応機種では、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL もお使いになれます。
CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R DL はお使いになれません。

DVD などへの書き込みには「Roxio Creator」が必要です

ディスクイメージを DVD などに書き込むには、このパソコンに用意されている「Roxio Creator［ロキシオクリエーター］」というソフトウェアが必要です。「Roxio Creator」を削除すると、ディスクイメージを DVD などに書き込むことができなくなりますのでご注意ください。

ディスクイメージを書き込んだ DVD などではパソコンは起動できません

ディスクイメージを書き込んだ DVD などを使って、パソコンを起動することはできません。
「マイリカバリ」でリカバリをする手順の途中で、ディスクをセットするところでのみ、お使いになれます。

ネットワーク上のドライブに保存したディスクイメージを DVD などにコピーする場合

次の点にご注意ください。

・ あらかじめネットワークに接続した環境で操作を始めてください。
　ネットワークドライブの割り当てをしてください。
・ セキュリティ対策ソフトを無効にして実行するため、保存先のパソコンとはクロスケーブルをお使いになり直接接続することを強くお勧めします。
・ ディスクイメージコピー中は、すべてのパソコンのセキュリティ対策ソフトを無効にしてください。ディスクイメージコピー後は、セキュリティ対策ソフトを有効に戻してください。
・ セキュリティ対策ソフトを無効や有効にする方法については、お使いのセキュリティ対策ソフトのマニュアルやヘルプをご覧ください。
・ ディスクイメージコピー中は、すべてのパソコンのログオンパスワードを「無効」にしてください。「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有」で設定を変更できます。

1 (スタート)→「すべてのプログラム」→「マイリカバリ」の順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は「続行」をクリックします。
「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます

「マイリカバリ」は「FMV サポートナビ」からも起動できます。

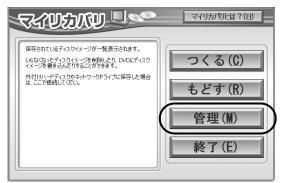
1. (スタート)→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。
   サポート(Support)ボタン搭載機種の場合、サポート(Support)ボタンを押しても、「FMV サポートナビ」を起動できます。
2. 「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。
3. (マイリカバリ)をクリックして選択し、「実行」をクリックします。

2 「閉じる」をクリックします。

「マイリカバリ」が表示されます。

3 「管理」をクリックします。

(これ以降の画面はお使いの機種により異なります)

4 「ディスクイメージ管理」をクリックします。

画面で見るマニュアル 添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

5 DVD などにコピーするディスクイメージを選択し、「書き込み」をクリックします。

6 「書き込み先の選択」ウィンドウでディスクを選択します。

7 表示された枚数を確認し、「OK」をクリックします。

ここではまだディスクを CD/DVD ドライブにセットしないでください。

8 「次の DVD をコピーします。」または、「次の Blu-ray Disc をコピーします。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面にディスクイメージ名と何枚目のディスクかを記入してから、CD/DVD ドライブにセットします。

レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

9 「はい」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

書き込みが完了すると、「メディアへの書き込みが終了しました」というメッセージが表示され、CD/DVD ドライブが自動的に開きます。

10 「OK」をクリックします。

11 **「バックアップディスクの作成はすべて完了しました。」というメッセージが表示されるまで、手順 8 ～ 10 を繰り返します。**

12 **「バックアップディスクの作成はすべて完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。**

13 **「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。**

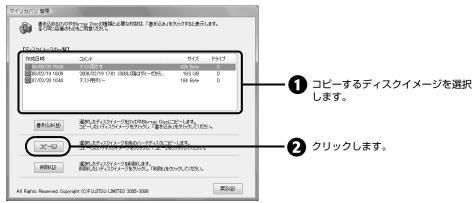
14 **「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。**

ディスクイメージをコピーしたディスクは、大切に保管してください。

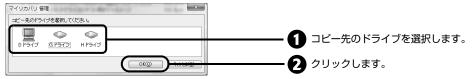
ディスクイメージを他のドライブにコピーする

Dドライブなどに保存されているディスクイメージを、Cドライブ以外のドライブにコピーできます。

重要

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

Point

ネットワーク上のドライブにコピーする場合

次の点にご注意ください。

・あらかじめネットワークに接続した環境で操作を始めてください。
ネットワークドライブの割り当てをしてください。

・セキュリティ対策ソフトを無効にして実行するため、コピー先のパソコンとはクロスケーブルをお使いになり直接接続することを強くお勧めします。

・ディスクイメージをコピー中は、すべてのパソコンのセキュリティ対策ソフトを無効にしてください。ディスクイメージコピー後は、セキュリティ対策ソフトを有効に戻してください。

・セキュリティ対策ソフトを無効や有効にする方法については、お使いのセキュリティ対策ソフトのマニュアルやヘルプをご覧ください。

・ディスクイメージをコピー中は、すべてのパソコンのログオンパスワードを「無効」にしてください。「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有」で設定を変更できます。

1 **「ディスクイメージをDVDなどにコピーする」の手順1～4（→P.32）を行い、「マイリカバリ」を起動して、「管理」メニューの「ディスクイメージ管理」をクリックします。**

2 **次の画面の操作をします。**

（画面は機種や状況により異なります）

3 次の画面の操作をします。

確認のメッセージが表示されます。

4 「OK」をクリックします。

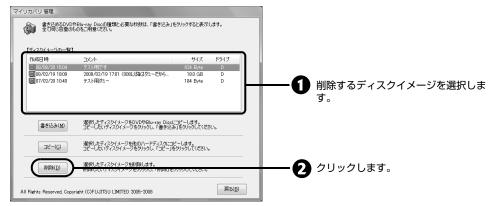
ディスクイメージのコピーが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。
書き込みが完了すると、「ディスクイメージのコピーが終了しました」というメッセージが表示されます。

5 「OK」をクリックします。

6 「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

7 「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。

ディスクイメージを削除する

不要になったディスクイメージを削除する方法を説明します。

ネットワーク上のドライブに保存したディスクイメージを削除する場合

次の点にご注意ください。

- あらかじめネットワークに接続した環境で操作を始めてください。
  ネットワークドライブの割り当てをしてください。
- セキュリティ対策ソフトを無効にして実行するため、保存先のパソコンとはクロスケーブルをお使いになり直接接続することを強くお勧めします。
- ディスクイメージ削除中は、すべてのパソコンのセキュリティ対策ソフトを無効にしてください。ディスクイメージ削除後は、セキュリティ対策ソフトを有効に戻してください。
- セキュリティ対策ソフトを無効や有効にする方法については、お使いのセキュリティ対策ソフトのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- ディスクイメージ削除中は、すべてのパソコンのログオンパスワードを「無効」にしてください。「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有」で設定を変更できます。

画面で見るマニュアル 添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

1 「ディスクイメージを DVD などにコピーする」の手順 1 ～ 4（→P.32）を行い、「マイリカバリ」を起動して、「管理」メニューの「ディスクイメージ管理」をクリックします。

2 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

確認のメッセージが表示されます。

3 「はい」をクリックします。

ディスクイメージが削除されます。

4 「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

5 「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。

必要なものだけバックアップするには「FM かんたんバックアップ」

「FM かんたんバックアップ」を使うと、お客様が作成したファイルなどのバックアップや復元がまとめて簡単にできます。
ここでは、「FM かんたんバックアップ」を使って、Dドライブにデータをバックアップする方法を説明します。
「FM かんたんバックアップ」の使い方については、『画面で見るマニュアル』もあわせてご覧ください。Dドライブ以外にバックアップする方法やバックアップしたデータをCDやDVDなどにコピーする方法についても説明しています。

参照

▼ D ドライブ以外にバックアップする方法やバックアップしたデータを CD や DVD などにコピーする方法

『画面で見るマニュアル』 »「211060」で検索
→「まとめて簡単にバックアップする」

「FM かんたんバックアップ」をお使いになる上での注意事項

「FM かんたんバックアップ」をお使いになる前に、次の注意事項をご覧ください。

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

「FM かんたんバックアップ」は、すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。

次のデータは、「FM かんたんバックアップ」でバックアップできません

- **著作権保護された音楽データ／映像データ**
  デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。
  著作権保護された音楽データ／映像データのバックアップ／復元については、お使いのソフトウェアのマニュアルやヘルプをご覧ください。

- **「FM かんたんバックアップ」の「バックアップ項目」または「バックアップする内容」に登録されていないソフトウェアで作成したファイル**
  「すべてのユーザーと項目をバックアップ」では、「バックアップ項目」に登録されていないソフトウェアで作成したファイルはバックアップされません。
  「選択してバックアップ」では、「バックアップする内容」の「項目」に登録されていないソフトウェアで作成したファイルはバックアップできません。
- **バージョンアップを行ったソフトウェア**
  ソフトウェアのバージョンアップを行うと、ファイルの構造やデータの格納先が変更されることがあります。この場合は、ファイルをコピーして、バックアップしてください。
- **データの保存先を変更したソフトウェアで作成したファイル**
  ソフトウェアで作成したデータの保存場所を変更した場合は、「FM かんたんバックアップ」でバックアップできません。この場合は、個別にファイルをコピーして、バックアップしてください。

参照

▼ ファイルをコピーしてバックアップする方法
『画面で見るマニュアル』 »「211070」で検索
→「ファイルを選んでバックアップする」

テレビ番組の録画データはディスクにバックアップすることをお勧めします

テレビ番組を録画したデータは容量が大きいため、「FM かんたんバックアップ」を使用せず、個別に DVD などのディスクにバックアップすることをお勧めします。

参照

▼ テレビ番組の録画データを DVD などに保存するには
『ＦＭＶ テレビ操作ガイド』
→「録ったテレビ番組を保存する／再生する」→「録ったテレビ番組をディスクに保存する」

お使いになれるディスク

「FM かんたんバックアップ」でデータを書き込めるディスクは、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R、DVD+R DL です。DVD-R DL はお使いになれません。DVD-RAM はFAT32でフォーマットした場合のみ「バックアップデータ格納先」として指定することができます。Blu-ray Disc 対応機種では、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL もお使いになれます。

次の場合は、バックアップした後にディスクなどにデータをコピーしてください

- **ハードディスクの領域を変更する場合**
- **故障したときに備えてバックアップする場合**

「FM かんたんバックアップ」では、データをDドライブにバックアップします。ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスク全体のファイルが削除されてしまうため、Dドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。
また、パソコンが故障したときは、Dドライブにバックアップしたデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。
このようなときに備え、バックアップしたデータを、CD、DVD、Blu-ray Disc、外付けハードディスクなど、このパソコンのハードディスク以外にコピーしてください。

D ドライブを拡張領域に設定した場合

お客様が D ドライブを拡張領域に設定していると、D ドライブにデータをバックアップすることができません。

複数のユーザーでパソコンをお使いの方へ

管理者権限を持たない「標準ユーザー」で Windows にログオンしている場合は、管理者権限を持つユーザーアカウントのパスワードを入力する必要があります。

ユーザーアカウントの権限の確認方法

現在ログオンしているユーザーアカウントの権限は、次の手順で確認できます。

1. (スタート)→「コントロールパネル」の順にクリックします。
   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」または「ユーザーアカウント」をクリックします。
3. 「ユーザーアカウント」をクリックします。
   「ユーザーアカウントの変更」の画面が表示されます。
4. 画面右のログイン名の下に表示されている、アカウントの種類を確認します。

・ Administrator
  管理者権限を持つユーザーアカウントです。
・ 標準ユーザー
  管理者権限を持たないユーザーアカウントです。「FM かんたんバックアップ」をお使いになるときは、管理者権限を持つユーザーアカウントのパスワードを入力してお使いください。

「FM かんたんバックアップ」でバックアップする

文書や画像ファイルなど、ソフトウェアを使って作成したデータやインターネットの設定を次の手順でバックアップします。

重要

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

1 **管理者権限を持つユーザーアカウントで Windows にログオンしていることを確認します。**

「標準ユーザー」で Windows にログオンしているときは、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者権限を持つユーザーアカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。
ユーザーアカウントの権限の確認方法は、「Point ユーザーアカウントの権限の確認方法」（P.40）をご覧ください。

2 **起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。**

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。

参照

▼ スクリーンセーバーの設定方法

『画面で見るマニュアル』 »「920740」で検索

→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

3 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。**

サポート（Support）ボタン搭載機種の場合、サポート（Support）ボタンを押しても、「FMV サポートナビ」を起動できます。

4 **「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。**

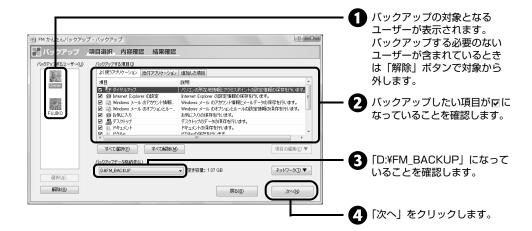
5 **（FM かんたんバックアップ）をクリックして選択し、「実行」をクリックします。**

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

6 **「続行」をクリックします。**

「FM かんたんバックアップ」ウィンドウが表示されます。

7 「バックアップ」の枠からどちらかのボタンを選んでクリックします。

■すべてのユーザーと項目をバックアップ

すべてのユーザーのバックアップ可能なすべての項目を D ドライブにバックアップします。
この後は、手順 9 に進んでください。

■選択してバックアップ

バックアップするユーザーと項目を選んで D ドライブにバックアップします。

8 「すべてのユーザーと項目をバックアップ」を選択した場合は、手順 9 に進んでください。「選択してバックアップ」を選択した場合は、❶～❹の手順に従って操作してください。

9 「バックアップ内容の確認」ウィンドウで、「バックアップを開始する」をクリックします。

Point

「既にバックアップしたデータが存在します。」というメッセージが表示された場合

すでにバックアップしたデータを更新（上書き）するときは、「OK」をクリックしてください。
バックアップを中止するときは、「キャンセル」をクリックしてください。

バックアップ先のディスク容量が不足している場合

「戻る」をクリックしてバックアップする項目を減らしたり、バックアップ先の空き容量を増やしてから「容量の再計算」をクリックしてください。

10 データのバックアップが始まります。しばらくお待ちください。

このとき、他の操作は行わないでください。また、スリープや休止状態にはしないでください。スリープや休止状態にすると、バックアップが正常に行われない場合があります。

2
大切なデータを保存する（バックアップ）

11 「バックアップ結果」ウィンドウで、結果を確認します。

「バックアップした項目」をスクロールして、「結果」がすべて「正常終了」になっていることを確認してください。
バックアップに失敗した場合は、もう一度失敗した項目を選択してバックアップする操作を行ってください。

12 「バックアップ結果」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

■手順 7 で「すべてのユーザーと項目をバックアップ」を選択した場合

「FM かんたんバックアップ」ウィンドウに戻ります。

■手順 7 で「選択してバックアップ」を選択した場合

「バックアップ」ウィンドウに戻ります。もう一度「戻る」をクリックすると、「FM かんたんバックアップ」ウィンドウに戻ります。

13 「閉じる」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」が終了します。

これで、「FM かんたんバックアップ」により、データがバックアップされました。

「FM かんたんバックアップ」で復元する

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたデータを元の場所に復元します。
「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしたデータを復元するときも、「FM かんたんバックアップ」を使います。

重要

ACアダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

ご購入後にインストールしたソフトウェアのファイルを復元する場合

パソコンをリカバリした後に復元する場合、ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。
ソフトウェアがインストールされていない場合は、先にソフトウェアをインストールしてからファイルを復元してください。

データを復元するときの注意

「FM かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「FM かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップした時点でのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した設定や内容はすべて消えてしまいます。充分に注意してください。

「Outlook 2007」のファイルを復元するときの注意

ご購入時の状態に戻すリカバリを行った直後など、「Outlook 2007」の初期設定を行っていない場合は、「Outlook 2007」のファイルを復元する前に、「Outlook 2007」の初期設定が必要です。必ず「Outlook 2007」の初期設定をお済ませになってから、ファイルを復元してください。

参照

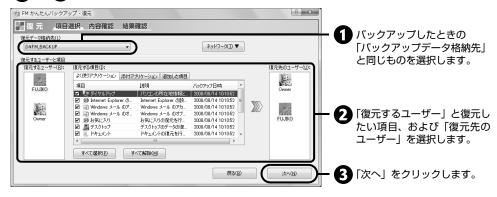
▼「Outlook 2007」の初期設定について
『画面で見るマニュアル』»「406010」で検索
→「アカウントやメールアドレスを設定する（Outlook 2007)」

1 **起動中のソフトウェアをすべて終了し、スクリーンセーバーを「なし」に設定します。**

通知領域に常駐するタイプのソフトウェアも終了します。

参照

▼ スクリーンセーバーの設定方法
『画面で見るマニュアル』 »「920740」で検索
→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

2 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。**

サポート（Support）ボタン搭載機種の場合、サポート（Support）ボタンを押しても、「FMV サポートナビ」を起動できます。

3 **「日頃のメンテナンス」タブをクリックします。**

4 (FM かんたんバックアップ) をクリックして選択し、「実行」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

5 「続行」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ」ウィンドウが表示されます。

6 「選択して復元」をクリックします。

7 ❶～❸の手順に従って操作してください。

■「FM かんたんバックアップ」でバックアップした場合

「復元データ格納先」がバックアップしたときの「バックアップデータ格納先」と同じになっていることを確認してください。ご購入時の設定では、「バックアップデータ格納先」は「D:¥FM_BACKUP」になっています。

■「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップした場合

「復元データ格納先」の中から「D:¥PE_BACKUP」を選択してください。

8 「復元内容の確認」ウィンドウで、「復元を開始する」をクリックします。

「復元を行うとバックアップ時のデータで上書きされ、バックアップ時の状態に戻ります。復元を続けますか？」というメッセージが表示されます。

9 バックアップ時の状態に戻すときは、「OK」をクリックします。

10 データの復元が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、他の操作は行わないでください。また、スリープや休止状態にしないでください。スリープや休止状態にすると、復元が正常に行われない場合があります。

11 「復元結果」ウィンドウで、結果を確認します。

「復元した項目」をスクロールして、「結果」がすべて「正常終了」になっていることを確認してください。

Point

ファイルが復元されなかった場合

次のような原因が考えられます。

- 「復元データ格納先」が間違って指定されている
  バックアップしたときの「バックアップデータ格納先」と同じものに指定し直してください。
- ファイルがバックアップされていない
  ファイルのバックアップに失敗しています。この場合、ファイルの復元はできません。

12 「復元結果」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

Windows の再起動をうながすメッセージが表示された場合は､「OK」をクリックして Windows を再起動してください。この場合手順 13 は必要ありません。

13 「FM かんたんバックアップ」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。

これで、バックアップしたデータが元の場所に復元されました。
このとき、復元したファイルを開いて、データが復元されたことを確認すると、より安心です。

Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」

Windows が起動できない場合でも、パソコンの状態によっては「かんたんバックアップレスキュー」を使って、大切なデータのバックアップができます。バックアップしたデータは、D ドライブに保存されます。

重要

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

「かんたんバックアップレスキュー」は、すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。また、著作権保護された映像 (デジタル放送の録画番組など) や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。

D ドライブを拡張領域に設定した場合

お客様が D ドライブを拡張領域に設定していると、D ドライブにデータをバックアップすることができません。

「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップする

1 **パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。**

2 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 **お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。**

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

1. キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

（画面は機種や状況により異なります）

起動メニューが表示されない場合

電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。

重要

「トラブル解決ナビ」が表示されないときは

BIOS［バイオス］の設定を初期値に戻してください。詳しくは、「BIOS 設定をご購入時の状態に戻す」（P.170）をご覧ください。

5 「システム回復オプション」ウィンドウで「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。

6 「Microsoft Windows Vista」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

7 お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択し、「OK」をクリックします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

8 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

9 「トラブル解決ナビ」で、「ユーティリティ」タブをクリックします。

重要

「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示された場合

まれに、「トラブル解決ナビ」が表示されず、「マイリカバリをつくる」ウィンドウが表示されてしまうことがあります。
このときは、必ず「キャンセル」をクリックし、手順 2 からやり直してください。

10 「かんたんバックアップレスキュー」をクリックし、「実行」をクリックします。

11 「かんたんバックアップレスキューのワンポイント」ウィンドウの内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

12 「項目を選択して保存を実行」をクリックします。

13 「保存するユーザー プロファイル フォルダを選択してください」ウィンドウで、データを保存したいユーザー名をクリックし、「OK」をクリックします。

14 「保存する内容」の一覧から、バックアップしたい項目の□をクリックして☑にします。

すでに☑になっている場合は、クリックする必要はありません。

お客様が作成したファイルやフォルダを保存したい場合

「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウの「項目の編集」をクリックし、「追加」をクリックすると、バックアップするファイルやフォルダを追加することができます。

15 「保存データ格納先」が「D:¥PE_BACKUP¥［データを保存したいユーザー名］」になっているか確認します。

バックアップしたデータは D ドライブに保存されます。

16 「データの保存開始」をクリックします。

17 「かんたんバックアップレスキューー保存開始」ウィンドウで保存項目を確認し、「開始」をクリックします。

データのバックアップが始まります。しばらくお待ちください。

18 「かんたんバックアップレスキューー保存結果」ウィンドウで「保存した項目」をスクロールして、すべての項目が保存できていることを確認したら、「閉じる」をクリックします。

19 「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウで左上にある「終了」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」に戻ります。

複数のユーザーアカウントでお使いの場合

必要に応じて、他のユーザーのデータもバックアップしてください。バックアップを行わないとデータが消えてしまいます。他のユーザーのデータをバックアップするには、再度手順 9 から操作し直してください。手順 13 で他のユーザー名を選択し、そのまま操作を続けてください。

20 「トラブル解決ナビ」ウィンドウで「終了」をクリックします。

「[OK] をクリックするとトラブル解決ナビを終了します」というメッセージが表示されます。

21 「OK」をクリックします。

「システム回復オプション」ウィンドウに戻ります。

22 「シャットダウン」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

これでデータのバックアップは終了です。
この後は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成済みの方は「「マイリカバリ」を使うリカバリ」(→P.57)に、まだ一度もディスクイメージを作成していない方は「ご購入時の状態に戻すリカバリ」(→P.63)にお進みになり、リカバリを実行してください。

バックアップしたデータを復元する

バックアップしたデータを復元するには、「FM かんたんバックアップ」を使います。詳しくは、「「FM かんたんバックアップ」で復元する」(→P.45)をご覧ください。

第3章

パソコンを復元する（リカバリ）

ここでは、パソコンを復元する方法について説明します。
「リカバリとは」を必ず読んでから作業を始めてください。

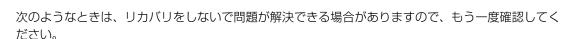
リカバリとは

パソコンのＣドライブを、ご購入時の状態に戻したり、マイリカバリでバックアップしたときの状態に戻したりすることを「リカバリ」といいます。
原因が特定できない不具合が起きたときなどに、リカバリをすると解決されることがあります。
しかし、リカバリをするとＣドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいますので、本当にリカバリが必要なのかをもう一度確かめてください。リカバリをしなくても、問題を解決できる場合があります。
リカバリをするときは、以降の記載をお読みになり、あらかじめリカバリについて理解しておきましょう。

こんなときにリカバリをする

パソコンが次のような状態になったときに、リカバリを行います。

- 電源を入れても Windows が起動しない
- ウイルスに感染してしまったが、駆除できない
- 原因はわからないけれどパソコンが動かない
- システムを入れ直したい
- ハードディスクの領域を設定し直したい

リカバリをするとどうなるのか

リカバリを行うと、Ｃドライブのデータはすべて削除されます。
重要と思われるデータは、お客様の責任において、Ｄドライブや CD や DVD など別の媒体にバックアップをしてください。なお、バックアップできない設定情報やファイルがあった場所などは、リカバリ後のことを考えて、メモなどに控えておくと良いでしょう。
バックアップをしないでリカバリを行い、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできません。
バックアップ方法については、「必要なものだけバックアップするには「FM かんたんバックアップ」」（P.38）、「Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」」（P.48）をご覧ください。

リカバリをする必要があるかもう一度確認

次のようなときは、リカバリをしないで問題が解決できる場合がありますので、もう一度確認してください。

■パソコンに起こったトラブルを解決したい

リカバリをする以外の解決方法がないか、マニュアルをご覧になりもう一度確認してください。
「Q&A 集」（ P.101）
BIOS［バイオス］をご購入時の状態に戻すと、問題が解決する場合があります。
ご購入時の状態に戻す方法については、「BIOS 設定をご購入時の状態に戻す」（ P.170）をご覧ください。

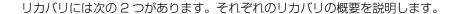
■削除したソフトウェアを再インストールしたい

ソフトウェアの再インストールのためにリカバリをする必要はありません。マニュアルをご覧になり、インストールしてください。

参照

▼ 添付のソフトウェアのインストール方法
『画面で見るマニュアル』 »「202420」で検索
→「ソフトウェアをインストールする」

■ドライバを更新したい

必要なドライバがわかっている場合、特定のドライバを更新するためにリカバリをする必要はありません。
ドライバの更新については、「ドライバを更新する」（ P.167）をご覧ください。

■廃棄・譲渡の前に、個人情報を消したい

ハードディスクの情報を消すことが目的の方は、リカバリではなく「ハードディスクデータ消去」を行ってください。
「ハードディスクデータ消去」については、「廃棄に関するご注意」（ P.97）をご覧ください。

リカバリの種類

リカバリには次の 2 つがあります。それぞれのリカバリの概要を説明します。

「マイリカバリ」を使うリカバリ

■特徴

Cドライブのデータがいったんすべて削除され、その後「マイリカバリ」でディスクイメージを保存した時点の状態に戻ります。Dドライブのデータは残ります。
メールやインターネットの設定、ソフトウェアなどもディスクイメージを作成したときのままなので、設定し直さなくてもパソコンを使えます。ただし「マイリカバリ」でリカバリした後は、Windows Update やセキュリティソフトの更新を忘れずに行ってください。
万一パソコンの調子が悪くなりリカバリが必要なときは、ご購入時の状態に戻すリカバリをする前に、「マイリカバリ」で保存しているディスクイメージを使ってリカバリすることをお勧めします。
「マイリカバリ」について詳しくは「「マイリカバリ」とは」（→ P.25）をご覧ください。

■操作方法

「「マイリカバリ」を使うリカバリ」（→ P.57）をご覧ください。

ご購入時の状態に戻すリカバリ

■特徴

Cドライブのデータがいったんすべて削除され、その後ご購入時の状態に戻ります。Dドライブのデータは残ります。「マイリカバリ」を使うリカバリで問題が解決しない場合は、ご購入時の状態に戻すリカバリを行ってください。
今までの設定などをやり直す必要があります。このパソコンをご購入後にインストールしたソフトウェアやドライバは、再度インストールしてください。Windows Update やセキュリティソフトの更新も忘れずに行ってください。
ご購入時の状態に戻すリカバリについて詳しくは「ご購入時の状態に戻すリカバリの考え方」（→ P.64）をご覧ください。

■操作方法

「ご購入時の状態に戻すリカバリ」（→ P.63）をご覧ください。

「マイリカバリ」を使うリカバリ

ここでは、「マイリカバリ」で作成したCドライブのディスクイメージを復元する方法を説明します。
「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する方法については、「まるごとバックアップするには「マイリカバリ」」（→P.24）をご覧ください。

ディスクイメージを復元する

ディスクイメージを保存した後に新しく設定したり保存したりしたデータは失われます

ディスクイメージを復元すると、Cドライブが、ディスクイメージを作成した時点の状態に戻ります。そのため、ディスクイメージを作成した後に行った設定やCドライブに保存したデータは、すべて失われます。ディスクイメージを作成した後に保存したデータは、Dドライブまたは CD や DVD などの別の媒体にバックアップをしてください。
バックアップ方法については、「必要なものだけバックアップするには 「FM かんたんバックアップ」」（→P.38）をご覧ください。
また、ディスクイメージを作成した後に行った設定でパソコンをお使いになりたい場合は、「マイリカバリ」を使うリカバリでディスクイメージを復元した後に、再度お好みの設定に設定し直してください。

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

外付けハードディスクに保存したディスクイメージを復元する場合

- 外付けハードディスクは、「マイリカバリ」起動後に「ディスクイメージの保存先が外付けハードディスクの場合は、ここで接続してください。」と表示されてから接続してください。
- その他の外部記憶装置は、必ずパソコンから取り外した状態で操作してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

ネットワーク上のドライブに保存したディスクイメージを復元する場合

次の点にご注意ください。

- あらかじめネットワークに接続した環境で操作を始めてください。
  保存先のファイルが見える状態になっていることを確認してください。
- セキュリティ対策ソフトを無効にして実行するため、保存先のパソコンとはクロスケーブルをお使いになり直接接続することを強くお勧めします。
- ディスクイメージ復元中は、すべてのパソコンのセキュリティ対策ソフトを無効にしてください。ディスクイメージ復元後は、セキュリティ対策ソフトを有効に戻してください。
- セキュリティ対策ソフトを無効や有効にする方法については、お使いのセキュリティ対策ソフトのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- ディスクイメージ復元中は、すべてのパソコンのログオンパスワードを「無効」にしてください。「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有」で設定を変更できます。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

パソコンの電源を切らずに、ディスクイメージを復元することもできます

1. パソコンの電源を切らずに、（スタート）→「すべてのプログラム」→「マイリカバリ」の順にクリックします。
   「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。
2. 「閉じる」をクリックします。
   「マイリカバリ」が表示されます。
3. 「もどす」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。
   パソコンが再起動します。
5. これ以降の操作は手順 10（P.60）をご覧ください。

3 お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

1. キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。

（画面は機種や状況により異なります）

起動メニューが表示されない場合

Windowsが起動してしまった場合は、（スタート）→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 起動メニューが表示されたら、[↓] を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、[Enter] を押します。

重要

「トラブル解決ナビ」が表示されないときは

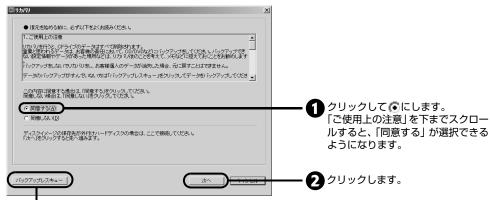
BIOS［バイオス］の設定を初期値に戻してください。詳しくは、「BIOS 設定をご購入時の状態に戻す」（→P.170）をご覧ください。

5 「システム回復オプション」ウィンドウで「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。

6 「Microsoft Windows Vista」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

7 お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択し、「OK」をクリックします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

8 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

9 次の画面の操作をします。

10 画面の内容を確認し、次の操作をします。

外付けハードディスクに保存したディスクイメージから復元する場合は、外付けハードディスクを接続します。

ディスクイメージを作成したときから現時点までに作成したデータは、「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしてください。
ここをクリックすると「かんたんバックアップレスキュー」が起動します。
「かんたんバックアップレスキュー」の使い方については、「Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」」（ P.48）をご覧ください。

11 「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを選択します。

「最新のディスクイメージで戻す」または「ディスクイメージを選ぶ」をクリックします。

■「最新のディスクイメージで戻す」
D ドライブや外付けハードディスクに保存した最新のディスクイメージで戻す場合、クリックします。

■「ディスクイメージを選ぶ」
次のディスクイメージで戻す場合、クリックします。

・D ドライブや外付けハードディスクに保存したディスクイメージ
・ネットワーク上のドライブに保存したディスクイメージ
・DVD などに保存したディスクイメージ

「ディスクイメージを選ぶ」をクリックすると表示される画面について

Dドライブや外付けハードディスクに保存したディスクイメージを復元する場合は、リストから使いたいディスクイメージをクリックして選択し、「決定」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

・ネットワーク上のドライブに保存したディスクイメージを復元する場合は、「ネットワーク上のディスクイメージを選択」をクリックします。
ユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されたら、ユーザー名が「（ネットワーク上のコンピュータ名）¥guest」になっていることを確認し、パスワードには何も入力しないで、「OK」をクリックします。
表示されたリストから使いたいディスクイメージをクリックして選択し、「決定」をクリックします。

12 「次へ」をクリックします。

画面例は、D ドライブから復元する場合です。

（画面は機種や状況により異なります）

13 「これから復元が始まります。」という画面で「実行」をクリックします。

「マイリカバリ」の進行状況を示す画面が表示され、ディスクイメージを使ったリカバリが始まります。

終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。約 30%終了するまでは、残り時間が正確に表示されない場合がありますのでご了承ください。

14 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「復元が完了しました。」と表示されます。

15 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ったリカバリが完了しました。

パソコンを復元する（リカバリ）

ご購入時の状態に戻すリカバリ

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す説明をします。

重要

「マイリカバリ」でディスクイメージを作成している方

ご購入時の状態に戻すリカバリをする前に、「マイリカバリ」で保存しているディスクイメージを使ってリカバリすることをお勧めします。それでも問題が解決しない場合は、ご購入時の状態に戻すリカバリを行ってください。

トラブル解決が目的でリカバリをする方

リカバリをしても、問題が解決されない場合があります。その場合は、状況に応じたサポートやサービスをご利用ください。

参照

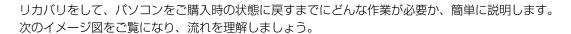
▼ 状況に応じたサポートやサービスをご利用いただくには
→『サポート＆サービスのご案内』

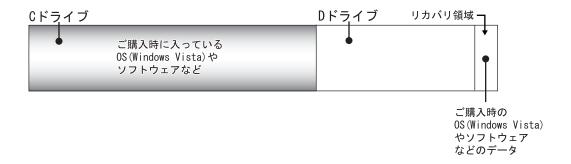
C ドライブのみを購入時に戻します

この章で説明する手順では、C ドライブだけをご購入時の状態に戻します。D ドライブのデータは残ります。

領域設定を変更しないでください

市販のソフトウェアや、Windows Vista の「ディスクの管理」で領域設定を変更しないでください。市販のソフトウェアや、Windows Vista の「ディスクの管理」で領域設定を変更された方は、ご購入時の状態に戻すリカバリを行うことができません。

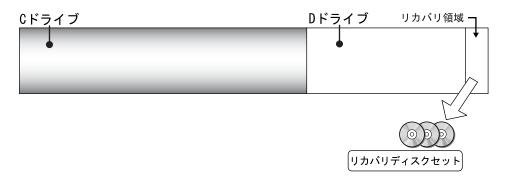
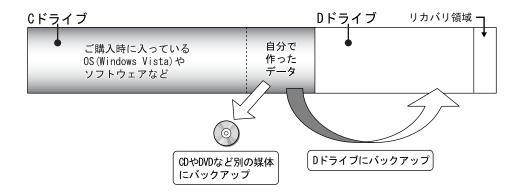
リカバリやバックアップの操作代行サービス（有償）をご用意しています

富士通パソコン出張サービス「PC 家庭教師」をご利用ください。

参照

『サポート＆サービスのご案内』
→「富士通パソコン出張サービス」→「P C 家庭教師（有料）」

ご購入時の状態に戻すリカバリの考え方

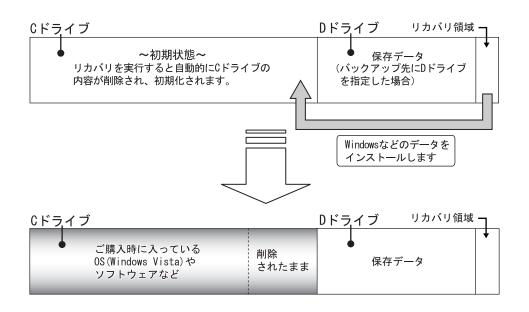
リカバリをして、パソコンをご購入時の状態に戻すまでにどんな作業が必要か、簡単に説明します。
次のイメージ図をご覧になり、流れを理解しましょう。

ハードディスクの領域

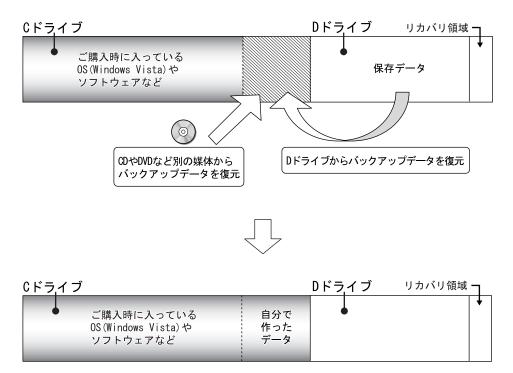
ご購入時のパソコンのハードディスクは、以下のような領域に分かれています。

リカバリ領域とは、ご購入時の状態に戻すリカバリ実行時のみに使われる領域で、ご購入時の OS（Windows Vista）やソフトウェアなどのデータが入っています。

「リカバリディスクセット」を作成してください

万一に備えて、リカバリ領域のデータを CD や DVD などにコピーして「リカバリディスクセット」を作成してください。「リカバリディスクセット」の作成方法は、「リカバリディスクセットを作っておく」（P.20）をご覧ください。

①リカバリ前にすること

ご購入後にCドライブに新しく自分で作ったデータがあれば、CDやDVDなど別の媒体や、Dドライブにバックアップしておきます。

②リカバリの実行（C ドライブの初期化～ご購入時の状態に戻るまで）

■リカバリの実行

リカバリを実行すると、自動的に C ドライブを初期状態にし（データは削除されます）、リカバリ領域から Windows などのデータを再インストールします。
ご購入時に入っているソフトウェアなどは、このときいっしょに再インストールされます。

これで、C ドライブがご購入時の状態に戻ったことになります。
このとき、自分で作ったデータは削除されたままです。

③以前使っていた環境に戻す（ご購入時の状態に戻った後）

バックアップ先から、データを元の場所に戻します。

パソコンを以前と同じ環境でお使いいただけます。

市販のソフトウェアなどをインストールしている場合

ご購入後に市販のソフトウェアなどを C ドライブにインストールしてお使いの場合は、必要に応じてリカバリの実行後にソフトウェアなどを再インストールしてください。

ご購入時の状態に戻すリカバリの流れ

リカバリの実際の手順は、次の作業を連続して行います。
機種により細かい手順は異なりますが、大枠の流れは次のとおりです。

準備

ファイルのバックアップ

STEP1　バックアップをする（P.68）

STEP2　ご購入時の状態に戻すリカバリをする前に気をつけておくこと（P.69）

STEP3　ディスクを用意する（P.71）

リカバリの実行

リカバリ ～ Windows のセットアップ

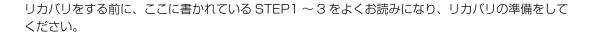
STEP4　ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する（P.72）

STEP5　Windowsのセットアップをする（P.78）

ソフトウェアのインストール

STEP6　『画面で見るマニュアル』をインストールする（P.80）

STEP7　「Office Personal 2007」をインストールする（P.81）

STEP8　デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻す（P.83）

STEP9　このパソコンに最適な設定を行う（P.84）

注：STEP6 から STEP9 は、お客様のご使用状況により手順が異なるため、すべて行う必要はありません。表示される画面およびこのマニュアルの手順に従って操作してください。

パソコンの設定を以前の環境に戻す

STEP10　以前の環境に戻す（P.85）

ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

リカバリをする前に、ここに書かれている STEP1 ～ 3 をよくお読みになり、リカバリの準備をしてください。

STEP 1 バックアップをする

リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて削除されます。
重要と思われるデータは、お客様の責任において、D ドライブ、CD や DVD など別の媒体にバックアップをしてください。なお、バックアップできない設定情報やファイルがあった場所などは、リカバリ後のことを考えて、メモなどに控えておくと良いでしょう。
バックアップをしないでリカバリを行い、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできません。
バックアップ方法については、「必要なものだけバックアップするには「FM かんたんバックアップ」」(→P.38)をご覧ください。

重要

Windows が起動できないときは

Windows が起動できないときに、データをバックアップするには、「かんたんバックアップレスキュー」を使います。
操作方法については、「Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」」(→P.48)をご覧ください。

ウイルスに感染したときは

ウイルスによっては、作成したファイルや Windows の設定が変更されてしまう場合があります。セキュリティ対策ソフトを使い、ウイルスを駆除してから、バックアップしてください。

メモなどに控えておきたいもの

データでバックアップできない次の内容などはメモしておくと良いでしょう。
- ネットワーク環境
- メールの設定
- ファイルの保存場所

バックアップしたファイルはパソコンをご購入時の状態に戻した後、同じ保存場所に戻すようにします。そのために元のファイルの保存場所を、メモなどして忘れないようにしてください。

STEP 2 ご購入時の状態に戻すリカバリをする前に気をつけておくこと

ご購入時の状態に戻すリカバリをする前に、次の項目を確認してください。

■AC アダプタを使用していますか？

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

▼ AC アダプタの取り付け方
『ＦＭＶ 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「AC アダプタを接続する」

■外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください

パソコン本体に外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続している場合は、リカバリを行う前に必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■添付のディスプレイ、キーボード、マウス以外は取り外してください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、ご購入時に添付されているディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器は取り外してください。また、セットした PC カードなどもすべて取り外してください。アンテナケーブルや LAN［ラン］ケーブル、モデムに接続した電話線などもすべて抜いてください。マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。
BIBLO をお使いの方でUSB［ユーエスビー］マウスが添付されている場合は、マウスも取り外してください。

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。

■メモリーカードは取り出してください

パソコンをご購入時の状態に戻すときは、メモリーカードを取り出してください。メモリーカードをセットしたままにすると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

ソフトウェアのインストールなどでファイルをコピーしている間は、他の操作をしないでください。次の画面が表示されるのに時間がかかる場合があります。むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、インストールが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からソフトウェアのインストール終了まで、早く終了する機種でも２～３時間はかかります。
半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

作業中に起こる可能性のあるトラブル

リカバリを実行するときやソフトウェアをインストールするときに、次のようなトラブルが起こる可能性があります。

■画面が真っ暗になった

パソコンが再起動して画面が暗くなる場合は、手順に記載しています。
手順に記載がないのに、画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。
【DESKPOWER の場合】
　マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを 1 回押してください。または、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。
【BIBLO の場合】
　フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。
それでも復帰しない場合は、電源（パソコン電源）ボタンを押してください。

■電源が切れない

電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

STEP 3 ディスクを用意する

ご購入時の状態に戻す作業には、このパソコンに添付のディスクを使います。

■機種名（品名）・モデルを確認する

お使いのパソコンによって、作業などが異なります。まず、機種名（品名）・モデルなどを確認してください。

参照

『スタートガイド 1　設置編』

■ディスクを用意する

「Office Personal 2007」搭載機種および「Office Personal 2007 with PowerPoint」搭載機種をお使いの方は、添付のディスクから次のディスクを用意してください。

- 「Office Personal 2007」
- 「Office PowerPoint 2007」

ディスクを用意できたら、次の「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→P.72）をご覧ください。

リカバリ領域を削除している場合

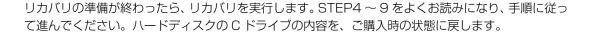
「リカバリディスクセット」を作成してリカバリ領域を削除している場合は、上記のディスク以外に次のディスクが必要です。

・「アプリケーションディスク&ユーティリティディスク」

・「リカバリディスクセット」の「リカバリディスク」と「FMV 画面で見るマニュアル」

ご購入時の状態に戻す作業には、「リカバリディスクセット」の「アプリケーションディスク」は必要ありません。「アプリケーションディスク」は、アンインストールしたソフトウェアを個別に再インストールするときにお使いください。

「リカバリディスクセット」、「アプリケーションディスク&ユーティリティディスク」を紛失または破損したときは

「リカバリディスクセット」はWeb または電話で、「アプリケーションディスク&ユーティリティディスク」は電話で申し込んで購入してください。

■ Web からの申し込み

次の「リカバリ CD/ ディスク有償サービス」ページから申し込んでください。
http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/

■ 電話での申し込み

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口に申し込んでください。
0120-950-222（通話料無料）

ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

リカバリの準備が終わったら、リカバリを実行します。STEP4 ～ 9 をよくお読みになり、手順に従って進んでください。ハードディスクの C ドライブの内容を、ご購入時の状態に戻します。

STEP 4 ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

準備ができたらリカバリを実行します。ハードディスクの C ドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域または「リカバリディスクセット」から Windows やソフトウェアがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

C ドライブを初期状態に戻す

重要

AC アダプタを使用してください

BIBLO をお使いの方は、必ず AC アダプタを使用し、コンセントから電源を確保してください。

ディスクは途中で取り出さないでください

「リカバリディスクセット」からリカバリを実行する場合は、リカバリの完了メッセージが表示されるまで、セットされているディスクを取り出さないでください。リカバリが中断されることがあります。

リカバリが中断されてしまったら

リカバリが中断されてしまった場合は、以下の点を確認した後、次の手順 1（→ P.72）からやり直してください。

- 周辺機器を取り外したか確認してください。
  パソコンの電源を切り、ご購入時に添付されているディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器はすべて取り外してください。BIBLO をお使いの方で USB［ユーエスビー］マウスが添付されている場合は、マウスも取り外してください。
- 手順を確認してください。
  手順を間違えている可能性があります。操作手順を間違えると中断される場合があります。

外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください

パソコン本体に外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続している場合は、リカバリを行う前に必ず取り外してください。
外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

1. キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。

（画面は機種や状況により異なります）

起動メニューが表示されない場合

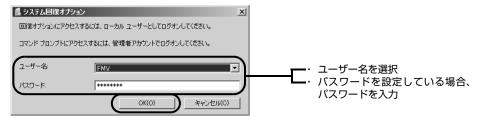
Windowsが起動してしまった場合は、（スタート）→ の → 「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。

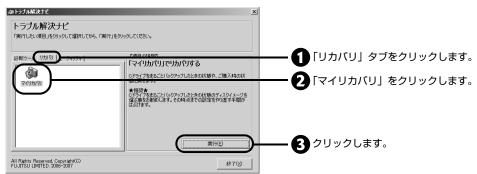
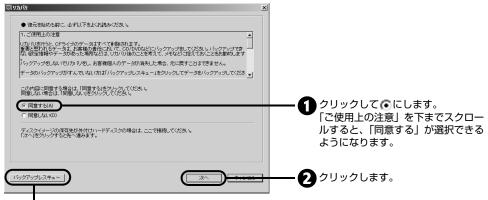
「トラブル解決ナビ」が表示されないときは

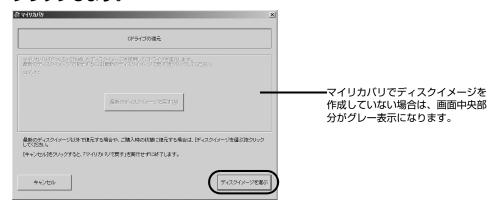
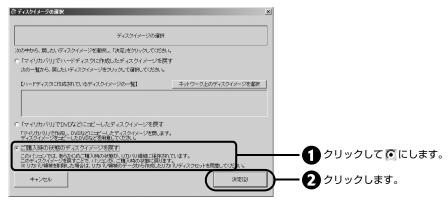
BIOS［バイオス］の設定を初期値に戻してください。詳しくは、「BIOS 設定をご購入時の状態に戻す」（P.170）をご覧ください。

5 「システム回復オプション」ウィンドウで「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。

6 「Microsoft Windows Vista」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

7 お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択し、「OK」をクリックします。

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

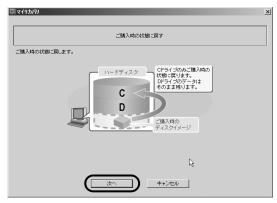
8 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

9 次の画面の操作をします。

10 「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。

バックアップし忘れたデータは、「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしてください。
ここをクリックすると「かんたんバックアップレスキュー」が起動します。
「かんたんバックアップレスキュー」の使い方については、「Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」」（P.48）をご覧ください。

11 「C ドライブの復元」の画面で、画面右下の「ディスクイメージを選ぶ」をクリックします。

「ディスクイメージの選択」の画面が表示されます。

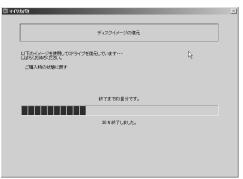
12 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

リカバリ領域を削除している場合

リカバリ領域を削除している場合に「ご購入時の状態に戻す」を選択すると、「リカバリディスク」のセットをうながすメッセージが表示されます。
「リカバリディスク」をセットして、「OK」をクリックしてください。

13 「ご購入時の状態に戻すときの注意」をよく確認して、「次へ」をクリックします。

14 「次へ」をクリックします。

画面例は、リカバリ領域から復元する場合です。

（画面は機種や状況により異なります）

15 「ご購入時の状態に戻す」の画面で、「実行」をクリックします。

復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。

終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。約 30%終了するまでは、残り時間が正確に表示されない場合がありますのでご了承ください。

「リカバリディスク」からリカバリを実行している場合

「リカバリディスク」からリカバリを実行している場合は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

16 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「C ドライブの復元が完了しました。」と表示されます。

17 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

「STEP 5 Windows のセットアップをする」（ P.78）へ進んでください。

STEP 5 Windowsのセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。ここでは手順のみを説明します。画面例などをご覧になりたい方は、「スタートガイド2　セットアップ編」→「Windows のセットアップ」〜「「必ず実行してください」を実行する」をご覧ください。

1 **ライセンス条項の内容をご覧になり、同意いただけるときは「ライセンス条項に同意します」を 2ヶ所クリックして☑にし、「次へ」をクリックします。**

2 **「ユーザー名と画像の選択」の画面が表示されたら、ユーザー名を半角英数字（a 〜 z、A 〜 Z、0 〜 9）で入力し、お好きな画像を選択して、「次へ」をクリックします。ここではパスワードを入力しないでください。**

ユーザー名を半角英数字（a〜z、A〜Z、0〜9）で入力しないと、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。
また、パスワードは後から設定できます。詳しくは、セットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「パスワード」で検索し、「コンピュータをパスワードで保護する」をご覧ください。

3 **「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」の画面で、デスクトップの背景のみを選択して、「次へ」をクリックします。**

表示されているコンピュータ名は変更しないでください。コンピュータ名は後から変更できます。詳しくは、セットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示し、「コンピュータ名」で検索して、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

4 **「Windows を自動的に保護するよう設定してください」の画面で、「推奨設定を使用します」をクリックします。**

5 **「ありがとうございます」の画面が表示されたら、「開始」をクリックします。**

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

6 **手順 7 の「必ず実行してください」ウィンドウが表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。**

この間に画面が何度か変化します。「必ず実行してください」ウィンドウが表示されるまで、お使いの機種により 5 分以上時間がかかる場合があります。

7 「必ず実行してください」ウィンドウが表示されたら、「実行する」をクリックします。

8 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「続行」をクリックします。

9 この後の手順はお客様のご使用状況により異なります。表示される画面に従って、それぞれの手順に進んでください。

「FMV画面で見るマニュアルをインストールします。」と表示された場合
「STEP6 『画面で見るマニュアル』をインストールする」（→P.80）に進んでください。

「Microsoft Office・・・をインストールします。」と表示された場合
「STEP7 「Office Personal 2007」をインストールする」（→P.81）に進んでください。

「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示された場合
「STEP8 デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻す」（→P.83）に進んでください。

「保証期間表示」ウィンドウが表示された場合
「STEP9 このパソコンに最適な設定を行う」（→P.84）に進んでください。

上記のメッセージが何も表示されない場合
カスタムメイドモデルで Office なしを選択した方は、「パソコンをご購入時と同じ設定にする」（→P.91）に進んでください。
「Office Personal 2007」搭載機種および「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」搭載機種をお使いの方は、「補足情報（「Step5」の手順 9 で何もメッセージが表示されない場合のみ）」（→P.88）に進んでください。

STEP 6 『画面で見るマニュアル』をインストールする

リカバリ領域を削除している場合は、「FMV画面で見るマニュアル」のディスクから『画面で見るマニュアル』をインストールします。

1 次の画面が表示されたら、現在セットされているディスクを取り出し、「FMV画面で見るマニュアル」をセットします。

2 「はい」をクリックします。

『画面で見るマニュアル』のインストールが始まります。

3 インストールが終了したら、表示される画面に従って、それぞれの手順に進んでください。

「Microsoft Office・・・をインストールします。」と表示された場合

「STEP7 「Office Personal 2007」をインストールする」（→ P.81）に進んでください。

「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示された場合

「STEP8 デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻す」（→ P.83）に進んでください。

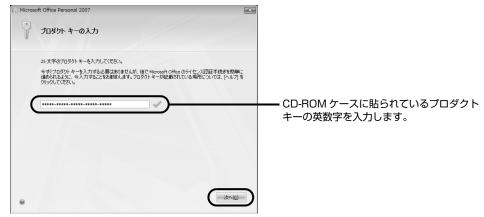
「保証期間表示」ウィンドウが表示された場合

「STEP9 このパソコンに最適な設定を行う」（→ P.84）に進んでください。

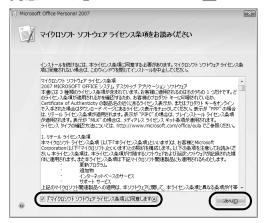
STEP 7 「Office Personal 2007」をインストールする

「Office Personal 2007」搭載機種および「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」搭載機種をお使いの方は、「Office Personal 2007」のパッケージを使って、「Office Personal 2007」をインストールします。

Point

「自動再生」というウィンドウが表示されたときは

ディスクをセットしたとき、「自動再生」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
メッセージについては、「Q 「自動再生」ウィンドウが表示された」（→P.145）もあわせてご覧ください。

1 「Microsoft Office・・・をインストールします。」と表示されたら、「Office Personal 2007」のディスクをセットして、「はい」をクリックします。

プロダクトキーを入力する画面が表示されます。

2 「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」という画面が表示されます。

3 パソコンを復元する（リカバリ）

3 内容をお読みになり、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」をクリックして☑にして、「次へ」をクリックします。

「インストールの種類を選択してください」という画面が表示されます。

4 「今すぐインストール」をクリックします。

インストールが始まります。しばらくお待ちください。

5 インストール終了のメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

重要

「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」搭載機種の方は

「Office Personal 2007」のインストールに続いて、「PowerPoint 2007」の CD-ROM を使って「PowerPoint 2007」のインストールを行います。
表示されるメッセージに従って、インストールを行ってください。
インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの半角英数字を入力してください。

6 画面の指示に従って、「2007 Microsoft Office system Service Pack 1」をインストールします。

7 画面の指示に従って、「Office ナビ」をインストールします。

8 画面の指示に従って、「Microsoft Office IME 2007 更新プログラム」をインストールします。

9 画面の指示に従って、各種ソフトウェアの初期設定を行います。

10 表示される画面に従って、それぞれの手順に進んでください。

「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示された場合
「STEP8 デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻す」（P.83）に進んでください。

「保証期間表示」ウィンドウが表示された場合
「STEP9 このパソコンに最適な設定を行う」（P.84）に進んでください。

STEP 8 デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻す

1 **「デスクトップのアイコンをご購入時の状態に戻します。」と表示されたら、「はい」をクリックします。**

デスクトップのショートカットアイコンが削除され、「パソコンの設定」ウィンドウが表示されます。

2 **「OK」をクリックします。**

3 **「保証期間表示」ウィンドウが表示されます。**

「STEP9 このパソコンに最適な設定を行う」（→P.84）に進んでください。

STEP 9 このパソコンに最適な設定を行う

パソコンに最適な設定を行います。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

1 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います。」ウィンドウが表示されます。

2 「OK」をクリックします。

画面がいったん暗くなり、パソコンが再起動します。

BIBLO をお使いの方（NF/D50 シリーズ、NF/D40 シリーズを除く）

指紋認証をお使いになる場合は、リカバリ後にもう一度設定し直す必要があります。
詳しくは、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「指紋認証を使う」をご覧ください。

3 これで、リカバリ作業は終了です。

この後は、「STEP10 以前の環境に戻す」（→P.85）を参考に、必要に応じてリカバリをする前の環境に戻してください。

STEP 10 以前の環境に戻す

ご購入時の状態に戻すリカバリが完了したら、以前に使っていた環境に戻しましょう。

ユーザー登録を再度行う必要はありません

リカバリの前に、お使いのパソコンのユーザー登録がお済みの方は、リカバリ後に再度ユーザー登録を行う必要はありません。

周辺機器を接続する

リカバリをする前に取り外した周辺機器やアンテナケーブルを接続し、それぞれのセットアップや設定を行います。

参照

▼ プリンタなどの周辺機器の接続

『画面で見るマニュアル』

→「目次から探す」→「6. 周辺機器の接続」

▼ アンテナケーブルの接続（テレビチューナー搭載機種）

『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「テレビを見るためには」→「アンテナを接続する」

ユーザーアカウントをリカバリ前の設定に戻す

1 台のパソコンを複数のユーザーでお使いだった方は、ユーザーアカウントをリカバリ前の設定に戻します。

参照

▼ ユーザーアカウントの登録のしかた

『画面で見るマニュアル』 »「202140」で検索

→「ユーザーアカウントを作るとこんなに便利」

ソフトウェアをインストールする

市販のソフトウェアなどご購入後にインストールしたソフトウェアは、改めてインストールする必要があります。
ソフトウェアのインストール方法は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

ソフトウェアをインストールした後は

ソフトウェアをインストールした後は、すぐにソフトウェアを使わず、パソコンを再起動してからお使いになることをお勧めします。

バックアップしたファイルを復元する

Dドライブ、CDやDVDなど別の媒体にバックアップしたファイルを、バックアップしたときと同じ場所に戻します。1台のパソコンを複数のユーザーで使用していた方は、それぞれのユーザーのファイルを復元します。
バックアップしたファイルを復元する方法や注意事項などについては、次をご覧ください。

- 「FM かんたんバックアップ」で復元する（→P.45）
  「FM かんたんバックアップ」をお使いになる上での注意事項（→P.38）もあわせてご覧ください。

なお、ソフトウェアのバックアップ機能など、上記以外の方法でバックアップしたファイルや設定を復元する場合は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルやヘルプをご覧ください。

インターネット接続の設定をする

リカバリをする前にインターネットに接続していた方は、再び接続の設定を行ってください。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「インターネットをはじめる」

ダイヤルアップ接続を利用で「FM かんたんバックアップ」で復元をした方は

ダイヤルアップ接続でインターネットを利用されている方は、「FM かんたんバックアップ」を使うと、ダイヤルアップ接続の設定もバックアップされるため、再度設定を行う必要はありません。
「FM かんたんバックアップ」については、「必要なものだけバックアップするには 「FM かんたんバックアップ」」（→P.38）をご覧ください。

Windows を最新の状態にする（Windows Update）

ご購入時の状態に戻すリカバリを実行すると、それまで「Windows Update」で最新の状態に更新・修正していたプログラムは、ご購入時の状態に戻ってしまいます。あらためて、「Windows Update」を実行して Windows を最新の状態にしてください。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「Windows を最新の状態にする」→「手動で「Windows Update」を実行する」（Column）

アップデートナビを実行する

アップデートナビを実行し、FMV を最新の状態にします。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「FMV を最新の状態にする」

『スタートガイド２　セットアップ編』の手順にある「パソコン準備ばっちりガイド」を起動するには、デスクトップにある（パソコン準備ばっちりガイド）をクリックしてください。

セキュリティ対策をする

リカバリをする前と同じように、セキュリティ対策を行ってください。

参照

『スタートガイド２　セットアップ編』
→「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」

『スタートガイド2　セットアップ編』の手順にある「パソコン準備ばっちりガイド」を起動するには、デスクトップにある（パソコン準備ばっちりガイド）をクリックしてください。

ライセンス認証を行う

「Office Personal 2007」や「PowerPoint 2007」がパソコンにインストールされている方のみ行ってください。
「Office Personal 2007」や「PowerPoint 2007」をお使いになる前に、ライセンス認証が必要です。
認証手順については、「Office Personal 2007」や「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱の『スタート ガイド』をご覧ください。

その他

■パソコンの設定を変える

画面の背景（壁紙）、スクリーンセーバー、画面の解像度や発色数など、お客様が以前使っていたパソコンの設定に戻します。

参照

『画面で見るマニュアル』
→「目次から探す」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「画面（ディスプレイ）」

■ソフトウェアの設定を変える

「DigitalTVbox［デジタルテレビボックス］」のチャンネル設定など、自分で行ったソフトウェアの設定を元に戻します。

ドライバを更新する

ドライバの更新については、「ドライバを更新する」（→P.167）をご覧ください。

補足情報（「Step5」の手順 9 で何もメッセージが表示されない場合のみ）

ここでの手順は「STEP5 Windows のセットアップをする」の手順 9（→P.79）の続きになっています。
ご購入時の状態に戻すリカバリの実行中、なんらかの理由でリカバリを手助けするウィザードが表示されないことがあります。
ウィザードが表示されない場合は、ここで説明しているとおりに操作してください。

「Office Personal 2007」をインストールする

「Office Personal 2007」搭載機種および「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」搭載機種をお使いの方は、「Office Personal 2007」および「PowerPoint 2007」をインストールします。

■「Office Personal 2007」をインストールする

重要

プロダクトキーについて

インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。
「Office Personal 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの英数字を入力してください。

ライセンス認証が必要です

パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に「Office Personal 2007」のソフトウェアをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。
詳しくは、「ライセンス認証を行う」（→P.87）をご覧ください。

「Office Personal 2007」のディスクを用意してください。
「Office Personal 2007」のパッケージに同梱されている『スタートガイド』をご覧になり、「Office Personal 2007」をインストールしてください。

■「PowerPoint 2007」をインストールする（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」搭載機種のみ）

重要

プロダクトキーについて

インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。
「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの英数字を入力してください。

ライセンス認証が必要です

パソコンがご購入時の状態に戻った後、実際に「PowerPoint 2007」のソフトウェアをお使いになる前には、「ライセンス認証」が必要になります。
詳しくは、「ライセンス認証を行う」（→P.87）をご覧ください。

「PowerPoint 2007」のディスクを用意してください。
「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されている『スタートガイド』をご覧になり、「PowerPoint 2007」をインストールしてください。

「2007 Microsoft Office system Service Pack 1」をインストールする

「Office Personal 2007」搭載機種および「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」搭載機種をお使いの方は、「2007 Microsoft Office system Service Pack 1」をインストールします。

1 **（スタート）をクリックし、「スタート」メニューを表示します。**

2 **「検索ボックス」に半角文字で次のように入力し、【Enter】をクリックします。**

```
c:¥pifmae¥officeSP1
```

3 **表示された画面の中から「Office2007SP1-kb936982-fullfile-ja-jp.exe」をクリックします。**
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

4 **「続行」をクリックします。**

5 **「ライセンス条項に同意する必要があります」というメッセージが表示されたら、「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」をクリックして、「次へ」をクリックします。**
インストールを開始します。

6 **「再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。**

「Office ナビ」をインストールする

「Office Personal 2007」搭載機種および「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」搭載機種をお使いの方は、「Office ナビ」をインストールします。

重要

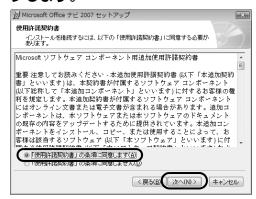
「Office Personal 2007」がパソコンにインストールされている必要があります

「Officeナビ」をインストールするには、「Office Personal 2007」がすでにインストールされている必要があります。

1 **(スタート)をクリックし、「スタート」メニューを表示します。**

2 **「検索ボックス」に半角文字で次のように入力し、【Enter】を押します。**

C:¥pifmae¥owelcome¥owelcome.msi

英字の「l(エル)」

「Microsoft Office ナビ 2007 セットアップ」画面が表示されます。

3 **「次へ」をクリックします。**

「使用許諾契約書」が表示されます。

4 **「使用許諾契約書」の内容をご覧になり、同意いただけるときは「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。**

5 **「セットアップ先のフォルダ」と表示されたら、「次へ」をクリックします。**

6 **「インストールの開始」と表示されたら、「次へ」をクリックします。**
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

7 **「続行」をクリックします。**
インストールが始まります。しばらくお待ちください。

8 **インストール終了のメッセージが表示されたら、「完了」をクリックします。**

パソコンをご購入時と同じ設定にする

パソコンをご購入時と同じ状態にするために、デスクトップのショートカットアイコンを削除したり、重要な設定を行う「必ず実行してください」というプログラムを実行したりします。

■デスクトップのショートカットアイコンを削除する

次のアイコンがデスクトップに表示されているときは、（ごみ箱）にドラッグして削除してください。

- （はじめよう！ Office 2007）

■「必ず実行してください」を実行する

「必ず実行してください」は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。必ず実行してください。

1 **デスクトップにある（必ず実行してください）をクリックします。**
「このパソコンに最適な設定を行います。」ウィンドウが表示されます。

3

パソコンを復元する（リカバリ）

2 「実行する」をクリックします。

パソコンの初期設定が始まります。「保証期間表示」ウィンドウが表示されるまで、そのままお待ちください。

重要

「診断センターにお問い合わせください」の画面が表示されたときは

画面の指示に従ってください。

3 「保証期間表示」ウィンドウが表示されたら、「閉じる」をクリックし、その後「いいえ」をクリックします。

再び「このパソコンに最適な設定を行います。」ウィンドウが表示されます。

4 「OK」をクリックします。

画面がいったん暗くなり、パソコンが再起動します。

この後は、「STEP10 以前の環境に戻す」（→P.85）をご覧になり、パソコンを以前に使っていた環境に戻してください。

第4章

廃棄・リサイクル

4

回収・再資源化専用窓口 富士通パソコンリサイクル受付センターのご案内

個人でご購入のお客様が本製品を廃棄する場合は、回収・再資源化専用窓口　富士通パソコンリサイクル受付センターにご連絡ください。

回収・再資源化専用窓口　富士通パソコンリサイクル受付センター	
お申し込み URL	http://azby.fmworld.net/recycle/
お問い合わせ先	03-5715-3140［受付時間 9:00 ～ 17:00（土・日・祝日および弊社指定休日を除く）］

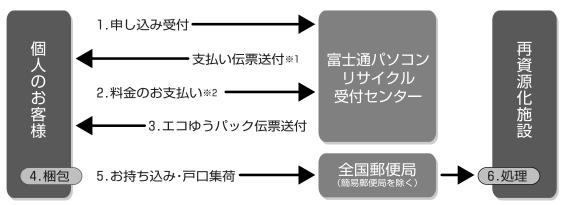
注：引越しなどでパソコンのリサイクルをお急ぎの場合は、お手続きの早いクレジットカードでのお支払いでお申し込みいただくことをお勧めします。
詳しくは、上記ホームページより「引越し等でパソコンリサイクルをお急ぎのお客様へ」をクリックしてください。

重要

法人、企業のお客様へ

「富士通パソコンリサイクル受付センター」は、個人のお客様専用受付窓口のため、法人、企業のお客様はご利用いただけません。
法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」をご覧ください。
http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです。PC リサイクルマークが付いた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。
PC リサイクルマークの付いていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、ホームページをご確認ください。

PC リサイクルマーク

（装置銘板は機種により異なります）

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

ご利用の流れ

※1．クレジットカード決済の場合は不要
※2．PCリサイクルマーク付きの場合は不要

1 ホームページからお申し込みください。

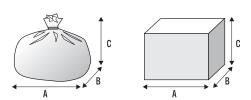
2 PC リサイクルマークの付いていないパソコンは、事前に料金をお支払いいただきます。

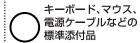
3 パソコンに貼るエコゆうパック伝票をお届けします。
（伝票には有効期限がありますのでご注意ください。）

4 パソコン・ディスプレイをお客様自身で梱包していただきます。

5 梱包したパソコンにエコゆうパック伝票を貼り、郵便局（簡易郵便局を除く）にお持ち込みいただくか、郵便局にご連絡いただきご自宅での引き取りを行います。

6 お引き渡しいただいたパソコンは、当社指定の配送業者が当社指定の再資源化処理業者まで配送し、再資源化処理業者にて、法律に沿った適正な再資源化処理を行います。

サービスをご利用になる上で

- 他社製パソコンは弊社では回収・再資源化できません。各製造メーカーにお申し込みください。
- ガラス面が破損したCRT［シーアールティー］ディスプレイなど、運送上危険なものは回収できません。
- デスクトップパソコンの場合、パソコン本体とディスプレイそれぞれの申し込み手続きと梱包が必要です。
- ご購入時の標準添付品のうち、マウス、キーボード、ケーブル類、スピーカーなどは本体といっしょに梱包していただければ同時に回収いたします（マニュアル、CD-ROM 媒体などは回収できません）。
- エコゆうパック伝票に同封されている「使用済家庭用パーソナルコンピュータ回収委託規約」を必ずお読みいただき、同意した上でお引き渡しください。
- エコゆうパックは、コンビニエンスストアではお取り扱いできません。
- エコゆうパック伝票には有効期限がありますので、速やかにお引き渡しいただきますようお願いいたします。
- お引き渡しされた後は、再資源化のキャンセル／パソコンの返却はできません。
- お引き渡しになるときには、パソコン内のデータはお客様ご自身の責任で消去してください。データの消去については、「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」（→P.97）をご覧ください。
- 廃棄前に、次の媒体がパソコン本体にセットされたままになっていないか確認してください。
  - CD や DVD などのディスク
  - メモリーカード

  など

梱包するときに

梱包の条件は次のとおりです。

■厚手のポリ袋(薄手のポリ袋は2枚重ね)やビニール袋などの破れにくい袋、もしくは段ボール箱
■使用済みパソコンは、重さ30kgまで
■A ＋ B ＋ C の長さ＝1.7m以内
※1.7m以内になるように梱包願います。

■同梱できるもの

○ キーボード、マウス、電源ケーブルなどの標準添付品

× プリンタなどの周辺機器／取扱説明書／マニュアル／CD-ROMなど

梱包した使用済みパソコンが 30kg を超える、梱包の縦、横、高さの合計が 1.7m を超えるなどの理由により、郵便局で引き取りができない場合があります。そのときは、富士通パソコンリサイクル受付センターまでご連絡ください。エコゆうパック伝票はビニールケースに入れたまま、裏面をはがし、梱包箱（もしくは袋）の上面や側面の目立つ場所に貼り付けてください。

廃棄・リサイクル

廃棄に関するご注意

ここでは、本製品（付属品を含む）を廃棄する場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに入っているハードディスクという記憶装置には、お客様の重要なデータが記録されています。したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」を使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- リカバリを実行して、ご購入時の状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけという状態です。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS からデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているのです。したがって、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

パソコンの廃棄・譲渡などを行うときに、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアやサービス（有料）を利用することをお勧めします。また、廃棄する場合は、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊することをお勧めします。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、ソフトウェアなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

このパソコンには、パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の 1 つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除や初期化と違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェアの使用によりデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。

「ハードディスクデータ消去」の使い方

「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、次の点にご注意ください。

- 必要なデータはバックアップしてください。
- データ消去終了まで、数時間かかります。
- 途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- BIBLO の場合、必ず AC アダプタを使用してください。
- 外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください。
- 周辺機器は取り外してください。
- ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます。
- 「ハードディスクデータ消去」を実行すると、リカバリ領域が消えてしまいます。「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、必ずリカバリディスクセットを作成してください。

準備ができたら、次の手順に従って、「ハードディスクデータ消去」を実行します。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。

- **サポート（Support）ボタン搭載機種**
  キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。
- **サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通**
  1　キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
  2　パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。
  軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。
  Windows が起動してしまった場合は、（スタート）→ ［⏻］［🔒］［▶］の［▶］→「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
  起動メニューが表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れて）電源を切り、10 秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 【↓】を押して「CD/DVD」や「CD/DVD Drive」などを選択し、【Enter】を押します。

6 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 「ユーティリティ」タブをクリックして「ハードディスクデータ消去」をクリックし、「実行」をクリックします。

「リカバリ領域のデータから「リカバリディスクセット」を作成してありますか？」という画面が表示されます。

8 「リカバリディスクセット」を作成していることを確認し、「OK」をクリックします。

「ハードディスクデータ消去」の画面が表示されます。

9 内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、「同意します」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

消去するハードディスクを選ぶ画面が表示されます。

10 データを消去したいハードディスクをクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。

データを消去する方式を選ぶ画面が表示されます。

11 通常は「固定データ書き込み」または「DoD［ディーオーディ］標準（米国国防総省規格）」のどちらかを選んでにし、「次へ」をクリックします。
カスタムメイドモデルなどで記憶媒体が SSD（フラッシュメモリディスク）のモデルの場合は、「SSD 対応（フラッシュメモリディスク用）」を選んでください。
エラーが発生したときの処理を選ぶ画面が表示されます。

12 内容をよくお読みになり、「ハードディスクのエラーを検出した時点で処理を中断します【推奨】」または「エラーを検出した際、その部分をスキップして処理を継続します」のどちらかをクリックしてにし、「次へ」をクリックします。
ハードディスクの情報と、データ消去中の注意事項が表示されます。

13 内容をよくお読みになり、データの消去を実行しても良い場合は、「開始」をクリックします。
確認のウィンドウが表示されます。

14 「OK」をクリックします。
データ消去が始まります。消去には、数時間かかります。

15 「電源（パソコン電源）ボタンを４秒以上押し続けて電源を切ってください。」と表示されたら、電源(パソコン電源)ボタンを４秒以上押し続けて、パソコンの電源を切ります。

法人、企業のお客様へ

弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ消去サービス」をご用意しております。
消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

ソフト消去	専用ソフトウェアを使って、ハードディスクに対して 2 回上書き（ランダムデータ+0データ）することにより残存するデータを完全に消去します。DoD や NSA［エヌエスエー］など海外の各種消去規格にも対応可能です。
ハード消去	消磁装置を使用してハードディスクを磁気的に破壊します（最大磁力：1.3 テスラ）。

消去作業完了報告書として作業実施日、消去済み機器一覧、並びに消去方法を記載した物を納品物として提出します。
詳しくは、「データ消去サービス」をご覧ください。
http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/h_elimination/
お問い合わせ／お申し込みは、上記ページのフォームにてご記入ください。

使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

次の場合を除き、本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。
- LED バックライト搭載の機種（BIBLO）

液晶ディスプレイの仕様については、『FMV 取扱ガイド』→「仕様一覧」→「パソコン本体の仕様」をご覧ください。

使用済みバッテリの取り扱いについて

【BIBLO のみ】

- リチウムイオン電池およびニッケル水素電池のバッテリパック、バッテリユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

参照
▼ バッテリの仕様や取り外し方について
『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「内蔵バッテリパックを交換する」

個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、有限責任中間法人 JBRC［ジェイビーアールシー］のホームページをご覧ください。
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
弊社は、有限責任中間法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「IT製品の処分・リサイクル」をご覧ください。
http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

第5章

Q&A 集

ここでは、パソコンを使っていて「故障かな？」と思うようなトラブルが発生した場合の対処方法を、Q&A 形式で説明しています。
パソコンの操作が可能な場合は、『画面で見るマニュアル』もあわせてご覧ください。

1 パソコンがおかしいときのQ&A集

🕮マークの項目は、🕮『画面で見るマニュアル』の「目次から探す」→「9. 困ったときのQ&A」に記載されています。
文書番号で検索して、解決方法をご覧ください。
🕮『画面で見るマニュアル』の検索方法については、このマニュアルの巻頭にある「参照の探し方」をご覧ください。

起動／終了

画面

音／スピーカー

CD／DVD

キーボード／マウス／フラットポイント

インターネット

無線LAN

モデム

Eメール

ソフトウェア／ドライバ

プリンタ／印刷

Windowsの操作

その他、Windows の基礎知識や豆知識については、
『画面で見るマニュアル』→「目次から探す」→「1. パソコンの基本」をご覧ください。

文字入力

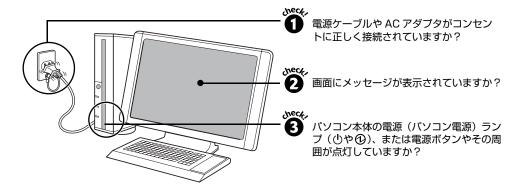
文字の入力方法については、このマニュアルの巻末で詳しく図解しています。
あわせてご覧ください。

テレビ

テレビについてのQ&Aは、
『FMVテレビ操作ガイド』→「困ったときのQ&A」をご覧ください。

- 画面が表示されない
- 地上デジタル放送が映らない
- BS・110度CSデジタル放送が映らない
- リモコンが効かない
- 「DigitalTVbox」でメッセージが表示される

FMVテレビ操作ガイド

その他

パソコンの電源が入らない

次の点を順番に確認してください。

check! 1 電源ケーブルや AC アダプタがコンセントに正しく接続されていますか？

正しく接続されていない場合は、いったん電源ケーブルを抜いて３分ほど待ってから接続し直してください。

DESKPOWER F シリーズまたは BIBLO の場合、AC アダプタに AC ケーブルが正しく接続されていることも確認してください。

参照

『スタートガイド１　設置編』

【バッテリだけでお使いの場合［BIBLO］】

AC アダプタを接続し、電源が入るか確認してください。

AC アダプタを接続すれば電源が入る場合は、バッテリが切れているか、外れている可能性があります。バッテリが正しく取り付けられているか確認し、バッテリの充電をしてください。

参照

『ＦＭＶ 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」

check! 2 画面にメッセージが表示されていますか？

▼ 表示されている

→「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない」（P.111）をご覧ください。

▼ 表示されていない

→ check! 3 に進んでください。

check! ❸ パソコン本体の電源（パソコン電源）ランプ（⏻や①）、または電源ボタンやその周囲が点灯していますか？

【消灯している場合】

原因	対処
休止状態になっている （休止状態に設定した方のみ）	電源（パソコン電源）ボタンを押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に触れて）、元の状態に戻してください。
周辺機器が正しく取り付けられていない［DESKPOWER］	「Q　周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（→P.140）

【オレンジ色に点灯している場合［DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ、EK シリーズ］】
【点滅している場合［DESKPOWER F シリーズ］［BIBLO］】

原因	対処
スリープ状態になっている	電源（パソコン電源）ボタンを押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に触れて）ください。

重要

電源ボタンを４秒以上押さないようにしてください（DESKPOWER Fシリーズの場合は、4秒以上⏻に触れないでください）。４秒以上押す（触れる）とパソコンの電源が切れ、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

【緑色に点灯している場合［DESKPOWER LX シリーズ、CE シリーズ、EK シリーズ］】
【点灯している場合［DESKPOWER F シリーズ］［BIBLO］】

●全機種共通

原因	対処
周辺機器が正しく取り付けられていない	「Q　周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった」（→P.140）
「おやすみディスプレイ」の機能が働いている （「おやすみディスプレイ」を設定した方のみ）	マウスを動かして数秒待つか、フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【→】【←】【↑】【↓】【Shift】のどれかを押してください。 ・「おやすみディスプレイ」の解除方法（DESKPOWER LX シリーズ、F シリーズを除く） 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【O】（オー）キーを１回押す。 詳しくは、「PowerUtility［パワーユーティリティー］−スケジュール機能」のヘルプをご覧ください。

● DESKPOWER の場合

原因	対処
一定時間操作がなかったため、「電源オプション」の設定に従ってディスプレイの電源が切れている	マウスを動かして数秒待つか、キーボードの【→】【←】【↑】【↓】【Shift】のどれかを押してください。
ディスプレイのケーブルが正しく接続されていない／ディスプレイの電源ランプが消灯、またはオレンジ色に点灯している ［DESKPOWER CE シリーズ］	ディスプレイのケーブルがパソコン本体に正しく接続されているか、ディスプレイの電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 参照 『スタートガイド１　設置編』
ディスプレイの電源が入っていない／ディスプレイの電源ランプが消灯している ［DESKPOWER CE シリーズ］	ディスプレイの電源ボタンを押してください。ディスプレイの電源を入れ直しても改善されない場合は、パソコンの電源を入れ直してください。 →「Q パソコンの電源がどうしても切れない」（P.114）
入力信号が正しくない ［DESKPOWER CE シリーズ］	ディスプレイの入力信号を、パソコンが接続されている入力に切り替えてください。 ・添付のディスプレイをお使いの場合 画質／入力切換ボタン、または画質／入力ボタンを押し、画面の表示に従って入力を切り替えてください。 ・その他のディスプレイをお使いの場合 お使いのディスプレイのマニュアルをご覧になり、入力を切り替えてください。

● BIBLO の場合

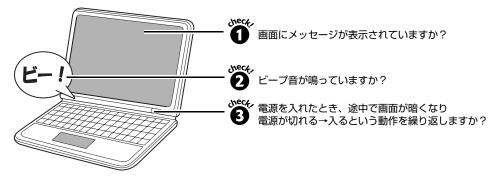
原因	対処
一定時間操作がなかったため、「電源オプション」の設定に従ってディスプレイの電源が切れている	フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【→】【←】【↑】【↓】【Shift】のどれかを押してください。
ディスプレイの明るさが暗くなっている	【Fn】を押しながら【F6】、または【F7】を押してください。ディスプレイの輝度調節ができます。
外部ディスプレイに表示されるようになっている	【Fn】を押しながら【F10】を何度か押してください。外部ディスプレイ表示と液晶ディスプレイ表示が切り替わります。
テレビに表示されるようになっている（BIBLO NWシリーズ、NF/D85シリーズ、NF/D80シリーズ、NF/D75シリーズ、NF/D70シリーズ、Sシリーズ）	いったんテレビを接続して画面を表示させ、ディスプレイの表示に切り替えてください。 参照 『画面で見るマニュアル』»「000600」で検索 →「表示するディスプレイを切り替える」

5

Q&A集

check! ❹ それでも解決しない場合には

パソコンの電源を入れ直すと画面が表示される場合もあります。「Q パソコンの電源がどうしても切れない」（P.114）をご覧になり、電源を入れ直してください。
また、DESKPOWER F シリーズや BIBLO の場合、AC アダプタや内蔵バッテリパック（BIBLO のみ）をいったん取り外して２～３分放置後、再び取り付けると問題が解決することがあります。

参照

『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」

パソコンの電源を入れても、Windowsが起動しない

次の点を順番に確認してください。

check! 1 画面にメッセージが表示されていますか？

画面にメッセージが表示された場合は、メッセージを確認して対処をご覧ください。なお、画面に表示されたメッセージは、メモなどに控えておくことをお勧めします。

メッセージ	対処
「規定外の信号です」 「規定外の信号が入力されました」 など [DESKPOWER ／外部ディスプレイを接続している方]	解像度やリフレッシュレートが高く（または低く）設定されている可能性があります。 「解像度、発色数やリフレッシュレートの設定が変わっていませんか？」（→P.116）をご覧になり、設定を変更してください。
「システムのインストールが完全ではありません」「コンピュータが予期せず再起動されたか、予期しないエラーが発生しました」など	Windows セットアップの途中で電源を切ってしまうと、次に電源を入れたとき、Windows が起動しなくなる場合があります。 電源（パソコン電源）ボタンを４秒以上押し続けて（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）パソコンの電源を強制的に切った後、「パソコンを復元する（リカバリ）」（→P.53）をご覧になり「3 ご購入時の状態に戻すリカバリ」を行ってください。
その他のメッセージ	「その他のメッセージが表示された場合」（→P.111）

■その他のメッセージが表示された場合

「Q　パソコンの電源がどうしても切れない」（→P.114）をご覧になっていったんパソコンの電源を切り、次の１～４を順番に試してください。

1 パソコンとディスプレイの接続を確認する
[DESKPOWER CE シリーズ]

『スタートガイド１　設置編』

2 パソコンと周辺機器の接続を確認する
パソコンに周辺機器を接続している場合は、いったんすべての周辺機器を取り外し、その後パソコンの電源を入れ直してください。

3 BIOS［バイオス］をご購入時の状態に戻す
「BIOS 設定をご購入時の状態に戻す」（ P.170）をご覧になり、BIOS の設定を戻してください。

4 低解像度ビデオで起動する
［DESKPOWER］

1 「Q　パソコンの電源がどうしても切れない」（ P.114）をご覧になり、パソコンの電源を切ります。

2 パソコンの電源を入れます。

3 FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、【F8】を押します。
軽くキーを押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
「Windows ブートマネージャ」画面が表示されず、電源を切る前と同じメッセージが表示された場合は、もう一度手順 1 からやり直してください。

4 「Windows ブートマネージャ」画面が表示されたら、お使いの OS が選択されていることを確認し、【F8】を押します。
しばらく操作しなかった場合、Windows RE の自動修復が始まります。画面の指示に従って自動修復を完了させてください。完了後、再度手順 2 ～ 4 を行ってください。

5 「詳細ブート オプション」画面で「低解像度ビデオ（640 × 480）を有効にする」を選択し、【Enter】を押します。
画面が表示されるまでお待ちください。

6 低解像度ビデオでの起動に成功したら、「解像度、発色数やリフレッシュレートの設定が変わっていませんか？」（ P.116）をご覧になり、リフレッシュレートと解像度、発色数の設定を変更してください。

■それでも Windows が起動しない場合

Windows のシステムが壊れている可能性があります。大切なデータをバックアップした後、「マイリカバリ」を使って、パソコンを以前の状態に戻してください。

- データのバックアップ方法：「Windows が起動しないときには「かんたんバックアップレスキュー」」（ P.48）
- パソコンを以前の状態に戻す方法：「パソコンを復元する （リカバリ）」（ P.53）

check! ❷ ビープ音が鳴っていますか？

▼ 鳴っている
→メモリが正しく取り付けられていないか、このパソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。
メモリを増設している場合は、いったん電源を切り、増設したメモリが正しく取り付けられているか確認してください。

▼ 鳴っていない
→ check! ❸ に進んでください。

重要

正しく取り付けても鳴る場合や、メモリを増設していないのに鳴る場合は、「故障や修理に関する受付窓口」、またはご購入元にご連絡ください。弊社純正品以外のメモリを増設している場合は、メモリの製造元・販売元にご確認ください。

参照

▼「故障や修理に関する受付窓口」について
『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

check! ❸ 電源を入れたとき、途中で画面が暗くなり電源が切れる→入る という動作を繰り返しますか？

▼ 繰り返す

→「Q パソコンの電源を入れると、Windows が再起動を繰り返す」（P.113）

▼ 繰り返さない

→パソコンの電源が入っていない可能性があります。
「Q パソコンの電源が入らない」（P.107）をご確認ください。

パソコンの電源を入れると、Windowsが再起動を繰り返す

Windows のセットアップの途中で電源を切ってしまった場合や、パソコンの内部が非常に高温になった場合などに、起動途中で画面が暗くなり電源が切れる→自動で電源が入る、という動作を繰り返し、Windows が起動しなくなる場合があります。
次の手順に従って対処してください。

1. FUJITSU のロゴ画面が表示されているときに、パソコンの電源を強制的に切ります。
   電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けて（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れて）ください。
2. そのまま 30 分ほど放置し、パソコンを冷却します。
3. 再度電源を入れ、症状が改善されているか確認します。
   症状が改善されない場合には、手順 4 に進んでください。
4. 「マイリカバリ」を使用して、前回正常に起動したときのディスクイメージを復元します。
   「「マイリカバリ」を使うリカバリ」（P.57）
5. パソコンが再起動したら、症状が改善されているか確認します。
   症状が改善されていない場合には、手順 6 へ進んでください。
6. ディスクイメージを復元しても症状が改善されない場合は、パソコンをご購入時の状態に戻します。
   「ご購入時の状態に戻すリカバリ」（P.63）

パソコンをご購入時の状態に戻しても解決しない場合は、「故障や修理に関する受付窓口」にお問い合わせください。

▼「故障や修理に関する受付窓口」について

『サポート＆サービスのご案内』

→「困ったとき」→「故障したとき」

パソコンの電源がどうしても切れない

どうしても問題が解決しない場合は、パソコンの電源を強制的に切り、その後もう一度電源を入れてください。

重要

強制的に電源を切る前に

次の点に注意してください。

・ハードディスクが動作しているときに電源を切ってしまうと、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性があります。
パソコンのハードディスク／CDアクセスランプ（）や、CDアクセスランプ（ディスクアクセスランプ）（）が点灯もしくは点滅している場合は、ランプが消えるまでしばらくお待ちください。
また上記以外にも、ハードディスクが動いていると思われる場合（音がするなど）は、動作が止まるまでしばらく待つことをお勧めします。
しばらく待ってもハードディスクが動いている場合は、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押してください。ハードディスクの動作が止まることがあります。

・パソコンをご購入後やご購入時の状態に戻した後、初めて電源を入れた直後に電源を切ると、パソコンをお使いになれなくなる場合があります。Windows のセットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
画面が映らないなど、画面が確認できない場合は、15 分ほど待ってから電源を切るようにしてください。

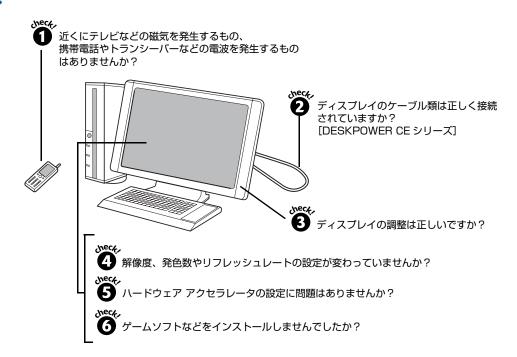
テレビチューナー搭載機種をお使いの方

予約録画をしている状態で強制的に電源を切った場合は、必ず再度電源を入れてから、パソコンを正常に終了させてください。パソコンを正常に終了させなかった場合、予約録画の時間が来てもパソコンが起動せず、予約録画に失敗する場合があります。

1. パソコンの電源を切ります。
   電源（パソコン電源）ボタンを 4 秒以上押し続けて（DESKPOWER F シリーズの場合は、に 4 秒以上触れて）ください。
2. この後電源を入れ直す場合は、10 秒以上待ってから、電源を入れてください。

画 面

画面に何も映らない

ディスプレイの電源が切れている、スリープや休止状態になっているなど、いくつかの原因が考えられます。
対処方法については、「Q パソコンの電源が入らない」（→P.107）をご確認ください。

画面が乱れる

画像が揺れる・色がずれる・画像がちらつく・画像がぼやけるなどの場合、次の点を順番に確認してください。

check! 1 近くにテレビなどの磁気を発生するもの、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発生するものがありませんか？

これらの磁気や電波を発生するものは、ディスプレイやパソコン本体に影響が出ない場所に置いてください。また、高圧電線の近くにお住まいの場合、ディスプレイやパソコン本体の置き場所を変えることによって、画面の乱れが直る場合もあります。

check!❷ **ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？**

【DESKPOWER CE シリーズ】

ディスプレイのケーブル類をパソコン本体に正しく接続してください。また、電源タップなどを使用して、たこ足配線をしている場合には、ケーブルを壁のコンセントに直接差し込んでください。ケーブル類の接続については、『スタートガイド1　設置編』をご覧ください。

check!❸ **ディスプレイの調整は正しいですか？**

【DESKPOWER の場合】

ディスプレイの画質設定などを調整することにより、解決する場合があります。
次のマニュアルをご覧になり、設定を確認してください。

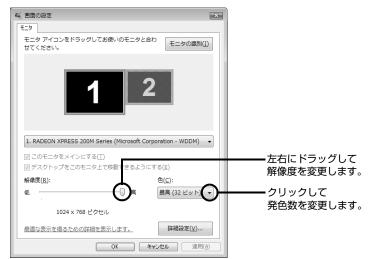
参照

『画面で見るマニュアル』»「000500」で検索
→「画面を調整する」（DESKPOWER LX シリーズ）
→「液晶ディスプレイ」（DESKPOWER CE シリーズ）

【BIBLO の場合】

解像度を低く設定した状態で全画面表示になっているとき、画面がぼやけたように見えることがあります。**check!❹** の手順に従って解像度を設定し直す、または全画面表示を通常表示に切り替えてください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000430」で検索
→「全画面表示と通常表示を切り替える」

check!❹ **解像度、発色数やリフレッシュレートの設定が変わっていませんか？**

解像度が低くなっていたり、発色数が少なく設定されていたりすると、画面が乱れたように感じることがあります。次の手順に従って解像度や発色数を設定し直してください。

■解像度、発色数を変更する

1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
2 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
「画面の設定」ウィンドウが表示されます。

3 「モニタ」タブで、解像度や発色数を変更します。

（画面は機種や状況により異なります）

解像度と発色数については、「【ご購入時の解像度と発色数】」（ P.117）をご覧ください。

4 設定が終了したら「OK」をクリックします。
画面にメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

5 （スタート）→ の→「再起動」の順にクリックします。
Windows が再起動します。

【ご購入時の解像度と発色数】

機種名（型名）	解像度	発色数
DESKPOWER LX シリーズ	1920 × 1080	最高（32 ビット）
DESKPOWER CE/D50、CE/D40	1680 × 1050	最高（32 ビット）
DESKPOWER F/D90D、F/D90N、F/D70D、F/D70N、F/D60、F/D60N、EK シリーズ	1440 × 900	最高（32 ビット）
DESKPOWER CE/D50N、CE/D45N、CE/D40N、CE/D35N		
22 型ワイド液晶ディスプレイの方	1680 × 1050	最高（32 ビット）
19 型ワイド液晶ディスプレイの方	1440 × 900	最高（32 ビット）
ディスプレイなしの方	［注］	［注］
BIBLO NWシリーズ、NF/D75、NF/D70、NF/D70N、NF/D50、NF/D50N、NF/D40、NF/D40N	1366 × 768	最高（32 ビット）
BIBLO NF/D85D、NF/D85N、NF/D80N、S シリーズ、MG シリーズ、LOOX R シリーズ	1280 × 800	最高（32 ビット）

注：お使いのディスプレイにより表示できる解像度、発色数やリフレッシュレートが異なります。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

■リフレッシュレートを変更する

1 画面の何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
2 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
「画面の設定」ウィンドウが表示されます。
3 「モニタ」タブにある「詳細設定」をクリックします。
「詳細設定」がクリックできない場合は、タスクバーの設定を変更してください。タスクバーの設定を変更するには、タスクバーの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」ウィンドウで「タスクバーをほかのウィンドウの手前に表示する」の をクリックして にします。
タスクバーの設定を変更しても「詳細設定」がクリックできない場合は、ウィンドウを画面上部にずらしてください。
4 「モニタ」タブをクリックし、「画面のリフレッシュレート」の値を選択します。
5 「OK」をクリックします。
「画面の設定」ウィンドウに戻ります。
6 をクリックします。
7 （スタート）→ の →「再起動」をクリックします。
Windows が再起動します。

check!❺ ハードウェア アクセラレータの設定に問題はありませんか？

次の手順に従ってハードウェア アクセラレータの設定を確認してください。

1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
2 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
「画面の設定」ウィンドウが表示されます。
3 「モニタ」タブにある「詳細設定」をクリックします。
「［モニタ名］と「アダプタ名」のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
4 「トラブルシューティング」タブをクリックし、「設定の変更」をクリックします。
5 「ハードウェア アクセラレータ」の をドラッグして「なし」に設定します。
6 「OK」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
7 「OK」をクリックします。

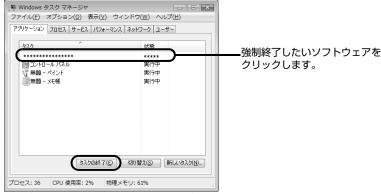
check!❻ ゲームソフトなどをインストールしませんでしたか？

ゲームソフトなどをインストールした場合、このパソコンに合わないディスプレイドライバに置き換えられた可能性があります。
「ドライバを更新する」（→P.167）をご覧になり、ディスプレイドライバを設定し直してください。

check!❼ それでも解決しない場合には

BIOS［バイオス］設定をご購入時の状態に戻すと問題が解決する場合があります。ご購入時の状態に戻す方法については、「BIOS 設定をご購入時の状態に戻す」（→P.170）をご覧ください。

以上のすべての項目を確認しても画面の表示がおかしい場合は、「パソコンを診断する」（→P.163）をご覧になり、お使いのパソコンの状態をチェックしてください。

画面が動かなくなった

マウスやキーボードを操作しても、ソフトウェアが反応しない場合は、操作していたソフトウェアを強制終了してください。

重要

直前の作業内容は保存されません

この手順でソフトウェアを強制終了した場合は、直前の作業内容は保存されません。

1. 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を 1 回押します。
2. 「タスクマネージャの起動」をクリックします。
   「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
3. 「アプリケーション」タブをクリックします。
4. 動かなくなったソフトウェアをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

5. 終了を確認するメッセージが表示された場合は、「すぐに終了」をクリックします。
   選んだソフトウェアが強制終了されます。ソフトウェアによっては、強制終了に 20 ～ 30 秒かかることがあります。
6. 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウの ✕ をクリックします。

【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】を押しても反応がない場合は、「パソコンの電源がどうしても切れない」（→ P.114）をご覧になり、パソコンを強制終了してください。

5

Q&A集

起動時や終了時に画面がちらつく

パソコンの起動時や終了時、画面の設定を変えたときなどに一時的に画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。
しばらくすると画面のちらつきは収まります。

「コンピュータ」にCD/DVDドライブが表示されない

Windows Vista に対応していないソフトウェアがインストールされている場合に、「コンピュータ」から CD/DVD ドライブが消えてしまうことがあります。

この場合は、Windows Vista に対応していないソフトウェアをアンインストールすることで問題が解決する場合があります。ソフトウェアのアンインストール方法については、各ソフトウェアのマニュアル、ヘルプなどをご覧ください。

■それでも CD/DVD ドライブが表示されない場合

Windows Vistaに対応していないソフトウェアをアンインストールしてもCD/DVD ドライブが表示されない場合は、大切なデータをバックアップした後、「マイリカバリ」を使ってパソコンを以前の状態に戻してください。

- データのバックアップ方法：「必要なものだけバックアップするには 「FM かんたんバックアップ」」（P.38）
- パソコンを以前の状態に戻す方法：「パソコンを復元する （リカバリ）」（P.53）

キーボード／マウス／フラットポイント

マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない

次の点を確認してください。

check! ❶ ソフトウェアの操作中でしたか？

ソフトウェアを強制終了し、Windows を再起動してください。
「Q　画面が動かなくなった」（→P.119）

check! ❷ キーボードの文字は入力できますか？

文字入力ができない場合は、「Q　キーを押しても入力できない」（→P.138）をご覧ください。

check! ❸ マウスやキーボードに飲み物などをこぼしましたか？

柔らかい布などで拭き取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後でキーを押しても文字が入力できない場合は、「故障や修理に関する受付窓口」にお問い合わせください。

参照

『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

check! ❹ 次のようなものの表面でマウスを操作していませんか？

マウスは次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。マウスを使う場所を変えてみてください。

- 鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- 光沢があるもの
- 濃淡のはっきりしたしま模様や柄があるもの（木目調など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

check! ❺ スクロールボタン（マウスの真ん中のボタン）を押していませんか？

クリックしてみてください。マウスポインタが表示される（動かせる）場合があります。
知らずにスクロールボタンを押してしまった場合、マウスポインタが変わってしまい、好きな方向に動かせないように見えることがあります。

参照

▼ 添付されているマウスのスクロールボタンの使い方
『画面で見るマニュアル』 »「000780」で検索
→「マウスを使う」

添付の
冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

■光学式のマウスをお使いの場合（DESKPOWER）

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いの場合は

「Q ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった（ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスの場合）」（→P.125）も合わせてご覧になり、確認してください。

check! ❶ 光学式のマウスは正しく接続されていますか？　キーボードは正しく接続されていますか？［DESKPOWER CE シリーズ、EK シリーズ］

マウスやキーボードの接続がゆるんでいると、操作ができなくなります。正しく接続されていなかった場合には、一度パソコンの電源を切り、マウスやキーボードをしっかりと接続し直してください。

マウスもキーボードも使えずに Windows が終了できない場合は、「Q パソコンの電源がどうしても切れない」（→P.114）をご覧になり、パソコンの電源を切った後にキーボードとマウスを接続し直してください。

参照

『スタートガイド1　設置編』

■ USB レーザーマウスをお使いの場合（BIBLO）

check! ❶ USB レーザーマウスは正しく接続されていますか？

マウスの接続がゆるんでいると、操作ができなくなります。正しく接続されていなかった場合には、一度パソコンの電源を切り、マウスをしっかりと接続し直してください。

マウスもキーボードも使えずに Windows が終了できない場合は、「Q パソコンの電源がどうしても切れない」（→P.114）をご覧になり、パソコンの電源を切った後にマウスを接続し直してください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000680」で検索
→「マウスを接続する」

■フラットポイントをお使いの場合（BIBLO）

check! ❶ フラットポイントが汚れていませんか？

フラットポイントは表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、ぬれた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいはフラットポイントの表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。

電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

check! ❷ フラットポイントの設定を変更しましたか？

USB マウスを接続した状態でフラットポイントを無効にし、その後でマウスを取り外すと、フラットポイントで操作ができなくなることがあります。

次の方法でフラットポイントを有効にすることができます。

- 【Fn】を押しながら【F4】を押す

  フラットポイントが有効の場合は「Internal pointing device:Enable」、無効の場合は「Internal pointing device:Disable」と画面に表示されます。
  ただし、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントの有効と無効を切り替えていた場合は、この方法で切り替えることはできません。
- 「マウスのプロパティ」ウィンドウで設定を変更する

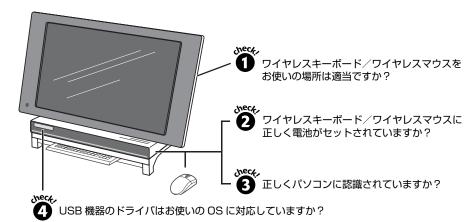
  キー操作で切り替えられない場合は、もう一度 USB マウスを接続し、「マウスのプロパティ」ウィンドウでフラットポイントを有効にしてください。

▼ フラットポイントの設定方法

『画面で見るマニュアル』 »「001080」で検索

→「マウスを接続したときにフラットポイントを無効にする」

Point

BIOS セットアップのパスワードを設定した場合［BIBLO］

スリープから復帰（レジューム）したとき、フラットポイントやマウスが使えない場合があります。BIOS ［バイオス］セットアップで設定したパスワードを入力して【Enter】を押してください。

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが使えなくなった（ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスの場合）

パソコンに添付されているワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いの方は、次の点を確認してください。

「Q マウスポインタが動かない、キーボードが操作できない」（→P.122）の対処方法も参考にしてください。

check! 1 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いの場所は適当ですか？

パソコン設置場所やお使いの状況によっては、通信を妨げる原因となる場合があります。
次のマニュアルをご覧になり、正しい配置とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用するときの注意事項を確認してください。

『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

check! 2 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスに正しく電池がセットされていますか？電池が切れていませんか？

電池が正しくセットされていなかったり、適切でない電池を使用していたりした場合、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが正しく動作しなかったり電池寿命が極端に短くなったりすることがあります。
また、ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用のため、すぐに寿命に達する場合があります。
なお、標準的な使用状況での電池交換の目安は次のようになります。

【標準的な使用状況（1 日 3.5 時間使用）［DESKPOWER LX シリーズ、F シリーズ］】

- マウス…約３ヶ月［注］
- キーボード…約６ヶ月

注：マウスはご使用状況により大幅に電池寿命が変わります。ゲームなどで上記の時間ずっとマウスを動かし続けた場合は１ヶ月程度の電池寿命となります。

次のマニュアルをご覧になり、セットした電池の種類・向きや寿命について確認してください。

参照

『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」

check! ❸ 正しくパソコンに認識されていますか？

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いになる場合は、キーボードやマウスを正しくパソコンに認識させる必要があります。

参照

『FMV 取扱ガイド』
→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」
→「キーボードやマウスをパソコンに再認識させる」

check! ❹ USB 機器のドライバはお使いの OS に対応していますか？

パソコンに USB［ユーエスビー］機器を接続している方は、接続している USB 機器のドライバが正しくないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの動作に影響を与える場合があります。今お使いの OS にドライバが対応しているかどうかを確認し、対応していない場合は USB 機器のメーカーからお使いの OS に対応したドライバを入手してください。
入手したドライバをインストールするときは、現在お使いのドライバを削除してください。

ワイヤレスキーボードで勝手に文字が入力される（ワイヤレスキーボードの場合）

他にもワイヤレスキーボードのパソコンをお使いの場合、パソコンどうしの距離が近いと、このパソコンのワイヤレスキーボードがうまく動作しないことがあります。その場合は、ワイヤレスキーボードの通信周波数（チャンネル）と ID 設定値を変更してお使いください。

ID の変更方法については、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」をご覧ください。

ワイヤレスキーボードの操作中に、キーを押し続けた状態になったり、音量設定が不安定になったりする（ワイヤレスキーボードの場合）

ワイヤレスキーボードの操作中に通信状態が悪化すると、このような現象が起きる場合があります。
次の点を確認してください。

check! ❶ 操作中にワイヤレスキーボードを移動させましたか？

ワイヤレスキーボードを移動させたことにより、通信環境が悪化した可能性があります。ワイヤレスキーボードを元の位置に戻して、もう一度同じキーまたはボタンを押してください。

check! ❷ 周辺環境が変化していませんか？

ワイヤレスキーボードとパソコン本体の間に物を置いた、近くで電子レンジが動作を始めたなど、周辺環境の変化により、ワイヤレスキーボードから発信している無線信号がパソコン本体に届きにくくなった可能性があります。
周辺の環境を確認して通信可能な状態にし、もう一度同じキーまたはボタンを押してください。
周辺の環境の確認点については、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」をご覧ください。

マウスポインタが勝手に移動する（ワイヤレスマウスの場合）

他にもワイヤレスマウスのパソコンをお使いの場合、パソコンどうしの距離が近いと、このパソコンのワイヤレスマウスがうまく動かないことがあります。その場合は、ワイヤレスマウスの通信周波数（チャンネル）と ID 設定値を変更してお使いください。

ID の変更方法については、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」をご覧ください。

マウスポインタが勝手に移動する（BIBLOの場合）

BIBLO をお使いの場合は、キーボードの操作中に手のひらやそで口などがフラットポイントに触れて、マウスポインタが移動したり、クリックしたりなど意図しない操作が実行されてしまうことがあります。

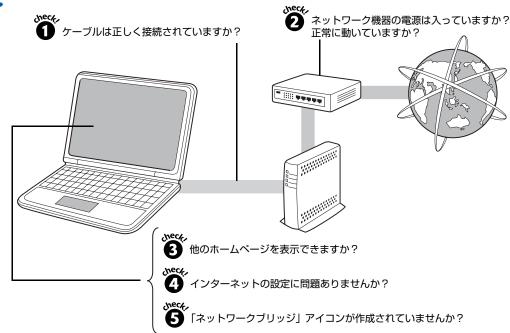
フラットポイントに触れないように、注意して操作してください。
なお、フラットポイントの設定を変更することで、問題が改善する場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「503040」で検索して、対処方法をご覧ください。

5
Q&A集

キーボード上に水や液体をこぼしてしまった（BIBLOの場合）

キーボード上に水などの液体がこぼれてしまった場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、キーボード上の液体は、パソコンを水平にしたまま、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
液体を拭き取った後、バッテリパックを外してください。
その後必ず、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」に点検を依頼してください。

参照

『サポート＆サービスのご案内』
→「付録」→「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」

インターネット

インターネットがつながらない／つながらなくなった

次の順番で確認してください。
1 つの作業を行うごとに、問題が解決しているか確認することをお勧めします。

ネットワーク接続の状態を診断する

「Plugfree NETWORK［プラグフリー ネットワーク］」の「ネットワーク診断」を使用して、ネットワーク接続の状態を診断することができます。
「ネットワーク診断」は、次の手順で実行してください。

1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「Plugfree NETWORK」→「ネットワーク診断」の順にクリックします。
   「ネットワーク診断」が起動します。
2. 診断するネットワーク接続をクリックします。
   （選択例）
   ・無線 LAN 接続の場合：「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックします。
   ・有線 LAN 接続の場合：「ローカルエリア接続」をクリックします。
   ネットワークの診断が行われ、診断結果が表示されます。
   ネットワーク接続の診断の結果トラブルがあった場合、赤色の顔マークが表示されます。

3. 赤い顔マーク左の診断結果を確認し、「対処方法はこちら」をクリックします。
　トラブルの対処方法またはヒントが表示されます。
4. 対処を行った場合は、「再診断」をクリックして診断を再実行します。
　なお 「再診断」の結果、同じ所に顔マークが表示されても、診断結果や対処方法の表示内容が異なる場合があります。
5. トラブルが解決するか、または対処することがなくなるまで、表示に沿って確認、対処、再診断を行ってください。
　表示されているアイコンなどの意味については「ヘルプ」をクリックしてご覧ください。

check!❶ 他のホームページを表示できますか？

今までインターネットに接続できていた場合は、他のホームページを表示できるか確認してください。

▼ 表示できた
　→インターネットの接続設定には問題ありません。**check!❻** に進んでください。

▼ 表示できなかった
　→インターネットに接続できていない状態です。**check!❷** に進んでください。

check!❷ ケーブルは正しく接続されていますか？

いったんパソコンの電源を切り、ケーブルの接続を確認してください。正しく接続されていなかった場合、ご利用のプロバイダまたは回線事業者（インターネット接続サービスの提供会社）から送られてきたマニュアルをご覧になり、ケーブルを接続し直してください。

接続し直した後もインターネットにつながらない場合は、**check!❸** に進んでください。

check!❸ ネットワーク機器の電源は入っていますか？正常に動いていますか？

▼ 電源が入っていない
　→ネットワーク機器に添付のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。

▼ 電源が入っている
　→モデムやルータのランプが正常に点灯しているか、設定は正しいか確認してください。

設定を確認した後もインターネットにつながらない場合には、モデムやルータなどのネットワーク機器の電源を一度切り、5 分以上待って電源を入れ直した後、さらに 2 ～ 3 分待ってインターネットに接続してください。インターネットに接続できる場合があります。
それでも、インターネットに接続できない場合は、**check!❹** に進んでください。

Point

・「Internet Explorer［インターネット エクスプローラ］」のタイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ホームページを表示できていても、インターネットには接続できていない状態です。
　ツールバーの「ツール」→「オフライン作業」に ✓（チェックマーク）が付いているか確認してください。
　・チェックマークが付いている場合
　　「オフライン作業」をクリックし ✓（チェックマーク）を外します。
　・チェックマークが付いていない場合
　　「オフライン作業」の設定に問題はありません。**check!❻** に進んでください。

check!❹ インターネットの設定に問題ありませんか？

ご利用のプロバイダまたは回線事業者や接続機器によって、設定手順が異なります。ご利用のプロバイダまたは回線事業者から送られてきたマニュアルをご覧になり、次の項目を確認してください。これらの設定内容が不明な場合は、ご利用のプロバイダまたは回線事業者にお問い合わせください。

- TCP/IP ［ティーシーピーアイピー］設定や DNS［ディーエヌエス］アドレス
- セキュリティ対策ソフトの設定

それでも、インターネットに接続できない場合は、**check!❺** に進んでください。

check!❺ 「ネットワークブリッジ」アイコンが作成されていませんか？

ネットワークブリッジが設定されていると、インターネットに接続できない場合があります。次の操作で確認してください。

1 （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

3 ウィンドウ左の領域にある「ネットワーク接続の管理」をクリックします。
「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

4 「ネットワーク接続」ウィンドウの中に「ネットワークブリッジ」アイコンがあるか確認します。
・「ネットワークブリッジ」アイコンがある場合
「ネットワークブリッジ」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「削除」をクリックし、「ネットワークブリッジ」アイコンを削除します。
・「ネットワークブリッジ」アイコンがない場合
ネットワークブリッジの設定には問題ありません。**check!❻** に進んでください。

check!❻ 無線 LAN をお使いですか？

無線 LAN をお使いの場合は、「無線 LAN がつながらない／つながらなくなった」（→P.132）をご覧になり、無線 LAN の設定などを確認してください。

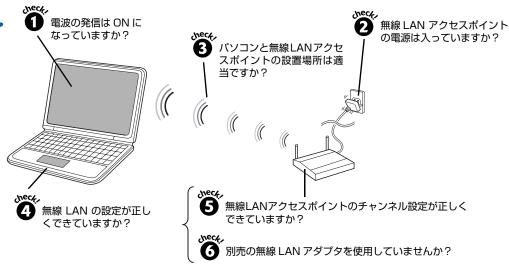
check!❼ プロバイダがメンテナンスなどでサービスを停止していませんか？

ご利用のプロバイダが、メンテナンスなどのため一時的にサービスを停止する場合があります。しばらく時間を置いてから、再度試してみてください。

check!❽ それでも解決しない場合には

パソコンを再起動することで、問題が解決する場合があります。
（スタート）→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動してください。

5

Q&A集

無線LANがつながらない／つながらなくなった

次の点を順番に確認してください。

ネットワーク接続の状態を診断する

「Plugfree NETWORK［プラグフリー ネットワーク］」の「ネットワーク診断」を使用して、ネットワーク接続の状態を診断することができます。
「ネットワーク診断」は、次の手順で実行してください。

1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「Plugfree NETWORK」→「ネットワーク診断」の順にクリックします。
   「ネットワーク診断」が起動します。
2. 診断するネットワーク接続（「ワイヤレスネットワーク接続」など）をクリックします。
   ネットワークの診断が行われ、診断結果が表示されます。
   ネットワーク接続の診断の結果トラブルがあった場合、赤色の顔マークが表示されます。
3. 赤い顔マーク左の診断結果を確認し、「対処方法はこちら」をクリックします。
   トラブルの対処方法またはヒントが表示されます。
4. 対処を行った場合は、「再診断」をクリックして診断を再実行します。
   なお 「再診断」の結果、同じ所に顔マークが表示されても、診断結果や対処方法の表示内容が異なる場合があります。
5. トラブルが解決するか、または対処することがなくなるまで、表示に沿って確認、対処、再診断を行ってください。
   表示されているアイコンなどの意味については「ヘルプ」をクリックしてご覧ください。

check! ❶ **電波の発信は ON になっていますか?**

■ DESKPOWER の場合

次の手順で電波の発信状態を確認してください。

1 (スタート)→「すべてのプログラム」→「 無線 LAN 電波オン/オフツール」→「 無線 LAN 電波オン/オフツール」の順にクリックします。

2「無線 LAN 電波オン/オフツール」ウィンドウの表示を確認します。

- **「現在無線 LAN の電波が停止しています」と表示された場合**
  無線 LAN[ラン]の電波は停止しています。「電波発信」ボタンをクリックしてください。
- **「現在無線 LAN の電波が発信しています」と表示された場合**
  →check! ❷ に進んでください。

■ BIBLO の場合

ワイヤレススイッチの状態を確認してください。

▼ ワイヤレススイッチ

『FMV 取扱ガイド』→「各部の名称と働き」

▼ OFF になっている

→スイッチを ON にしてください。

▼ ON になっている

→check! ❷ に進んでください。

check! ❷ **無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか?**

▼ 電源が入っていない

→無線 LAN アクセスポイントに添付のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。

▼ 電源が入っている

→check! ❸ に進んでください。

check! ❸ **パソコンと無線 LAN アクセスポイントの設置場所は適当ですか?**

パソコンと無線 LAN アクセスポイントの距離が遠かったり、間に障害物があったりすると、電波が届きにくいことがあります。パソコンと無線 LAN アクセスポイントの設置場所を変えることで、改善できる場合があります。

無線 LAN アクセスポイントに添付のマニュアルや次のマニュアルをご覧になり、設置場所を確認してください。

『画面で見るマニュアル』 »「001010」で検索

→「無線 LAN をお使いになる上でのご注意」

check! ❹ **無線 LAN の設定が正しくできていますか?**

無線 LAN のプロファイルを確認してください。確認する項目は次のとおりです。

- ネットワーク名(SSID[エスエスアイディー])
- セキュリティキー(WEP[ウェップ]キー)やパスフレーズ(PSK[ピーエスケー])などのセキュリティ設定

SSID とセキュリティ設定については、無線 LAN アクセスポイントの設定と同じにする必要があります。無線 LAN アクセスポイントの設定も確認してください。また、手動設定の場合 OS の IP アドレス設定も確認してください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000790」で検索
→「無線 LAN の設定方法」

注：競合を避けるためパソコンと無線 LAN アクセスポイントの IP アドレスは違う値にする必要があります。

check! ❺ 「Norton Internet Security」が追加したネットワークアダプタが選択されていませんか？（「Norton Internet Security」をお使いの場合）

「Norton Internet Security［ノートン インターネット セキュリティ］」をお使いの場合、無線 LAN のセキュリティ向上のために、仮想ネットワークアダプタが作成されます。
このネットワークアダプタが接続に使用するアダプタとして選択されていると、通常のネットワークへの接続ができない場合があります。
この場合は、別のネットワークアダプタを選択してください。

check! ❻ 無線 LAN アクセスポイントのチャンネル設定が正しくできていますか？

無線LANアクセスポイントに設定されているチャンネルがこのパソコンの使用可能チャンネル以外になっている可能性があります。IEEE［アイトリプルイー］802.11bの場合、無線LANアクセスポイントのチャンネルを1～13に設定してください。設定方法については、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

check! ❼ 同一フロア内などで複数の無線 LAN のネットワークがあり、使用するチャンネルが重なっていませんか？

近くに他の無線 LAN のネットワークがある場合は、使用するチャンネルが重ならないように無線 LAN アクセスポイントのチャンネルを変更してください。チャンネルの確認・変更方法については、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

【BIBLO の場合】

パソコンに搭載されているユーティリティ「Plugfree NETWORK［プラグフリー ネットワーク］」で、使用中のチャンネルを確認することができます。
「Plugfree NETWORK」の「無線 LAN 管理」→「無線 LAN 情報」→「一覧表示」の順にクリックしてご確認ください（ただし、SSID が「無題なネットワーク」と表示される場合（無線 LAN アクセスポイントが SSID を隠す設定になっている場合）は、チャンネルが表示されません）。

check! ❽ 別売の無線 LAN アダプタを使用していませんか？

無線 LAN が搭載されている機種の場合は、別売の無線 LAN アダプタを使うと、ユーティリティなどが競合し、正常に動作しないことがあります。このパソコンに搭載されている無線 LAN を使うことをお勧めします。
別売の無線 LAN アダプタを使用して無線 LAN がつながらなくなった場合は、次の手順に従って設定し直すと、正常に動作する場合があります。

1. 別売の無線 LAN アダプタのドライバやユーティリティを削除します。
2. 別売の無線 LAN アダプタを取り外します。
3. このパソコンの無線 LAN ドライバをアンインストールします。
4. もう一度、無線 LAN ドライバをインストールし直します。
5. このパソコンのユーティリティ「Plugfree NETWORK」を削除（アンインストール）します。（BIBLO の場合）
6. もう一度「Plugfree NETWORK」をインストールし直します。（BIBLO の場合）

- このパソコンの無線 LAN ドライバのアンインストール／インストールについては、「ドライバを更新する」（→P.167）をご覧ください。
- 「Plugfree NETWORK」のインストールは、「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」をセットし、「FM かんたんインストール（DVD）」から行えます。また、アンインストールは、（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」から行えます。
- 別売の無線 LAN アダプタについては、無線 LAN アダプタに添付のマニュアルをご覧ください。

すでにある無線LANのネットワークに、このパソコンを接続できない

次の点を確認してください。

check! ❶ 接続先のパソコンの電源が入っていますか？

接続先のパソコンの電源が入っているか、確認してください。

check! ❷ 接続先にアクセスする権限はありますか？

接続先のネットワークまたはパソコンにアクセスする権限があるか、そのネットワークまたはパソコンに詳しい方（ネットワーク管理者）に確認してください。

「画面で見るマニュアル」の再インストール方法がわからない

「画面で見るマニュアル」を削除した場合は、「サポートナビ」の「FMV画面で見るマニュアル」からか、「FMV画面で見るマニュアル」のディスクから、再インストールしてください。

■「サポートナビ」の「FMV 画面で見るマニュアル」から再インストールする場合

1 Windows が起動しているときに次のいずれかの操作をします。

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む**全機種共通**

デスクトップにある（FMV サポートナビ）をクリック、または（スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV サポートナビ」の順にクリックします。

「FMV サポートナビ」が表示されます。

タブをクリックすると、項目が切り替わります。

2 「Q&A」タブの「FMV画面で見るマニュアル」をクリックして、「実行」をクリックします。

3 以降は画面の指示に従って、「画面で見るマニュアル」をインストールします。

■「FMV 画面で見るマニュアル」のディスクから再インストールする場合

1 「FMV 画面で見るマニュアル」をセットします。

2 表示される画面の指示に従って、「画面で見るマニュアル」をインストールします。

重要

「リカバリディスクセット」を作成しておいてください

万が一に備えて、「リカバリディスクセット」を作成しておくことをお勧めします。詳しくは「リカバリディスクセットを作っておく」（P.20）をご覧ください。

リカバリ領域を削除している場合

リカバリ領域を削除している場合は、お客様が作成した「FMV画面で見るマニュアル」のディスクからインストールします。「FMV画面で見るマニュアル」のディスクを作成せずにリカバリ領域を削除してしまった場合、ディスクは有償でご購入いただけます。詳しくは「「リカバリディスクセット」、「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」を紛失または破損したときは」（P.71）をご覧ください。

Q&A ソフトウェアが動かなくなった

マウスやキーボードを操作しても、ソフトウェアが反応しない場合は、操作していたソフトウェアを強制終了します。
対処方法については、「Q 画面が動かなくなった」（→P.119）をご覧ください。

Q&A ソフトウェアがうまく動かない

起動しているソフトウェアを減らすことで、問題が改善される場合があります。
『画面で見るマニュアル』»「502260」で検索して、対処方法をご覧ください。
『画面で見るマニュアル』が起動できない場合は、「Q 画面が動かなくなった」（→P.119）をご覧になり、操作していたソフトウェアを強制終了してください。

キーを押しても入力できない

次の点を順番に確認してください。

check!❶ **入力する場所にカーソルが表示されているか確認する**

カーソル（点滅する「｜」）が表示されていない場合は、入力したい場所をクリックしてカーソルを表示させます。

- クリックしてもカーソルが表示されない場合は、ソフトウェアの動作が停止している可能性があります。「Q 画面が動かなくなった」（→P.119）をご覧になり、操作していたソフトウェアを強制終了してください。

問題が解決しない場合は、次の項目を確認してください。

check!❷ **キーボードが正しく接続（設定）されているか確認する（DESKPOWER の場合）**

【PS/2 キーボードの場合［DESKPOWER CE シリーズ、EK シリーズ］】

次の手順に従って確認してください。

1 （スタート）→ の →「シャットダウン」の順にクリックします。

パソコンの電源が切れます。

2 パソコンとキーボードが正しく接続（設定）されているか確認します。

・PS/2 キーボードをお使いの場合

『スタートガイド１　設置編』をご覧になり、キーボードが正しく接続されているか確認してください。

【ワイヤレスキーボードの場合［DESKPOWER LX シリーズ、F シリーズ］】

・ワイヤレスキーボードをお使いの場合

『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う」をご覧になり、キーボードの設置場所、電池の状態、および ID 設定をご確認ください。

数字が入力できない

状態によって対処法が異なります。

check! ❶ テンキーを押しても数字が入力できない

キーボードのテンキーは、【Num Lk】キーの状態によって次のように動作が変わります。

- 【Num Lk】キーがオン：キー上段に刻印された数字や記号を入力します
- 【Num Lk】キーがオフ：【↑】、【↓】、【←】、【→】、【Insert】、【Delete】など、キー下段に刻印されたキーとして動作します。

テンキーで数字が入力できない場合は、【Num Lk】キーを 1 回押して、テンキーの動作を切り替えてください。

check! ❷ 数字の代わりにひらがな（またはカタカナ）が入力される

かな入力の場合、数字を入力するには、英字入力モードに切り替える必要があります。
入力モードの切り替えについては、巻末の「文字の入力のしかた」をご覧ください。

周辺機器を取り付けたら、動作がおかしくなった

次の点を確認してください。

check!❶ 正しく接続されていますか？

いったんパソコンと周辺機器の電源を切った後、周辺機器が正しく取り付けられているか確認してください。

check!❷ 正しく設定されていますか？

周辺機器の設定（ドライバのインストールなど）が正しくされているか確認してください。
詳しくは、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

check!❸ 周辺機器がお使いのパソコン、OS に対応していますか？

周辺機器に添付のマニュアル、および次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』
→「目次から探す」→「6. 周辺機器の接続」

ACPI に対応した周辺機器をお使いください

このパソコンは、ACPI［エーシーピーアイ］（省電力に関する電源制御規格の 1 つ）によって動作していますので、周辺機器も ACPI に対応したものをお使いください。スリープ状態での省電力機能のレベルのことを S1、S3 などと表します。
ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは周辺機器の製造元にお問い合わせください。

参照

▼スリープ／休止状態について
『画面で見るマニュアル』»「000410」で検索
→「省電力機能を使う」

正常に起動したときの設定に戻す

周辺機器を取り付けた後で、Windows が起動できなくなった場合、前回正常起動時の構成を使用して、Windows を起動することができます。次の手順に従って操作してください。

1. パソコンの電源を切り、追加した周辺機器を取り外します。
2. パソコンの電源を入れます。
3. FUJITSU のロゴ画面が表示されたら 【F8】 を押します。
4. 「オペレーティング システムの選択」画面でお使いの OS が選択されていることを確認し、【F8】 を押します。
5. 【↑】【↓】で、「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、【Enter】 を押します。

これで、前回正常起動時の構成を使用して Windows が起動します。

状態表示LEDの や が、赤やオレンジに光っている（BIBLOの場合）

状態によって対処法が異なります。

check!❶ が赤く点灯／点滅している

バッテリの残量が少ない、バッテリが正しく充電できていないなどの原因が考えられます。AC アダプタを接続し、充電し直してください。

check!❷ や がオレンジ色に点滅している

バッテリ本体の保護機能が働いて、充電が休止しているなどの原因が考えられます。しばらくそのままでお待ちください。自動的に充電が再開されます。

参照

▼ 状態表示 LED について

『FMV 取扱ガイド』

→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」→「バッテリの充電状態や残量を確認する」

『画面で見るマニュアル』 »「000210」で検索

→「各部の名称と働き：パソコン本体」→「状態表示 LED」

▼ バッテリや充電について

『画面で見るマニュアル』 »「000590」で検索

→「バッテリで使う」

バッテリが充電されない（BIBLOの場合）

次のような原因が考えられます。順番に確認してください。

原因	対処
バッテリが外れている	内蔵バッテリパックを取り付けてください。 参照 『FMV 取扱ガイド』 →「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」
AC アダプタが外れている	コンセントおよびパソコン本体に AC アダプタを正しく接続し直してください。 参照 『FMV 取扱ガイド』 →「パソコンの取り扱い」→「電源を入れる／切る」→「AC アダプタを接続する」
パソコン本体が熱くなり、保護機能が働いている（状態表示 LED［エルイーディー］の「バッテリ充電ランプ」[注] がオレンジ色に点滅）	保護機能が働いて、充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。
パソコン本体が冷たくなり、保護機能が働いている（状態表示LEDの「バッテリ充電ランプ」[注] がオレンジ色に点滅）	パソコンを暖かい所に置いて、ACアダプタを接続し直してください。暖かい所に移す場合は、結露が発生しないようご注意ください。 バッテリの温度が 5 ℃以下になると、保護機能が働いて充電が休止されることがあります。しばらくすると、自動的に充電が再開されます。

注：機種により「バッテリ充電表示」／「内蔵バッテリパック充電ランプ（増設用内蔵バッテリユニット充電ランプ）」となります。

バッテリが 90%以上残っているとき

バッテリが約 90%以上残っているときは、充電を開始しない場合があります。

▼バッテリについて
『画面で見るマニュアル』»「000590」で検索
→「バッテリで使う」

Q & A 集

画面に表示されるメッセージ

マークの項目は、『画面で見るマニュアル』の「目次から探す」→「9. 困ったときの Q&A」に記載されています。
文書番号で検索して、解決方法をご覧ください。
『画面で見るマニュアル』の検索方法については、このマニュアルの巻頭にある「参照の探し方」をご覧ください。

メッセージウィンドウ

通知領域のバルーン

「Internet Explorer」の画面

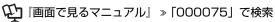
情報バー

メッセージウィンドウ

「自動再生」ウィンドウが表示された

ディスクなどを CD/DVD ドライブにセットしたときに表示される場合があります。

お使いの状況に応じた動作をクリックします。

どの動作かわからない場合は、✕をクリックしてください。
「***** に対しては常に次の動作を行う。」と表示されている場合は、□をクリックして☑にすると、次からこの画面を表示せずに選択した動作を行うようになります。

（画面は機種や状況により異なります）

▼ ディスクなどが自動再生するよう設定するには

『画面で見るマニュアル』 »「000075」で検索

→「ディスクの自動再生について」

5 Q&A集

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで、「続行するにはあなたの許可が必要です」表示された

「ユーザーアカウント制御（UAC)」機能により、Windows の動作やシステムに影響を与える操作が行われると、このメッセージが表示されることがあります。

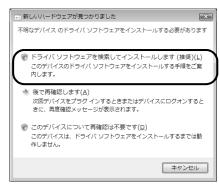
【管理者アカウントでログオンした場合】
メッセージの内容をよく確認し、そのまま操作を続ける場合には、「続行」をクリックします。

【管理者アカウント以外でログオンした場合】
メッセージの内容をよく確認し、表示されている「管理者アカウント」のパスワードを入力してから「OK」をクリックします。

Point

管理者アカウントが複数表示された場合は

どれか 1 つをクリックして選択し、そのアカウントのパスワードを入力してください。

▼ユーザーアカウント制御（UAC）機能
『画面で見るマニュアル』»「211270」で検索
→「ユーザーアカウント制御機能について」

「新しいハードウェアが見つかりました」ウィンドウで、「不明なデバイスのドライバソフトウェアをインストールする必要があります」と表示された

周辺機器を接続したときなどに、このメッセージが表示される場合があります。

接続した周辺機器のマニュアルをご覧になり、対応するドライバをインストールしてください。

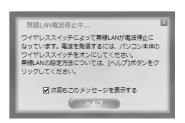
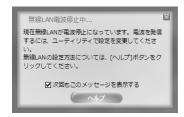
周辺機器を新しく接続していないのにこのメッセージが表示された場合は、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックします。

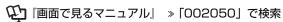
- 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら
  「続行」をクリックします。「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
- 「デバイス ドライバ ソフトウェアをインストールしています」と表示されたら
  表示されたメッセージの ☒ 以外の所をクリックし、表示に従って操作してください。

「Microsoft Windows」ウィンドウで、「Windows は予期しないシャットダウンから回復しました」と表示された

Windows の操作中にエラーが発生すると、このメッセージが表示される場合があります。

「送信」または「後で確認」をクリックすると、マイクロソフト社のサーバーに接続され、エラーの詳細レポートが送信されます（送信には、インターネット接続環境が必要です）。
このレポートはインターネットを通じて匿名の機密情報として送信され、マイクロソフト社の製品改善に使用されます。エラー報告をしない場合は、「キャンセル」をクリックします。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

「無線LAN電波停止中・・・」と表示された（BIBLOの場合）

無線 LAN［ラン］の電波を停止していると、起動するたびに表示されます。

または

無線 LAN の電波を発信する方法については、『画面で見るマニュアル』をご覧ください。

▼ 無線 LAN の電波の発信方法

『画面で見るマニュアル』 »「002050」で検索

→「無線 LAN の電波を発信する／停止する」

・ 起動時にこのメッセージを表示させたくない場合は、「次回もこのメッセージを表示する」の ☑ をクリックして、□ にしてください。このメッセージは、「Plugfree NETWORK［プラグフリー ネットワーク］」のオプション設定を変更することで、再度表示することができます。

5

Q&A集

「無線LANの接続設定が完了していません。」と表示された（BIBLOの場合）

無線 LAN の電波が発信状態で、無線 LAN のプロファイルを設定していないと、起動するたびに表示されます。

参照

『スタートガイド 2 セットアップ編』
→「インターネットをはじめる」

Point

・起動時にこのメッセージを表示させたくない場合は、「次回もこのメッセージを表示する」の ☑ をクリックして、□ にしてください。このメッセージは、「Plugfree NETWORK［プラグフリー ネットワーク］」のオプション設定を変更することで、再度表示することができます。

「ウイルスバスター2009」ウィンドウで「疑わしい動作を検出しました」と表示された

「ウイルスバスター」をお使いの場合に、なんらかのソフトウェアやサービスがネットワークへ接続しようとしたときに、このメッセージが表示される場合があります。

「ウイルスバスター」は、不正アクセスや重要なデータの流出を防ぐために、お使いのパソコンを監視しています。そのため、ネットワークを利用するソフトウェアやサービスによっては、「ウイルスバスター」に不審な動作として認識され、このメッセージが表示される場合があります。

このメッセージが表示された場合は、そのソフトウェアやサービスがネットワークに接続しても問題はないか、よくご確認のうえ、次の設定を行ってください。
ネットワークに接続しようとしているソフトウェアについて詳しく知りたい場合は、「詳細を表示」をクリックしてください。

check!❶ ネットワークに接続しても問題ないとお客様自身が判断した場合

「許可」をクリックします。以後、常にそのソフトウェアやサービスでネットワークを利用することができます。

check!❷ ネットワークに接続しないようにする場合

「拒否」をクリックします。以後、常にそのソフトウェアやサービスでネットワークを利用する機能は使えなくなります。

一度設定した後は、そのソフトウェアがネットワークへ接続しようとしてもメッセージは表示されなくなります。
「ウイルスバスター」についての詳細は、ヘルプをご覧になるか、トレンドマイクロ株式会社にお問い合わせください。

▼お問い合わせ窓口について
『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「サポート窓口に相談する」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」→「各ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」

必ずアップデートを行ってください

ウィルスバスターのアップデートを行うと、ご購入時にインストールされているソフトウェアがネットワーク機能を使用する場合に、警告ウィンドウを表示しないように、自動で設定します。
ただし、お客様が警告ウィンドウで「拒否」を設定したソフトウェアについては、アップデートを行っても自動で設定はされません。お客様ご自身で設定を変更してください。

参照
▼設定した内容の確認や変更をする方法
『画面で見るマニュアル』»「250000」で検索
→「「ウイルスバスター」のファイアウォールを設定する」

「updatenv.exe」、「NetworkPlayerServer.exe」、「first.exe」について

「updatenv.exe」は、「アップデートナビ」が使用しているプログラムです。
「NetworkPlayerServer.exe」は、「NetworkPlayer」が使用しているプログラムです（「NetworkPlayer」がインストールされている場合）。
「first.exe」は、『画面で見るマニュアル』の「なるほどパソコン入門」で使用しているプログラムです。
これらのプログラムについて警告メッセージが表示された場合は、セキュリティ上の問題はありませんので、「許可」を選択し、「OK」をクリックして先に進んでください。

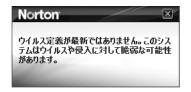
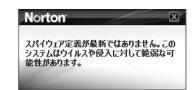
「ウイルスバスター2009」ウィンドウで、「アップデート機能を利用できません」と表示された

「ウイルスバスター」をお使いの場合に、ユーザー登録が完了していないなどの理由でアップデート機能が有効になっていないとこの画面が表示されます。

この状態ではパターンファイルや検索エンジンが最新版に更新されず、最新のコンピューターウイルスやスパイウェアを検出できない可能性があります。
このメッセージが表示された場合は、「次へ」をクリックし、画面の説明に従ってアップデート機能を有効にしてください。

「ウイルスバスター 2009」ウィンドウで、「契約期間終了が近づいてきました」と表示された

「ウイルスバスター」の会員契約の有効期限が近づいている場合に表示されます。

会員契約の期限が切れてしまうと、パターンファイルや検索エンジンの更新ができなくなり、最新のコンピューターウイルスやスパイウェアを検出できない可能性があります。
会員契約を更新するには、「更新手続きをする」をクリックし、画面の説明に従ってください。

「Norton」ウィンドウで、「ウイルス定義が最新ではありません。」または「スパイウェア定義が最新ではありません。」と表示された

「Norton Internet Security［ノートン インターネット セキュリティ］」をお使いの場合に、しばらく LiveUpdate［ライブアップデート］を行っていないとこのメッセージが表示されます。

これらの定義ファイルが最新になっていないと、最新のコンピューターウイルスやスパイウェアを検出できない可能性があります。メッセージが表示された場合は、すぐに LiveUpdate を行って、ウイルス定義やスパイウェア定義を最新の状態に更新することをお勧めします。

「Norton Internet Security」ウィンドウで、「更新サービス期限切れ」と表示された

「Norton Internet Security［ノートン インターネット セキュリティ］」のウイルス定義やスパイウェア定義などを最新に更新するサービスの有効期限が切れている場合に表示されます。

このパソコンに添付の「Norton Internet Security［ノートン インターネット セキュリティ］」は、初めて起動した日から 90 日間、ウイルス定義やスパイウェア定義などの更新サービスを無料でご利用いただけるようになっています。それ以降も継続して更新サービスを受ける場合は、有料で更新サービスの延長をお申し込みされるか、パッケージ版をご購入される必要があります。

更新サービスの有効期限が切れていると、ウイルス定義やスパイウェア定義などが最新のものに更新されないため、最新のコンピューターウイルスやスパイウェアを検出できない可能性がありますのでご注意ください。

「Norton Internet Security」ウィンドウで、「フィッシングの設定」と表示された

「Norton Internet Security［ノートン インターネット セキュリティ］」をお使いの場合に、「Norton Internet Security」のフィッシングフィルターが有効になっていないとき表示されます。

次の手順で、フィッシングフィルターを有効にしてください。

1 「はい」をクリックします。
「Web サイトで、このプログラムを使って Web コンテンツを開こうとしています」というメッセージが表示されます。

2 「許可する」をクリックします。
「Norton Internet Security」のフィッシングフィルターが有効になります。

「Internet Explorerセキュリティ」ウィンドウで、「WEBサイトで、このプログラムを使って WEBコンテンツを開こうとしています」などと表示された

「Norton Internet Security［ノートン インターネット セキュリティ］」をお使いの場合に、なんらかのソフトウェアやサービスがネットワークへ接続しようとしたときに、このメッセージが表示される場合があります。

「Norton Internet Security」は、不正アクセスや重要なデータの流出を防ぐために、お使いのパソコンを監視しています。そのため、ネットワークを利用するソフトウェアやサービスによっては、「Norton Internet Security」に不審な動作として認識され、このウィンドウが表示される場合があります。

このメッセージが表示された場合は、そのソフトウェアやサービスがネットワークに接続しても問題はないか、よくご確認のうえ、次の設定を行ってください。
ネットワークに接続しようとしているソフトウェアについて詳しく知りたい場合は、「詳細」をクリックしてください。

check!❶ ネットワークに接続しても問題ないとお客様自身が判断した場合

「許可する」をクリックしてください。以後、常にそのソフトウェアでネットワークを利用することができます。

check!❷ ネットワークに接続しないようにする場合

「許可しない」をクリックします。以後、常にそのソフトウェアでネットワークを利用する機能は使えなくなります。

一度設定した後は、そのソフトウェアがネットワークへ接続しようとしてもメッセージは表示されなくなります。
後から許可設定を変更したい場合は、「Norton Internet Security」のヘルプをご覧ください。
「Norton Internet Security」についての詳細は、ヘルプをご覧になるか、株式会社シマンテックにお問い合わせください。

参照

▼ お問い合わせ窓口について

『サポート＆サービスのご案内』

→「困ったとき」→「サポート窓口に相談する」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」→「各ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」

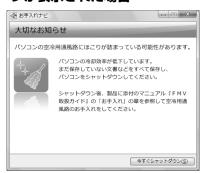
必ず LiveUpdate を行ってください

Norton Internet Security の LiveUpdate［ライブアップデート］を行うと、ご購入時にインストールされているソフトウェアがネットワーク機能を使用する場合に、警告ウィンドウを表示しないように、自動で設定します。
ただし、お客様が警告ウィンドウで「許可しない」を設定したソフトウェアについては、LiveUpdateを行っても自動で設定はされません。お客様ご自身で設定を変更してください。

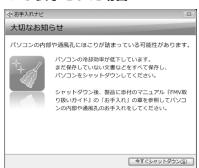
参照

▼ 設定した内容の確認や変更をする方法
『画面で見るマニュアル』»「211170」で検索
→「「Norton Internet Security」のファイアウォールを設定する」

「updatenv.exe」、「NetworkPlayerServer.exe」、「first.exe」について

「updatenv.exe」は、「アップデートナビ」が使用しているプログラムです。
「NetworkPlayerServer.exe」は、「NetworkPlayer」が使用しているプログラムです（「NetworkPlayer」がインストールされている場合）。
「first.exe」は、『画面で見るマニュアル』の「なるほどパソコン入門」で使用しているプログラムです。
これらのプログラムについて警告メッセージが表示された場合は、セキュリティ上の問題はありませんので、「許可する」を選択し、「OK」をクリックして先に進んでください。

「お手入れナビ」ウィンドウで、「大切なお知らせ」と表示された

「お手入れナビ」搭載機種をお使いの場合、ほこりが詰まってパソコン本体内部の温度が高くなりすぎたり、内部のファンが故障したりした場合に、このメッセージが表示される場合があります。

お使いの機種により、表示されるメッセージは次のいずれかになります。

■「パソコンの空冷用通風路にほこりが詰まっている可能性があります。」というメッセージが表示された場合

パソコンの空冷用通風路にほこりが詰まっている場合に表示されます。
「今すぐシャットダウン」をクリックして電源を切った後、『FMV取扱ガイド』をご覧になり、パソコンの清掃を行ってください。

参照

- BIBLO NW シリーズの場合
  『FMV 取扱ガイド』
  →「お手入れ」→「FMV のお手入れ」→「冷却用通風路のお手入れ」
- BIBLO NW シリーズ以外の場合
  『FMV 取扱ガイド』
  →「お手入れ」→「FMV のお手入れ」→「空冷用通風路のお手入れ」

■「パソコンの内部や通風孔にほこりが詰まっている可能性があります。」というメッセージが表示された場合

パソコンの内部や通風孔にほこりが詰まっている場合に表示されます。
「今すぐシャットダウン」をクリックして電源を切った後、『FMV 取扱ガイド』をご覧になり、パソコンの清掃を行ってください。

参照

『ＦＭＶ 取扱ガイド』

→「お手入れ」→「ＦＭＶ のお手入れ」→「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」

■「パソコンの空冷用ファンが正しく動作していません。」というメッセージが表示された場合

パソコン本体内部の温度が高くなっているにもかかわらず、ファンの回転数が低下している場合に表示されます。
「今すぐシャットダウン」をクリックして電源を切った後、「故障や修理に関する受付窓口」にお問い合わせください。

参照

▼「故障や修理に関する受付窓口」について

『サポート＆サービスのご案内』

→「困ったとき」→「故障したとき」

■「パソコンの CPU ファンが正しく動作していません」というメッセージが表示された場合

パソコン本体内部の温度が高くなっているにもかかわらず、ファンの回転数が低下している場合に表示されます。
「今すぐシャットダウン」をクリックして電源を切った後、「故障や修理に関する受付窓口」にお問い合わせください。

参照

▼「故障や修理に関する受付窓口」について

『サポート＆サービスのご案内』

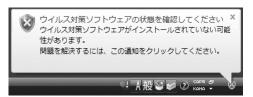
→「困ったとき」→「故障したとき」

「『ＦＭＶ画面で見るマニュアル』を再インストールします。実行しますか？」と表示された

「画面で見るマニュアル」をアンインストールした場合や、起動に必要なファイルを削除した場合、「画面で見るマニュアル」を起動すると、次の画面が表示されます。

この画面が表示されたら、「はい」をクリックし、画面の指示に従って「画面で見るマニュアル」を再インストールしてください。

5

Q&A集

通知領域のバルーン

「ウイルス対策ソフトウェアの状態を確認してください」と表示された

セキュリティ対策の状態が確認できない場合やセキュリティの設定に問題がある場合、Windows のセキュリティ機能が働いて、このメッセージが表示されます。

表示されたメッセージの × 以外の所をクリックし、表示された画面の設定を行ってください。

check! ❶ ウイルス対策ソフトをインストールしましたか？初期設定を行いましたか？

セキュリティ対策ソフトウェアのインストールを行っていない場合、セットアップ後やリカバリ後にセキュリティ対策ソフトの設定を行っていない場合に表示されます。
次のマニュアルをご覧になり、セキュリティ対策ソフトの設定を行ってください。

参照

『スタートガイド2　セットアップ編』
→「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」

このパソコンに添付のセキュリティ対策ソフト（「ウイルスバスター 2009」または「Norton Internet Security［ノートン インターネット セキュリティ］」）以外のセキュリティ対策ソフトをお使いの場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルやヘルプをご覧ください

check! ❷ セキュリティ対策ソフトは最新の状態になっていますか？

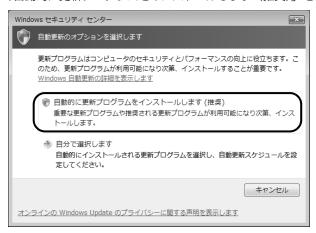
お使いのセキュリティ対策ソフトが最新の状態になっていない場合に表示されます。
お使いのセキュリティ対策ソフトに添付のマニュアルやヘルプをご覧になり、ソフトウェアを最新の状態にしてください。

check! ❸ セキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能は有効になっていますか？

お使いのセキュリティ対策ソフトのファイアウォール機能を無効に設定した場合に表示されます。
ソフトウェアに添付のマニュアルやヘルプをご覧になり、ファイアウォール機能が有効になるよう設定してください。

Windows標準の「Windowsファイアウォール」をお使いになる場合は、次の手順に従って「Windowsファイアウォール」の設定を「有効」にしてください。なお、「Norton Internet Security」をお使いの場合は、「Windowsファイアウォール」を「有効」にする必要はありません。

1. 表示されたメッセージの ✕ 以外の所をクリックします。
2. 「Windows セキュリティセンター」ウィンドウの「ファイアウォール」をクリックし、「今すぐ有効にする」をクリックします。
   「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。
3. 「続行」をクリックします。
   「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。

check! ❹ 「Windows Update」の自動更新は有効になっていますか？

「Windows Update」の自動的に更新する設定が無効になっている場合に表示されます。次の手順に従って設定を変更してください。

1 表示されたメッセージの ✕ 以外の所をクリックします。
「Windows セキュリティセンター」ウィンドウが表示されます。

2 「自動更新」の「設定の変更」をクリックします。

3 「自動的に更新プログラムをインストールします（推奨）」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

4 「続行」をクリックします。
「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
「自動更新」が有効に設定されます。

表示されたメッセージが消えてしまった場合は、次の手順で「Windowsセキュリティセンター」ウィンドウを表示することができます。

1. （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「コントロールパネル」の「セキュリティ状態の確認」をクリックします。
   「Windows セキュリティセンター」ウィンドウが表示されます。

Q & A 集

お問い合わせの前に

パソコンを診断する

Windowsが起動しなくなったときは、このパソコンの診断プログラムでパソコンを診断してください。

診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えた後、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になりお問い合わせください。

重要

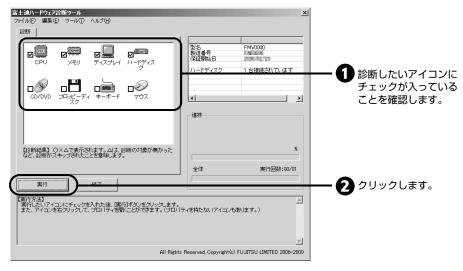
診断を行う前に外部記憶装置を外してください。

USB［ユーエスビー］メモリや外付けハードディスクなど、ハードディスクやリムーバブルディスクと認識される外部記憶装置は、診断を行う前に外してください。

診断を開始する

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。
■サポートボタン搭載機種
キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。
■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通
　1 キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
　2 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

起動メニューが表示されない場合

電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 起動メニューが表示されたら、【↓】を押して、「診断プログラム」または「Diagnostic program」を選択し、【Enter】を押します。

5 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、【Y】を押してハードウェア診断を開始します。
ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんパソコンが再起動した後で診断結果が表示されます）。

5

Q&A集

6 次の操作をします。

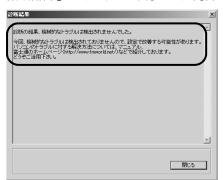
・トラブルが検出されなかった場合
　【Enter】を押してください。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。手順 7 に進んでください。

・トラブルが検出された場合
　画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせの時にサポート担当者にお伝えください。その後、キーボードの【Y】を押してパソコンの電源を切ってください。

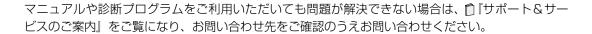
7 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。

「注意事項」ウィンドウが閉じます。

8 次の画面の操作をします。

ハードウェア診断が始まります。
診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。

「CD/DVD ドライブに CD-ROM または DVD-ROM をセットしてください」などと表示された場合

本パソコンに添付の「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」など、何らかの CD-ROM または DVD-ROM をセットして「診断開始」をクリックしてください。
診断を取りやめる場合は「スキップ」をクリックしてください。

9 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

表示された内容に従って操作を行ってください。エラーコードが表示された場合には、メモなどに控え、お問い合わせの時にサポート担当者にお伝えください。

10 「診断結果」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

11 「終了」をクリックします。
「終了」ウィンドウが表示されます。

12 「はい」をクリックします。

13 「システム回復オプション」ウィンドウで「キャンセル」をクリックします。

14 「はい」をクリックします。
パソコンが再起動します。

『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください

マニュアルや診断プログラムをご利用いただいても問題が解決できない場合は、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせ先をご確認のうえお問い合わせください。

ソフトウェアに関するお問い合わせ

このパソコンに添付されているソフトウェアの内容については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。後から購入した市販のソフトウェアについては、各ソフトウェアの開発元にお問い合わせください。電話番号、FAX 番号などはお間違えのないよう、お確かめのうえおかけくださるようお願いいたします。
なお、お使いの機種やモデルにより、添付されているソフトウェアは異なります。

富士通製品に関するお問い合わせ

次のような場合、『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、お問い合わせください。

- **パソコンを誤って壊してしまったときなどの、故障、修理に関するお問い合わせ。**
- **添付のマニュアルや『画面で見るマニュアル』で調べても、どうしてもパソコンの使い方がわからないとき。**
- **「Q&A 集」（P.101）で調べて対処したり、「パソコンを復元する （リカバリ）」（P.53）を実行したりしても、パソコンの調子がおかしいとき。**

重要

保証期間について

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。ただし、保証書に保証開始日の記入がないと、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

参照

『サポート＆サービスのご案内』
→「困ったとき」→「故障したとき」

お使いのパソコンの修理を依頼するときは

・データをバックアップしてください。
パソコンの修理を依頼した場合、パソコンの内容が修理前と異なり、作成したデータが何も入っていない状態や、ご購入時の状態になってしまう場合があります。大切なデータは必ずCDやDVDなど別の媒体にバックアップしておいてください。

補足情報

ここでは、トラブルを解決するときによく行う操作について紹介します。

ドライバを更新する

サウンドの再生や画面表示などが正常に行われないとき、ドライバを更新すると問題が解決できる場合があります。次の方法でドライバを更新してください。

重要

ドライバを更新する前に

ドライバを更新する前に、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。
スクリーンセーバーを設定している場合は、スクリーンセーバーを「なし」に設定してください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「920740」で検索
→「使っていないときに画像を表示しておく（スクリーンセーバー）」

添付のディスクからドライバを更新する

添付の「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」に格納されているドライバの場合、現在のドライバをアンインストールして「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」からインストールし直すことで問題が解決できることがあります。
ドライバのアンインストール、再インストール手順については、各ドライバのフォルダ内にある「Readme.txt」「Install.txt」などのファイルをご覧ください。
ドライバの格納されているフォルダは、次の手順でご確認ください。

1. **「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」をCD/DVDドライブにセットします。**
   「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。

2. **「ドライバの一覧」をクリックします。**
   「ドライバの一覧」ウィンドウが表示されます。

3. **「機種名」欄の右側の ▾ をクリックし、表示されたリストからお使いの機種名（品名）をクリックして選択します。**

4. **「種別」欄の右側の ▾ をクリックし、表示されたリストから更新したいドライバの種類をクリックして選択します。**
   「ドライバの一覧」に、選択した種別のドライバが表示されます。

5 「ドライバの一覧」から更新したいドライバをクリックして選択し、「フォルダを開く」をクリックします。

選択したドライバの格納されているフォルダの内容が表示されます。

主なトラブル状況と対応するドライバ

トラブル	ドライバ
サウンドの再生がおかしい	オーディオドライバ
画面の表示がおかしい	ディスプレイドライバ
ネットワークの接続がうまくいかない	無線 LAN ドライバ（無線 LAN 搭載機種の場合） LAN ドライバ
指紋認証がうまくいかない	指紋センサードライバ（指紋センサー搭載機種の場合）

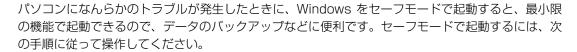
インターネットに接続してドライバを更新する

各ドライバは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバがインターネット上で公開されている場合があります。

■「アップデートナビ」で最新のドライバを確認する

お使いのパソコンに搭載されているドライバなどの最新情報は、「アップデートナビ」で確認することができます。更新情報の確認後、そのままインストールすることもできるので便利です。
アップデートナビについては、『スタートガイド2　セットアップ編』→「FMVを最新の状態にする」をご覧ください。

■ホームページで最新のドライバを確認する

ドライバなどの最新情報は、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ダウンロード」をご覧ください。
ドライバのダウンロードについては、『画面で見るマニュアル』のトップページにある「インターネットのサポート情報」からもご覧いただけます。

その他

プリンタなど、このパソコンに添付されていない周辺機器のドライバについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

セーフモードで起動する

パソコンになんらかのトラブルが発生したときに、Windows をセーフモードで起動すると、最小限の機能で起動できるので、データのバックアップなどに便利です。セーフモードで起動するには、次の手順に従って操作してください。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 キーボードの【F8】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

4 パソコンの電源を入れます。

5 FUJITSU のロゴ画面が表示されたらすぐに【F8】を押します。

Windowsが起動してしまった場合は、（スタート）→ のをクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。→「再起動」の順に

起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

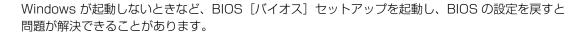
6 「オペレーティング　システムの選択」画面が表示されたら、お使いのOSが選択されていることを確認し、【F8】を押します。

「詳細ブートオプション」画面が表示されます。

7 【↑】【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押します。

「前回正常起動時の構成」とは

前回正常に Windows が起動したときの設定が保存されています。
原因がよくわからない場合は、こちらを選択することをお勧めします。

セーフモードで起動します。

F8 を押しても Windows が起動してしまう場合

次の操作でセーフモードにすることもできます。

・セーフモードで起動する
1. （スタート）をクリックし、「スタート」メニューを表示します。
2. 「検索ボックス」に半角英数で次のように入力し、Enter を押します。
   msconfig
3. 「ユーザーアカウントの制御」ウィンドウが表示されたら、「続行」をクリックします。
4. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「ブート」タブをクリックします。
5. 「ブートオプション」で「セーフブート」の□をクリックして☑にし、「OK」をクリックします。
6. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。
   Windows が再起動します。
   セーフモードで起動します。

・セーフモードから通常の状態に戻す
1. この POINT 内の「セーフモードで起動する」の手順 2、3 を実行します。
2. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「全般」タブをクリックします。
3. 「スタートアップの選択」で「通常スタートアップ」の○をクリックして◉にし、「OK」をクリックします。
4. 「システム構成」ウィンドウが表示されたら、「再起動」をクリックします。
   Windows が再起動します。

セーフモードで起動しても問題が見つけられず、Windows が正常に起動しない場合は、お使いのパソコンをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「ご購入時の状態に戻すリカバリ」（P.63）をご覧ください。

BIOS 設定をご購入時の状態に戻す

Windows が起動しないときなど、BIOS［バイオス］セットアップを起動し、BIOS の設定を戻すと問題が解決できることがあります。

DESKPOWER の場合

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 キーボードの F2 の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

4 パソコンの電源を入れます。

5 **FUJITSU のロゴ画面が表示されたら【F2】を押します。**

【F2】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
Windowsが起動してしまった場合は、(スタート)→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して(DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて)電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

6 **【←】または【→】キーで「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。**

7 **【Y】を押す、または「はい」を選んで【Enter】を押します。**

8 **「変更を保存して終了する(再起動)」を選んで【Enter】を押します。**

9 **【Y】を押す、または「はい」を選んで【Enter】を押します。**

Windows が起動します。

BIBLO の場合

1 **パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。**

2 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す(DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる)ことで電源を切ることができます。

3 **キーボードの【F2】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。**

4 **パソコンの電源を入れます。**

5 **FUJITSU のロゴ画面が表示されたら【F2】を押します。**

【F2】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
Windowsが起動してしまった場合は、(スタート)→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して(DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて)電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

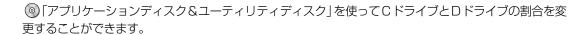
次の方法でも BIOS セットアップが起動できます

1. FUJITSUのロゴ画面が表示されている間に、【Enter】を押します。
   ポップアップメニューが表示されます。
2. 【↓】を押して「BIOS セットアップ」を選択し、もう一度【Enter】を押します。
   しばらくすると、BIOS セットアップが起動します。

6 「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。

7 「はい」を選んで【Enter】を押します。

8 「変更を保存して終了する」を選んで【Enter】を押します。

9 「はい」を選んで【Enter】を押します。

Windows が起動します。

第6章

付録

6

ハードディスクの領域について

C ドライブと D ドライブの割合を変更する

「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」を使ってC ドライブとD ドライブの割合を変更することができます。

重要

外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください

パソコン本体に外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続している場合は、必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

D ドライブを拡張領域に設定した場合

お客様がDドライブを拡張領域に設定していると、CドライブとDドライブの割合を変更することができません。

データはすべて削除されます

この操作をすると、ハードディスク内のデータ（Cドライブ、Dドライブ共に）がすべて削除されます。「必要なものだけバックアップするには 「FM かんたんバックアップ」」（→P.38）をご覧になり、必要なデータはあらかじめCDやDVD など別の媒体にバックアップをしておいてください。

NTFS に設定されます

FAT［ファット］32 に設定してある場合も、C ドライブ、D ドライブ共に自動で NTFS［エヌティーエフエス］に変更されます。

ドライブの容量制限

ドライブの容量制限は次のとおりです。これより小さくすることはできません。

ハードディスクドライブ	Cドライブの最小容量	Dドライブの最小容量
100GB以上 250GB未満	50GB	10GB
250GB以上	100GB	10GB

ハードディスクドライブについては、『FMV 取扱ガイド』→「仕様一覧」をご覧ください。

領域設定を変更しないでください

市販のソフトウェアや、Windows Vista の「ディスクの管理」で領域設定を変更しないでください。C ドライブと D ドライブの割合を変更する場合は、必ず「トラブル解決ナビ」をお使いください。

1 **パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。**

2 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

1. キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。

（画面は機種や状況により異なります）

起動メニューが表示されない場合

Windowsが起動してしまった場合は、（スタート）→ の→「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 起動メニューが表示されたら、「アプリケーションディスク&ユーティリティディスク」をセットします。

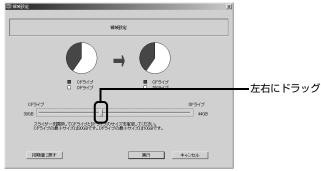
認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 表示されたメニューで【↓】を押して「CD/DVD」や「CD/DVD Drive」などを選択し、【Enter】を押します。

6 そのまましばらくお待ちください。

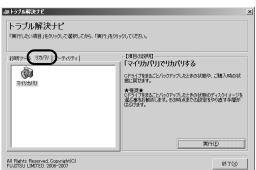
この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

6

付録

7 「ユーティリティ」タブをクリックし、次の画面の操作をします。

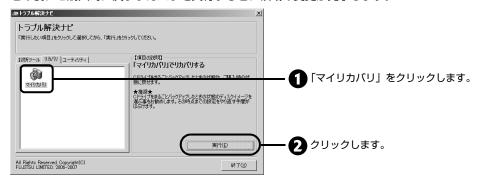
（アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります）

8 「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。

9 スライダーを左右にドラッグして、C ドライブと D ドライブの容量を指定します。

（画面は機種や状況により異なります）

ハードディスクの容量を、ご購入時と同じ状態にしたいときは

ご購入時と同じ状態にするには、「初期値に戻す」をクリックしてください。C ドライブの容量がご購入時と同じ状態に設定されます。

10 容量を決めたら、「実行」をクリックします。

11 「はい」をクリックします。

ハードディスクの領域が設定されます。

12 「完了」をクリックします。

13 「リカバリ」タブをクリックします。

14 この後、リカバリの作業を行います。

この後、ご購入時に戻すリカバリを実行すると、領域の変更が完了します。

15 「STEP 4 ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」の手順10（→P.75）に進んでください。

リカバリ領域を削除する

リカバリ領域を削除して、その分 D ドライブの容量を増やすことができます。リカバリ領域のデータのみ削除され、C ドライブ、D ドライブのデータは残ります。

重要

リカバリ領域を削除する前に必ず「リカバリディスクセット」を作成してください

リカバリ領域を削除すると、リカバリ領域にあるデータがすべて消えてしまいます。リカバリ領域のデータがないと、パソコンに不具合があったときにパソコンをご購入時の状態に戻すことができません。
リカバリ領域を削除する前には、必ずリカバリ領域のデータをディスクにコピーして、「リカバリディスクセット」を作成してください。
「リカバリディスクセット」の作成方法については、「リカバリディスクセットを作っておく」（→P.20）をご覧ください。

D ドライブを拡張領域に設定した場合

お客様が D ドライブを拡張領域に設定していると、リカバリ領域を削除して D ドライブの容量を増やすことができません。

6 付録

ディスクを用意する

次のディスクを用意してください。

- 「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」

リカバリ領域を削除する

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

3 お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

1. キーボードの【F12】の位置を確認し、押せるように準備します。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに【F12】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。

（画面は機種や状況により異なります）

起動メニューが表示されない場合

Windowsが起動してしまった場合は、（スタート）→ ⏻ 🔒 ▸ の ▸ →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 「アプリケーションディスク&ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 【↓】を押して「CD/DVD」や「CD/DVD Drive」などを選択し、【Enter】を押します。

下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

6 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 「トラブル解決ナビ」が表示されたら、「ユーティリティ」タブをクリックし、「リカバリ領域の削除」をクリックします。

8 「実行」をクリックします。

「リカバリ領域のデータから「リカバリディスクセット」を作成してありますか？」と表示されます。

9 「リカバリディスクセット」を作成していることを確認し、「続行」をクリックします。

ご使用上の注意が表示されます。

6

付録

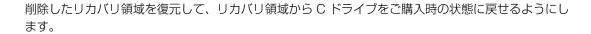
10 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
「「実行」をクリックすると、リカバリ領域が削除されます！」というウィンドウが表示されます。

11 リカバリ領域を削除する場合は「実行」をクリックします。

リカバリ領域の削除がはじまります。「リカバリデータ領域の削除が完了しました。」と表示されるまでそのままお待ちください。

12 「リカバリ領域の削除が完了しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」に戻ります。

13 「トラブル解決ナビ」で「終了」をクリックします。

終了を確認する画面が表示されます。

14 「アプリケーションディスク&ユーティリティディスク」を取り出し、「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動します。完全に起動するまでしばらくお待ちください。

15 デスクトップの「コンピュータ」をクリックします。

16 D ドライブの容量が増えていることを確認します。

D ドライブが表示されない場合は、パソコンを再起動してもう一度「コンピュータ」をクリックすると表示されます。

これで作業は終了です。

リカバリ領域を復元する

削除したリカバリ領域を復元して、リカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に戻せるようにします。

重要

ハードディスクの内容はすべて削除されます

リカバリ領域を復元するときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。このためハードディスクの内容はすべて削除されます。あらかじめ必要なデータを CD、DVD、外付けのハードディスクなどにバックアップしておいてください。

「リカバリディスクセット」が必要です

リカバリ領域の復元には、「リカバリディスクセット」が必要です。万一「リカバリディスクセット」を紛失・破損された場合は、有償でご購入いただけます。詳しくは「「リカバリディスクセット」、「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」を紛失または破損したときは」（→ P.71）をご覧ください。

ディスクを用意する

次のディスクを用意してください。

- 「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」
- お客様が作成した「リカバリディスクセット」
  ディスクの作り方については、「リカバリディスクセットを作っておく」（→ P.20）をご覧ください。

リカバリ領域を復元する

重要

外付けハードディスクなどは必ず取り外してください

パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

1 **パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。**

2 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。**

Windows の「スタート」メニューから電源を切ることができない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押す（DESKPOWER F シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れる）ことで電源を切ることができます。

6

付録

3 お使いの機種に合わせて、次のいずれかの操作をします。

■サポート（Support）ボタン搭載機種

キーボード上部のサポート（Support）ボタンを押します。

■サポート（Support）ボタン非搭載機種を含む全機種共通

1. キーボードの F12 の位置を確認し、押せるように準備します。
2. パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐに F12 を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。起動メニューが表示されるまで何度も押してください。

（画面は機種や状況により異なります）

起動メニューが表示されない場合

Windowsが起動してしまった場合は、（スタート）→ の →「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して（DESKPOWER Fシリーズの場合は、に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

4 「アプリケーションディスク&ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 ↓ を押して「CD/DVD」や「CD/DVD Drive」などを選択し、Enter を押します。

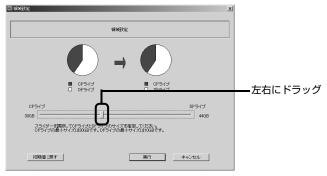
下記の画面例は、お使いの機種により異なります。

6 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

7 「トラブル解決ナビ」が表示されたら次の画面の操作をします。

ご使用上の注意が表示されます。

8 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
ハードディスクの内容が消えることについて確認するウィンドウが表示されます。

9 リカバリ領域を復元する場合は「実行」をクリックします。

「リカバリ領域の復元に必要な媒体を確認します。」というウィンドウが表示されます。

10 「リカバリディスク」の 1 枚目をセットして「OK」をクリックします。

最初に、「リカバリディスクセット」がすべて揃っているかのチェックを行います。画面に表示されるメッセージに従って、ディスクをセットして操作してください。すべてのディスクのチェックが終わると、リカバリ領域の復元が始まります。この後も同様に、画面に表示されるメッセージに従って、ディスクをセットして操作してください。

6
付録

11 「領域設定」の画面でスライダーを左右にドラッグして、CドライブとDドライブの容量を指定します。

（画面は機種や状況により異なります）

ハードディスクの容量を、ご購入時と同じ状態にしたいときは

ご購入時と同じ状態にするには、「初期値に戻す」をクリックしてください。C ドライブの容量がご購入時と同じ状態に設定されます。

12 容量を決めたら、「実行」をクリックします。

13 「はい」をクリックします。

ハードディスクの領域が設定されます。

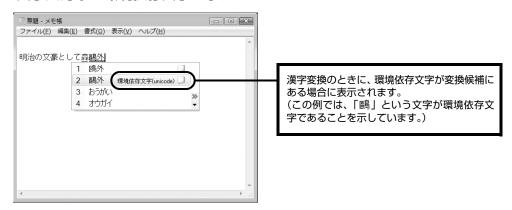
14 これ以降は、「Step4 ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」の手順11（→P.75）以降の手順に従って、C ドライブをご購入時の状態に戻してください。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

付録

文字コードの取り扱いに関するご注意

環境依存文字の取り扱いについて

環境依存文字とは、お使いのソフトウェアや相手のパソコンの環境によって、正しく表示されない可能性のある文字のことです。
文書データなどを作成するときに環境依存文字を使用すると、E メールやホームページ上で字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。

環境依存文字を使用すると、次のようなトラブルが起きることがあります。
トラブルを避けるため、環境依存文字はできるだけ使用しないことをお勧めします。

- E メールのやり取りで環境依存文字を使用すると、送信側と受信側で、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
- ソフトウェアが環境依存文字に対応していない場合、ソフトウェアが環境依存文字を正しく表示したり認識したりできない場合があります。
- お使いのプリンタによっては、環境依存文字を使用して印刷すると、字形が異なったり崩れたりして印刷される場合があります。
- インターネットのサイトなどで運用側のシステムが環境依存文字に対応していない場合、環境依存文字を入力すると、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
  例　ショッピングサイト、検索サイト、ブログ、ホームページ、インターネット掲示板など

Windows Vista では、環境依存文字を取り扱うときに、注意をうながすメッセージが表示されます。
次に表示されるメッセージの例を説明します。

例 1　文字入力中に環境依存文字を示すメッセージ

6
付録

例 2　環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されるメッセージ

- 環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されます。
  「キャンセル」をクリックすると作成中の状態に戻るので、環境依存文字を変更して保存し直すことをお勧めします。

文字コードを他の形式にして保存する

環境依存文字を含んだファイルは、次のように文字コードを Unicode［ユニコード］形式にすることで保存できます。
ただし、Unicode に対応していない OS やアプリケーションでこのファイルを開くと、文字化けを起こしたり正常に表示されない場合がありますのでご注意ください。

Windows Vista と従来 OS との文字の互換性（2009 年 2 月現在）

Windows Vista は、日本工業規格「JIS ［ジス］X 0213:2004」に対応しています。Windows XP 以前の OS は「JIS X 0213:2004」に対応していないため、「JIS X 0213:2004」で新たに追加された文字や字形変更された文字を使用して作った文書データは、従来 OS では、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。また、従来 OS で作られた文書データに、「JIS X 0213:2004」で字形変更された文字が含まれる場合は、異なった字形で表示されます。

参考：JIS X 0213:2004 改正における字形変更の比較（一例）

改正後字形：Windows Vista　改正前字形：Windows XP など

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
5026	倦	倦	5C60	屠	屠	6753	杓	杓	701E	瀞	瀞
50C5	僅	僅	5DF7	巷	巷	6962	楢	楢	7026	瀦	瀦
5132	儲	儲	5E96	庖	庖	698A	榊	榊	7058	灘	灘
51A4	冤	冤	5EDF	廟	廟	6994	榔	榔	707C	灼	灼
537F	卿	卿	5FBD	徽	徽	69CC	槌	槌	7149	煉	煉
53A9	厩	厩	6062	恢	恢	6A0B	樋	樋	714E	煎	煎
53DB	叛	叛	6108	愈	愈	6A3D	樽	樽	717D	煽	煽
54E8	哨	哨	6241	扁	扁	6ADB	櫛	櫛	7259	牙	牙
55A9	喩	喩	6357	捗	捗	6B4E	歎	歎	7337	猷	猷
5632	嘲	嘲	6372	捲	捲	6C72	汲	汲	7511	甑	甑
5642	噂	噂	63C3	揃	揃	6DEB	淫	淫	75BC	疼	疼
564C	噌	噌	647A	摺	摺	6EA2	溢	溢	77A5	瞥	瞥
56C0	囀	囀	64B0	撰	撰	6EBA	溺	溺	7941	祁	祁
5835	堵	堵	64E2	擢	擢	6F23	漣	漣	7947	祇	祇
5C51	屑	屑	6666	晦	晦	7015	瀕	瀕	79B0	禰	禰

UCS: Universal multiple-octet coded Character Set

改正後字形：Windows Vista　改正前字形：Windows XP など

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
79E4	秤	秤	84EC	蓬	蓬	8CED	賭	賭	9306	錆	錆
7A7F	穿	穿	8511	蔑	蔑	8FBB	辻	辻	939A	鎚	鎚
7B08	笈	笈	853D	蔽	蔽	8FBF	辿	辿	9453	鑓	鑓
7B75	筵	筵	85A9	薩	薩	8FC2	迂	迂	9784	鞄	鞄
7BAD	箭	箭	85AF	薯	薯	8FC4	迄	迄	9798	鞘	鞘
7BB8	箸	箸	85F7	藷	藷	8FE6	迦	迦	98F4	飴	飴
7BC7	篇	篇	86F8	蛸	蛸	9017	逗	逗	9905	餅	餅
7BDD	篝	篝	8755	蝕	蝕	9019	這	這	990C	餌	餌
7C3E	簾	簾	8956	襖	襖	9022	逢	逢	9957	饗	饗
7C7E	籾	籾	8A1D	訝	訝	903C	逼	逼	9A19	騙	騙
7FEB	翫	翫	8A3B	註	註	9041	遁	遁	9BD6	鯖	鯖
7FF0	翰	翰	8A6E	詮	詮	905C	遜	遜	9C2F	鰯	鰯
817F	腿	腿	8AFA	諺	諺	9061	遡	遡	9C52	鱒	鱒
82A6	芦	芦	8B0E	謎	謎	912D	鄭	鄭	9D09	鴉	鴉
8328	茨	茨	8B2C	謬	謬	914B	酋	酋	9D60	鵠	鵠
845B	葛	葛	8C79	豹	豹						

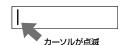
索引

や行

ら行

わ行

トラブル解決ガイド

B6FJ-1131-01-00

発 行 日　2009 年 4 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

㋐0903-1

文字の入力のしかた

1　入力する場所をクリック。

2　半角/全角 を押す。

日本語が入力できる状態にする。

3　文字のキーを押す。

4　変換する。

漢字	変換	太陽
ひらがな	F6	たいよう
全角カタカナ	F7	タイヨウ
半角カタカナ	F8	ﾀｲﾖｳ
全角英字	F9	ｔａｉｙｏｕ
半角英字	F10	taiyou

5　Enter を押す。

太陽

下線が消えて文字が確定される

句読点や記号の入力

「、」や「。」などの句読点は、
次の表に示すキーを使って入力できます。

入力したい文字	キーの操作	
	ローマ字入力	かな入力
、(読点)	< 、ね を押す	Shift ＋ < 、ね を押す
。(句点)	> 。る を押す	Shift ＋ > 。る を押す
・(中黒)	? ・め を押す	Shift ＋ ? ・め を押す
ー(長音)	= ーほ を押す	| ¥ ー を押す

○や■などの記号は、次の表に示す読みを入力して
変換できます。

入力したい文字	読み	入力したい文字	読み
～	から	㈱	かぶ
☆★※	ほし	〒	ゆうびん
←→↑↓	やじるし	℡	でんわ
「」『』【】	かっこ	①～⑳、Ⅰ～Ⅹ	いち、に、さん、･･･(以降同様)
○●◎	まる	々〃	おなじ
□■◇◆	しかく	ヶ	け／か

キーに刻印された文字の入力のしかた

ローマ字入力

上段は Shift (シフト)を押しながら押す

下段はそのまま押す

- ローマ字入力では原則として左側の文字を使用する
- キーの右側はかな入力用なので、ローマ字入力では使用しない（いくつか例外もある）

かな入力

上段は Shift (シフト)を押しながら押す

下段はそのまま押す

左側と右側は、入力モードを切り替えて打ち分ける

英字が入力できる状態

ひらがなが入力できる状態

かな・ローマ字対応表

あ	あ	い	う	え	お					
	A	I	U	E	O					
か	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KA	KI	KU	KE	KO	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
さ	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SA	SI	SU	SE	SO	SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
		(SHI)								
た	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	TA	TI	TU	TE	TO	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
		(CHI)	(TSU)							
な	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NA	NI	NU	NE	NO	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HA	HI	HU	HE	HO	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
			(FU)							
ま	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MA	MI	MU	ME	MO	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
や	や		ゆ		よ					
	YA		YU		YO					
ら	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RA	RI	RU	RE	RO	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
わ	わ	うぃ	う	うぇ	を					
	WA	WI	WU	WE	WO					
	ん		ヴ			ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	NN		VU			FA	FI		FE	FO
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GA	GI	GU	GE	GO	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
		(JI)				(JA)				(JO)
だ	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DA	DI	DU	DE	DO	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BA	BI	BU	BE	BO	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PA	PI	PU	PE	PO	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

小さい文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA	LI	LU	LE	LO
(XA)	(XI)	(XU)	(XE)	(XO)
ゃ	ゅ	ょ		っ
LYA	LYU	LYO		LTU
(XYA)	(XYU)	(XYO)		(XTU)

小さい「っ」は、子音（AIUEO以外）を
2回続けて押しても入力できます。

例）　にっき

N I K K I

T4988618632935

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。